

令和3年度
つくば市生活支援体制整備事業
第2層生活支援コーディネーター
活動報告書

令和4年3月

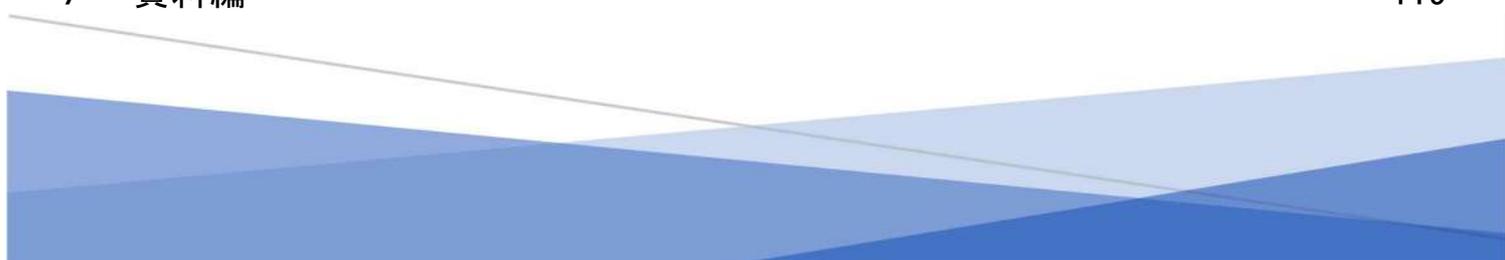
社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

目次

1	つくば市生活支援体制整備事業の これまでの取り組み・沿革(令和2年度～).....	001
2	圏域情報.....	009
	大穂圏域.....	010
	豊里圏域.....	012
	谷田部西圏域.....	014
	谷田部東圏域.....	017
	桜圏域.....	020
	筑波圏域.....	022
	荃崎圏域.....	025
3	活動記録.....	027
	大穂圏域.....	028
	豊里圏域.....	031
	谷田部西圏域.....	035
	谷田部東圏域.....	039
	桜圏域.....	044
	筑波圏域.....	049
	荃崎圏域.....	051
	生活支援コーディネーター支援記録(R3年10月～R4年3月).....	055



4	地域で生まれた取り組み	056
	大曾根みんなの食堂(大穂圏域)	057
	百家集いの場(豊里圏域)	058
	高須賀集いの場(谷田部西圏域)	059
	さろん・ド・カフェ グリーンハイツ(谷田部西圏域)	060
	みずほカフェ(谷田部西圏域)	061
	春日の森 NET(谷田部東圏域)	062
	葛城地区つなぐ会(谷田部東圏域)	063
	研究学園地区活動団体交流会(谷田部東圏域)	064
	高野台ゴミ出し支援活動(谷田部東圏域)	065
	春風台サロン(桜圏域)	066
	小田地区生き生き会議(筑波圏域)	067
	荃崎版社会資源集の作成(荃崎圏域)	070
	梅ヶ丘ゴミ出し支援活動(荃崎圏域)	071
	あしび野ふれあい農園(荃崎圏域)	072
5	会議記録	073
	大穂圏域	074
	豊里圏域	078
	谷田部西圏域	080
	谷田部東圏域	083
	桜圏域	088
	筑波圏域	096
	荃崎圏域	106
6	振り返りと今後の方向性	111
7	資料編	119





1 つくば市生活支援体制整備事業の これまでの取り組み・沿革

1 つくば市生活支援体制整備事業のこれまでの取り組み・沿革 (令和2年度～)

つくば市においては平成29年度より、生活支援体制整備事業が開始され、令和2年1月より、第2層圏域をつくば市社会福祉協議会が事業を受託し、事業への取り組みを開始した。

つくば市では第2層(日常生活圏域)を、7つの圏域に分けている。令和2年1月に、大穂圏域、豊里圏域、筑波圏域、荃崎圏域、同年4月には、谷田部西圏域、谷田部東圏域、桜圏域に第2層生活支援コーディネーターが配置された。

【事業の目的と概要】

この事業は、「高齢者の地域における自立した日常生活の支援及び要介護状態となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止に係る体制の整備、その他のこれらを促進する」こと(介護保険法第115条の45第2項第5号)とされているが、地域に向けて説明する際には、よりわかりやすく、身近に感じてもらえるよう、「年をとっても、誰もが安心して地域で暮らし続けられるよう、『支えあいの地域づくり』を行う」こととしている。

また、推進したい取り組みの具体例として、「通いの場」「話し合いの場(協議体)」「見守り・声かけ」「生活支援活動」の4つを例示し、これらの活動を新たに創出したり、既にある活動が広がったりすることで、地域の中での支えあいを進めていくことを目的としている。

具体的にはこんな活動が 地域に広がることを目指します

通いの場

地域の皆さんが気軽に集まり、体操や趣味活動、お茶飲み会などで楽しむ居場所をつくります。



話し合いの場(協議体)

助け合いや支え合いの仕組みづくりについて、地域住民や関係機関等と一緒に話し合う場をつくります。



見守り・声かけ

地域でさりげない見守り・声かけ活動が広がることにより、信頼関係が生まれ、困りごとに気づくことができます。



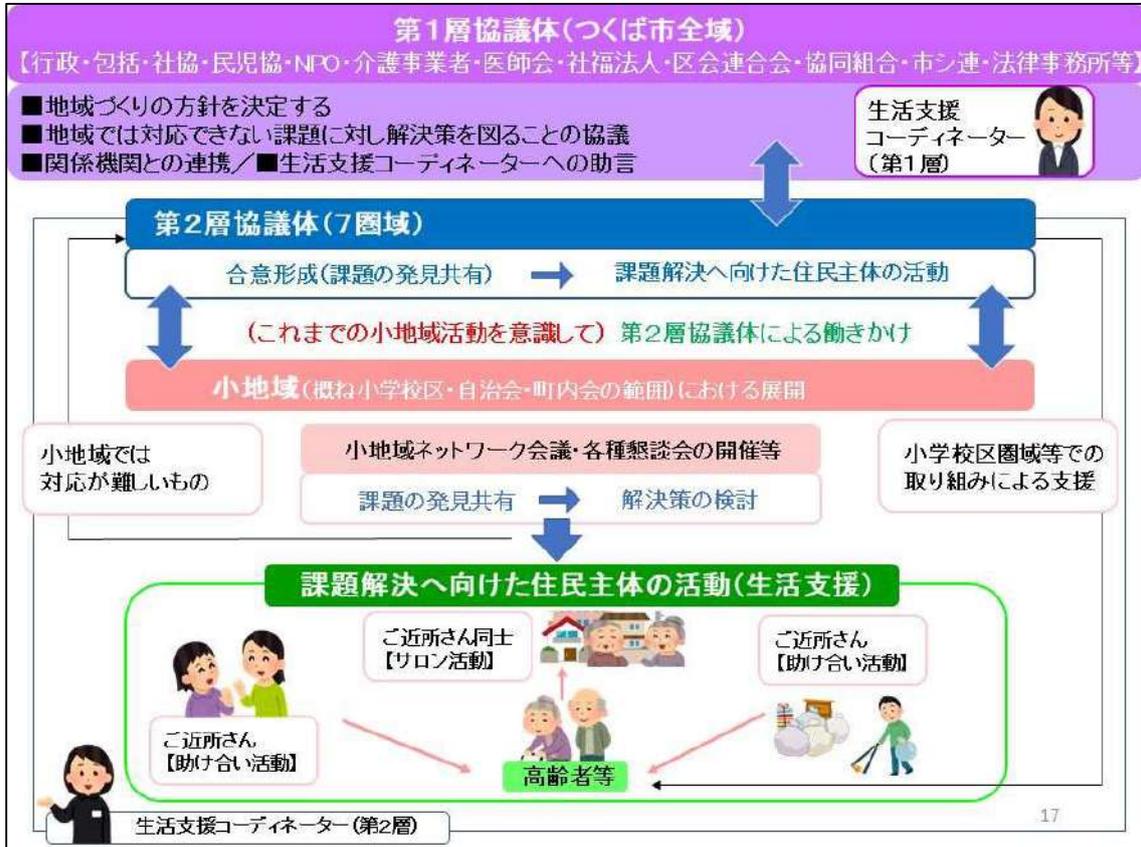
生活支援活動

ごみ出し、電球交換、庭木の水やりなど…ちょっとした困りごとをご近所同士で解決できる仕組みをつくります。



【事業の実施体制】

つくば市では、本事業を進めていくための体制として、以下の考え方を用いている。



まず【第1層協議体】とされるのが、【市全域】の支え合いについて、話し合いを行い、方向性を検討する場である。また、第2層の各圏域や、地域から上がってきた課題についての協議も行う。

次に【第2層協議体】とされるのが、【日常生活圏域】をベースに区域を分け、7圏域にそれぞれの圏域の支え合いについて考える場である圏域内の課題について話し合い、それを解決するための方策を考えたり、地域の中で行われている取り組みの事例を共有し、地域を超えて支えあいの取り組みが広がっていくことを目指す。この中で課題解決が難しい場合は第1層に問題提起し、解決に向けて話し合えるような体制を取っている。つくば市の第2層(7圏域)は合併前の旧町村単位をベースとしているため、圏域によって地域性は様々である。その地域に合った形で支えあいの取り組みが進むよう、協議体も圏域によってやり方を変えている。

そして【小地域】とされているのは、小学校区単位、区会単位等の、より住民にとって身近な範囲であり、明確な位置づけはされていないが、【第3層】的なイメージとなり、住民が主体となって地域活動が行われている範囲であり、コーディネーターはそれらの活動の側面支援・後方支援を行っている。

【生活支援コーディネーター】

別名「地域支えあい推進員」とし、「地域の皆さんと一緒に支え合いを推進する、地域づくりの専門職」としている。その役割として、「**見つける・発掘する**」「**つなぐ**」「**つくる**」「**発信する**」を主なものとし、担当する圏域の地域性に合わせた地域づくりの支援を展開した。今年度は各圏域1名ずつ、計7名の生活支援コーディネーターを配置した。



【後段 左より】

大穂圏域	小倉 貴之
谷田部西圏域	大竹 佳代子
桜圏域	小川 奈々世
荃崎圏域	益子 奈津子

【前段 左より】

豊里圏域	井形 秀人
谷田部東圏域	荻生 奈苗
筑波圏域	猪瀬 翔南

2 第2層生活支援コーディネーターの取り組み

(1) 1・2層コーディネーター情報交換会

第1層コーディネーター（市）と第2層コーディネーター（社協）との連携を図るため、月2回の情報交換会を実施。

各圏域コーディネーターの取り組み状況の報告、新たな取り組みの対する方向性の確認、地域課題の解決に向けた情報共有等を行うことで、1層・2層コーディネーター活動における協力体制構築に繋がった。

【実施回数】全24回

(2) 2層コーディネーターミーティング

第2層コーディネーターが集まり、月2回ミーティングを行い、各圏域の取り組みにおける状況についての報告や進捗状況等について意見交換や情報共有を実施した。

情報共有を行い他圏域の活動を知ることで自分の活動のヒントになったり、意見交換でアドバイスをもらうことで地域課題の解決に繋がる等、それぞれの活動を推し進めることに繋がった。

【実施回数】全24回

(3) 各プロジェクトの活動

生活支援体制整備事業に関連する事業の推進や方向性の検討を目的に、第2層コーディネーター内でプロジェクトチームを編成した。

以下に各プロジェクトの取り組み内容を記述する。

【広報プロジェクト】

本事業の目的や内容を地域住民に周知し、理解を深めていただくことを目的に、各種広報手段の検討を行った。

今年度は生活支援体制整備事業の周知を目的としたリーフレットの作成を行った。誰でも分かりやすく事業を理解し、生活支援コーディネーターの活動を知ってもらえるように掲載内容を決め、デザインを考えた。1500部作成し、各生活支援コーディネーターが会議や打ち合わせで配付し、地域包括支援センターの窓口等に設置した。

また、令和3年度の活動報告書を作成するために様式の作成及び取りまとめを行った。令和3年度に行った生活支援コーディネーターの活動内容、地域で立ち上がった活動等を掲載し、誰でも閲覧できるものとして完成させた。

【事業紹介リーフレット(第7章資料編に掲載)】

◆◆生活支援コーディネーターの役割◆◆

見つける・発掘する

- 人や取り組み、知恵や工夫など地域に存在する様々な宝物を見つけ出します。
- 地域に住む皆さんがどんな困りごとを抱えているかなど「地域の声」を聴取します。

つなげる

- 人や情報、サービスや資源などを適切につなぎ、地域の困りごとの解決を目指します。
- 「協働体」等の場を活用し、地域住民や専門職をつなぎ、一緒に「ふれあいの地域づくり」を推進するきっかけをつくりまします。

つくる

- 「地域にこんなことがあったらいいな」を住民の皆さんと一緒に考え、実現するお手伝いをします。

発信する

- 地域で行われている活動の様子や、活動に関わっている人の思いを様々な形で発信します。

**生活支援コーディネーターに
みなさんの声を聞かせてください!**

- ・地域の中の困ったことや不安なこと
- ・地域の様々な活動や支援などの情報
- ・地域でやりたいこと、こんな活動があるといいなと思っていること

地域の皆さんと一緒に
ふれあいの地域づくりを推進します

私たちが生活支援コーディネーターです!

令和3年度版

**みんなで取り組む
「ふれあいの地域づくり」**
～生活支援体制整備事業～

みんなの困りごと
ふれあいの声
大橋

目撃し発見
ふれあいの声
豊里

みんなの笑顔が
広がるまち
豊里西・東

地域別活動テーマ

ふれあいの声
つなぐ
大橋

みんなの困りごと
解決
豊里

あなたのため
あなただけ
豊里

このリーフレットは、各圏域で提供されている事業と関係団体の
中で、調整が難しい場合に活用していただくものです。

社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

圏域	連絡先
大橋	【本部】 つくば市東地 1-10-4 TEL: 029-679-5500 FAX: 029-679-5501
豊里	【中央支援センター】 つくば市東地 639 TEL: 029-847-0231 FAX: 029-847-0233
豊里西・東	【南支所】 連絡先センター(南) つくば市西地 2068 TEL: 029-676-4552 FAX: 029-676-2842

お問い合わせ先
社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

お問い合わせ
TEL: 029-679-5500
FAX: 029-679-5501
Eメール: info@tsukuba-shaww.or.jp

【民生委員関係形成プロジェクト】

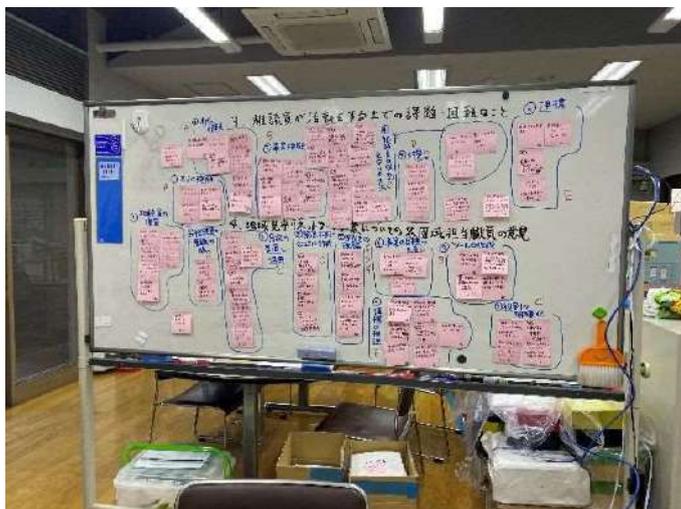
令和3年度末でふれあい型食事サービスが終了することから、コーディネーターが民生委員と接する機会が少なくなる。事業を通して民生委員と接点を持つことで、地域に関する情報収集に繋がっていた。また、民生委員との関係性を築けていることは、コーディネーターが地域活動を行っていく上で重要になってくる。

このことから、今後も民生委員と連携して地域活動を推進していくための検討を行っている。

【地域見守りネットワーク事業推進プロジェクト】

地域見守りネットワーク事業が始まってから10年を迎える。地域の実情の変化やコロナ禍で活動の制限等もあり、見守りの仕方が変化してきている。今の時代に合わせた見守り活動の方法や地域に見守りネットワークをつくっていくために、ふれあい相談員や見守り支援員との連携方法や、見守り登録者の推進などについて話し合いを行った。引き続き、地域見守りネットワーク事業の進め方について検討していく。

【地域見守りネットワーク事業の方向性の検討の様子】



【Ayamu 活用プロジェクト】

地域資源情報の集約、生活支援コーディネーターの活動の見える化、活動実績の数値化を目的として、カシオ計算機株式会社が提供する「Ayamu（地域包括ケアを支援するサイト）」の運用を、令和3年10月～令和4年3月で行った。

このシステムを活用し、生活支援コーディネーターの活動を市・関係機関（地域包括支援センター）と共有することができた。また、活動実績をカウントすることで、個々の活動状況の振り返りや今後の方向性の検討の際にも活かすことができた。



【助成金事業立ち上げプロジェクト】

各地域において、住民主体の支えあい活動を推進するため、地域が活用しやすい新たな助成金制度の立ち上げに向けて、生活支援コーディネーター内で検討を行った。

その結果、「つくちゃん地域支えあい助成事業」を創設、①地域支えあい活動立ち上げ事業(新たに支えあい活動を立ち上げる際に、年間5万円の助成／1回限り申請可)、②地域支えあい活動運営事業(継続して行われている活動に対して、年間3万円の助成／3回までの申請可)、③ミニふれあいサロン助成金(お試しで行うサロンに対する助成金。年間 9000 円が上限／「地域の絆づくり支援事業」より引継)の3つの助成メニューを創設した。また、申請の際は、生活支援コーディネーターが申請のサポート等に関わることになっている。

令和4年4月より受付を開始し、地域に向けてPRを行っていく。



2 圏域情報

社会福祉協議会の事業解説

※地域見守りネットワーク事業

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域住民による助けあい活動や支えあい活動を推進し、地域住民が行政・民間事業所及び福祉関係者と協力、連携しながら、見守りが必要な方に対し地域で見守ることのできる仕組みづくりを進めることを目的とする。平成 25 年度開始。

※ふれあいサロン

地域住民が主体となって、主に歩いて行ける場所等に、高齢者や障害者、子育て中の母親などが集う、交流の場（サロン）づくりを推進している。また、活動を支援するため活動費の助成を行う。社協では、サロンの立ち上げや運営に関する相談も行っている。

大穂 圏域	大砂・大曾根・大穂・長高野・鹿島台・要・佐・篠崎・玉取・筑穂・西高野 西沢・蓮沼・花畑・前野・吉沼・若森			
基礎データ	総人口（人）	19,744	民生委員児童委員数（人）	28
	高齢者人口（人）	4,343	高齢化率（％）	22.0
	要支援認定者数（人）	179	要支援認定率（％）	4.12
	要介護認定者数（人）	612	要介護認定率（％）	14.09
	区会・自治会数	44	地区全世帯の区会加入率（％）	42
	シルバークラブ数	22	シルバークラブ会員数（人）	1,066
社会資源／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	<p>■高齢者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援〔7〕 ・訪問介護〔3〕 ・訪問看護〔3〕 ・訪問リハビリテーション〔1〕 ・居宅療養管理指導〔1〕 ・通所介護〔6〕 ・通所リハビリテーション〔2〕 ・短期入所生活介護〔4〕 ・福祉用具貸与事業所〔1〕 ・特定福祉用具販売事業所〔1〕 ・短期入所療養介護〔2〕 ・特定施設入居者生活介護〔2〕 ・介護老人福祉施設〔1〕 ・介護老人保健施設〔2〕 ・認知症対応型共同生活介護〔3〕 ・小規模多機能型居宅介護〔1〕 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔1〕 <p>■障害者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所〔4〕 ・居宅介護・重度訪問介護・同行援護（視覚障害のみ）・行動援護〔2〕 ・生活介護〔2〕 ・共同生活援助〔1〕 ・自立訓練（機能訓練）〔1〕 ・自立訓練（生活訓練）〔1〕 ・就労移行支援〔2〕 ・就労継続支援（雇用型：A型）〔1〕 ・就労継続支援（非雇用：B型）〔3〕 ・障害児通所支援〔5〕 <p>■子ども関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館・児童クラブ〔10〕 ・幼稚園（公立）〔1〕／（私立）〔2〕 ・保育園（公立）〔1〕／（私立）〔4〕／（認可外）〔3〕／（小規模）〔1〕 ・地域子育て支援拠点〔1〕 ・児童養護施設〔1〕 <p>■医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院〔2〕 ・診療所〔10〕 ・訪問診療〔6〕 ・訪問歯科〔5〕 ・薬局〔8〕 <p>■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大曾根小学校区 8名 ・前野小学校区 5名 ・要小学校区 4名 ・吉沼小学校区 9名（合計 26名） <p>■ふれあいサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン〔8〕 <p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 4校：大曾根小学校／前野小学校／要小学校／吉沼小学校 ・中学校 1校：大穂中学校 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校 1 校：つくば特別支援学校
	<ul style="list-style-type: none"> ■公の施設 ・社協本部／ボランティアセンター ・地域交流センター [2] ・保健センター [1]

地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> ■市内北部に位置し、東は筑波地区、桜地区と接し、西は小貝川沿いに下妻市、常総市と接している。ほぼ平坦で、田畑や芝畑などが広がっている地域も見られる。筑波研究学園都市の建設に伴い、新興住宅地域が開発され、主に地区の東側には国や民間の研究機関等もあり、近隣には商業施設が点在している。 ■ここ数年、総人口・世帯数ともに増えているなかで、高齢者（単身、夫婦等）世帯等も増加し、高齢化率も徐々に上がっている。一方、新興住宅地やアパート等が多い地域では、市の水準よりも高齢化率が低くなっている地域もある。 ■医療機関としては、診療所の他に病床数の多い病院が2か所あり、高齢者でも医療にかかりやすい地域である。また、それらの病院に付属する介護保険*施設等も多く整っている。 ■昔ながらの地域では住民同士のつながりが強く残るところがある一方、区会未加入の方も増加しており、新たな住人について情報が得られにくく、住民同士の繋がりを築くことに困難な状況も見受けられる。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■生活支援体制整備事業の取り組みについては、地域支えあい会議（第2層協議体）や4小学校区でのネットワーク会議を開催することで、区長や民生委員等、地域住民に向けて事業説明を行い、地域課題や社会資源の開発についての話し合いを行っている。 ■地域見守りネットワーク事業は、4小学校区全てにおいてふれあい相談員が委嘱されているが、区会単位を見るとふれあい相談員が不在の区会がある。また、相談員の情報共有の場として、小学校区ごとのネットワーク会議やふれあい相談員懇談会の開催を行っている。区長や民生委員等と協力しながら見守りを進めている地域やふれあいサロンを開催して見守りを進めている等、地域に合った見守りが進められている。 ■ふれあいサロンは、大穂地区に8か所あり、いずれも高齢者対象のサロンとなっている。月1～2回の定期的な活動の他、区会やシルバークラブ*と連携した活動を行っているサロンもある。参加者や内容の固定化など課題はあるものの、ボランティア等が工夫をしながら運営を行っている。 ■シルバークラブ数・会員数共に減少傾向であり、これまで会長職を担っていた方が辞める時に、新たに会長職を担う方が見つからずにクラブ解散となるケースが多くみられる。地区によっては毎週練習を行っているクラブもあり、クラブ毎の活動頻度に差はあるものの、市・地区シルバークラブ連合会が開催するスポーツ大会などの行事への参加者は比較的多い。

※記載のデータ等は、R3年10月1日現在のものです。

豊里 圏域	旭・今鹿島・上郷・上里・木俣・高野・酒丸・田倉・土田・手子生・遠東 東光台・豊里の杜・中東原新田・沼崎・野畑・百家・緑ヶ原			
基礎データ	総人口（人）	16,269	民生委員児童委員*数（人）	22
	高齢者人口（人）	4,054	高齢化率（％）	24.92
	要支援認定者数(人)	155	要支援認定率（％）	38.23
	要介護認定者数(人)	584	要介護認定率（％）	14.40
	区会・自治会数	71	地区全世帯の区会加入率（％）	58
	シルバークラブ数	31	シルバークラブ会員数（人）	1,656
社会資源／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	■高齢者関連施設 ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援〔3〕 ・訪問介護〔5〕 ・訪問入浴介護〔1〕 ・通所介護〔5〕 ・短期入所生活介護〔2〕 ・福祉用具貸与、特定福祉用具販売事業所〔3〕 ・特別養護老人ホーム〔1〕 ・小規模多機能型居宅介護〔1〕 ・認知症対応型共同生活介護〔1〕			
■障害者関連施設 ・福祉支援センター〔1〕 ・相談支援事業所〔3〕 ・重度身体障害者訪問入浴サービス協定事業所〔1〕 ・居宅介護・重度訪問介護・同行援護（視覚障害者のみ）・行動援護〔2〕 ・移動支援サービス協定事業所〔2〕・日中一時預かりサービス協定事業所〔2〕 ・就労移行支援事業所〔1〕・就労継続支援事業所〔6〕 ・障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービス等）〔2〕 ・地域活動支援センター〔1〕 ・共同生活援助（グループホーム）〔3〕 ・自立訓練（機能訓練・生活訓練）〔1〕 ・生活介護〔1〕 ・短期入所〔1〕				
■子ども関連施設 ・児童館〔1〕 ・児童クラブ〔3〕 ・保育所〔4〕 ・幼稚園〔1〕 ・こども園〔1〕 ・地域子育て支援拠点〔1〕				
■医療機関 ・病院〔1〕 ・訪問歯科〔2〕 ・薬局〔2〕				
■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数） ・上郷小学校区 11名 ・今鹿島小学校区 5名 ・沼崎小学校区 6名 （合計 22名）				
■ふれあいサロン ・高齢者サロン〔4〕				
■学校 ・小学校 3校：上郷小学校／今鹿島小学校／沼崎小学校 ・中学校 1校：豊里中学校				
■公の施設 ・老人福祉センター〔1〕 社協所有／社協中央支所 ・地域交流センター〔1〕				

地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> ■市の中西部に位置し、小貝川を挟んで常総市との市境に当たる地域でもある。北は大穂地区、南は谷田部地区に広く接しており、古くからの交流も多い。 ■上郷地区は古くからの地域で、寺社仏閣も多く、お祭などの風習も続いているため、世代間、近所とのつながりは比較的強い。今鹿島、沼崎地区も古くからの地域であるものの、一部人口が集中している団地や地区では、子育て世代や、子供世代が独立した核家族も多く、近所のつながりは比較的薄い。 ■医療に関しては、病院が西部に1つあるものの、他に開業医もなく、大穂地区にある総合病院や他地区の開業医に通院する方も多い。 ■地区全体として高齢化が進み、かつては地域の中心産業であった農業にも携わる者が激減している。反面、東部地区は TX 沿線開発で急激に発展した研究学園の商圈でもあり、買い物等に便利な地区になってきている。
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■豊里地区では3小学校区において、小学校区を3層と位置づけ、話し合いの機会(協議体)を設け、事例の報告や、ネットワーク構築に向けての協力体制を協議している。さらに上郷地区において、4層といわれる区会単位で定期的に集まり、個別支援の課題を地区課題として捉え共有することなどを始めている。 ■2層といわれる豊里地区全体では、区長(役員)、民生委員、ふれあい相談員が集まり、地域支えあい会議として、3層の地域見守りネットワーク会議での事例や、課題について報告し、協議する場を設けている。 ■ふれあいサロンは地区内に4ヶ所開設されており、各会場は自宅開放型、地区集会所利用型、公共施設借用型となっていて、参加対象者は高齢者としているサロンが多い。誰もが気軽に集まれるサロンの常設が望ましいところだが、昔からの近所のつながりや、親類縁者の多い地区特有のコミュニケーション方法もあり、サロンの設置数については、まだまだ少ない。今後は地域住民による自分たちのためのサロンづくりや、立上げの支援が必要である。 ■シルバークラブは現在32クラブあり、会員数も1,650名を超え、市内地区連合会としては一番大きな団体となっている。各単位クラブの活動はスポーツや定例会が主なもの。地区シルバークラブ連合会の事業もスポーツを中心として交流事業、勉強会等を実施している。 ■上郷市街地活性化協議会などに代表される地域を活性化するための活動にも積極的関与し、協力体制を築いていく。

※記載のデータ等は、R3年10月1日現在のものです。

谷田部 西圏域	新井・飯田・大白碓・大わし・鬼ヶ窪・面野井・片田・上萱丸・上河原崎 上横場・観音台・小白碓・境田・境松・島名・下萱丸・下河原崎・下別府・台町 平・高須賀・高田・高良田・中野・中別府・鍋沼新田・西栗山・根崎・八幡台 花島新田・羽成・東丸山・古館・真瀬・水堀・緑が丘・みどりの・みどりの中央 みどりの東・みどりの南・御幸が丘・柳橋・谷田部・山中				
	基礎データ	総人口（人）	47,201	民生委員児童委員*数（人）	39
		高齢者人口（人）	7,847	高齢化率（%）	16.62
		要支援認定者（人）	279	要支援認定率（%）	6.2
		要介護認定者（人）	1,346	要介護認定率（%）	17.15
		区会・自治会数	144	地区全世帯の区会加入率（%）	35
		シルバークラブ*数	17	シルバークラブ会員数（人）	765
社会資源／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	■高齢者関連施設 ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援事業所〔8〕 ・訪問介護〔7〕 ・訪問看護〔3〕 ・通所介護事業所〔10〕 ・通所リハビリテーション事業所〔2〕 ・短期入所生活介護〔4〕 ・福祉用具貸与事業所〔1〕 ・特定福祉用具販売事業所〔2〕 ・介護老人福祉施設〔2〕 ・介護老人保健施設〔1〕 ・地域密着型通所介護〔5〕 ・地域密着型介護老人福祉入所者生活介護〔1〕 ・小規模多機能居宅介護〔1〕 ・認知症*対応型共同生活介護〔4〕				
	■障害者関連施設 ・相談支援事業所〔5〕 ・福祉支援センター〔1〕 ・地域活動支援センター〔2〕 ・短期入所〔4〕 ・就労支援事業所（移行）〔3〕 /（継続A）〔1〕 /（継続B）〔7〕 ・居宅介護重度訪問介護・同行援護・行動援護〔1〕 ・共同生活援助（グループホーム）〔7〕 ・障害児通所〔7〕 ・就労定着支援〔1〕 ・障害者就業・生活支援センター〔1〕				
	■子ども関連施設 ・子育て支援センター〔2〕 ・出張子育て広場〔2〕 ・児童館〔1〕 ・児童クラブ〔21〕 ・保育園（公立）〔2〕 /（私立）・小規模保育園〔4〕 （認定）こども園〔1〕（私立）保育園〔16〕 一時預かり保育〔10〕 （認可外）〔3〕 / 病児・病後保育〔1〕				
	■医療機関 ・病院〔1〕 ・診療所〔17〕 ・訪問診療〔7〕 ・訪問歯科〔6〕				
	■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数） ・谷田部小学校区 4 名 ・谷田部南小学校区 4 名 ・真瀬小学校区 7 名 ・島名小学校区 6 名 ・柳橋小学校区 4 名（合計 25 名）				
	■ふれあいサロン ・高齢者サロン〔13〕				

	<p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 5 校：谷田部小学校／谷田部南小学校／島名小学校／真瀬小学校／柳橋小学校・みどりの学園義務教育学校 ・中学校 2 校：谷田部中学校／高山中学校 ・高等学校 2 校：つくば工科高等学校／つくば秀英高等学校
	<p>■公の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター [2] ・保健センター [1] ・老人福祉センター [1]

地域の特性	<p>■谷田部西地区は市の南西部に位置し、つくばみらい市に隣接している。農村部も多く残っており、高齢者人口も多い。高齢化率についても、差が開いており、谷田部南小区では、36%であり、みどりの学園周辺では5%となっている。また、新興住宅の開発により空き店舗が増えシャッター通りとなっている所も見受けられる。都内への通勤者も多く、マンション住民同士のつながりはあまりない。</p> <p>■平成 16 年につくばエクスプレスが開通し、万博記念公園駅、みどりの駅などの駅周辺には住宅やマンションが建ち並び、子育て世代が県内外から移り住み人口が増えている。周辺には、大型店舗が立ち並び賑わいがある。子供に呼び寄せられてつくばに移り住んでくる高齢者も多くなっている。</p> <p>■周辺住民は三世代同居をしているなど、少子高齢化が進んでいても古い習慣や付き合いを維持している世帯が大部分を占めている。農家も多い。しかし、商店等が閉店となり移動スーパーが来ている地域が多い。、交通手段のない高齢者にとっては手段の一助となっている。</p>
主な取り組み	<p>■生活支援体制整備事業の取り組みについては、第 2 層協議体（話し場）地域支えあい会議を開催している。地域で活動している方々を会議員とし、各地域の活動や状況について情報共有や情報交換を行っている。西圏域においては、新しく憩いの場やカフェ・そして支え合い活動など幅広い活動が住民主体の活動として創出した。生活支援コーディネーターには、地域から個別の相談も数多くあり、専門職や関係機関そして地域の社会資源等につなげた。</p> <p>■地域見守りネットワーク事業は、6 小学校区にふれあい相談員が委嘱されている。小学校区ごとにネットワーク会議を開催しており、民生委員、ふれあい相談員等が連携し、日頃から情報交換等をしながら見守り活動をしている。特に真瀬小学校区は、自主的に真瀬見守る会を組織化し、独自に地域活動や会議・事業（講演会や勉強会）を実施している。</p> <p>■ふれあいサロンは、13 か所で開設している。地域によっては、民生委員やふれあい相談員などがサロン立ち上げから運営の中心を担っている。交流センター・地域の集会場等で開催しており、健康体操や趣味活動・スポーツなど幅広いメニューの中で楽しい時間を過ごしている。R3 年度は、「ふらっと気軽によれる場所」であるカフェが開設している。</p>

	<p>■シルバークラブは、17 団体（谷田部全域では 29 団体）約 800 名の会員が活動している。周辺部のクラブが多い。活動としては、スポーツ活動や座学など地域性を活かした幅広い活動をしている。またシルバー会員同士が、地域の高齢者を見守り声掛けなどを行ったり、ちょっとした困りごとは解決するために「支え合い」活動を行っているクラブもある。</p>
--	---

谷田部 東圏域	赤塚・新牧田・市之台・稲岡・稲荷前・今泉・榎戸・小野川・小野崎・学園の森 学園南・梶内・春日・葛城根崎・上原・苅間・北郷・北中島・北中妻・研究学園 高野台・西郷・島・下平塚・下横場・鷹野原・館野・手代木・中内・長峰 西大沼・西大橋・西岡・西原・西平塚・二の宮・東・東平塚・東新井・藤本 松代・松野木・南中妻				
	基礎データ	総人口（人）	66,997	民生委員児童委員数（人）	35
		高齢者人口（人）	7,995	高齢化率（％）	11.87%
		要支援認定者数（人）	260	要支援認定率（％）	3.26%
		要介護認定者数（人）	1,141	要介護認定率（％）	14.34%
		区会・自治会数	128	地区全世帯の区会加入率（％） ※谷田部西・東地区全体	33
	シルバークラブ数	12	シルバークラブ会員数（人）	444	
社会資源／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	<p>■高齢者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援事業所〔10〕 ・訪問介護事業所〔1〕 ・訪問看護事業所〔4〕 ・訪問入浴介護事業所〔2〕 ・訪問リハビリテーション事業所〔1〕 ・通所介護〔11〕 ・短期入所生活介護〔4〕 ・特定施設入居者生活介護事業所〔1〕 ・特別養護老人ホーム〔3〕 ・認知症対応型通所介護〔1〕 ・認知症対応型共同生活介護〔2〕 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔1〕 <p>■障害者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所〔3〕 ・居宅介護〔5〕 ・居宅介護・重度訪問介護・同行援護（視覚障害のみ）・行動援護〔2〕 ・共同生活援助（グループホーム）〔1〕 ・自立訓練〔1〕 ・就労移行支援〔1〕 ・就労定着支援〔2〕 ・就労継続支援（雇用：A型）〔2〕 ・就労継続支援（非雇用：B型）〔2〕 ・障害児通所支援〔14〕 <p>■子ども関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点〔2〕 ・出張子育て広場〔3〕 ・児童館〔4〕 ・児童クラブ〔22〕 ・保育園（公立）〔5〕／（私立）〔9〕／（認可外）〔16〕 ・幼稚園（公立）〔4〕／（私立）〔5〕 ・認定こども園〔2〕 ・病児病後児保育施設〔1〕 ・自立援助ホーム〔1〕 <p>■医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所〔47〕 ・訪問診療〔13〕 ・訪問歯科〔8〕 <p>■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛城小学校区1名 ・小野川小学校区10名 ・手代木南小学校区2名 ・東小学校区2名 ・二の宮小学校区2名（合計17名） <p>■ふれあいサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン〔19〕 ・児童サロン〔2〕 				

	<p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 7 校：葛城小学校／小野川小学校／手代木南小学校／二の宮小学校／松代小学校／東小学校／春日学園義務教育学校／学園の森義務教育学校 ・中学校 4 校：手代木中学校／谷田部東中学校／春日学園義務教育学校／学園の森義務教育学校／茗溪学園中学校 ・高等学校 1 校：茗溪学園高等学校
	<p>■公の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所本庁舎 ・つくば警察署 ・つくば保健所 ・地域交流センター [4]

<p>地域の特性</p>	<p>■谷田部東圏域は、つくば市中央から南南東に位置し、昭和 40 年以降、筑波研究学園都市建設により商工業が活性化し、道路設備や住宅・団地・工場・緑地公園等の開発も進み発展してきた。近年は、つくばエクスプレス（TX）開発に伴う土地開発も目覚ましく、県内外から多くの転入者が増加の一途をたどっている。都市機能と自然とが融合した利便性の高い環境である。</p> <p>■TX 沿線地区においては、若い世代の人口増加が著しく、市内で最も高齢化率の低い地域となっている。地元住民が様々な地域活動団体を立ち上げ、まちづくりの推進を積極的に行っている。</p> <p>■研究学園都市建設当時の住宅（団地）では、団魂の世代やそれ以上の年代者が多く、高齢化が進みつつある。また、単身世帯や高齢者世帯も多い。その上、交通網が不便な地域も多く、通院や買い物などに不便をきたしている地域もある。</p> <p>■地域の発展に伴い新しいまちが形成される一方で、古くからその土地に住んでいる住民を中心に構成される、旧来からの地域も圏域内には存在する。そのような地域では、高齢化が進みつつも、家族・親戚同士や近隣同士のつながりが強く残っている。</p>
<p>主な取り組み</p>	<p>■生活支援体制整備事業開始後、地域支えあい会議（第 2 層協議体）や各小学校区でのネットワーク会議の中で、事業の趣旨や取り組みについての理解を深めている。支えあい活動に対する理解は深く、事業開始前から住民主体の生活支援活動や、ネットワーク活動が行われている地域もあるため、活動団体間の情報共有や情報発信なども会議の中で行っている。事業開始後も、その地域に合った様々な支えあい活動が創出されており、地域の憩いの場づくりや、活動拠点づくり、生活支援活動の立ち上げなどが行われている。</p> <p>■地域見守りネットワーク事業は、8 小学校区のうち 5 小学校においてふれあい相談員が委嘱されている。相談員が委嘱されている小学校区では、ネットワーク会議開催により、民生委員と相談員が連携し、地域の高齢者等を見守っている状況もある。</p> <p>■ふれあいサロン活動においては、谷田部東圏域には 21 ヶ所あり、高齢者サロン 19 ヶ所・児童サロン 2 ヶ所となっている。民生委員やふれあい相談員が新たにふれあいサロンを立ち上げるケースが多い。各サロンとも、参加者の固定</p>

	<p>化や男性参加者の減少等の課題を抱えながらも、地域（区会や自治会や地域グループ）などと連携しながら活動の幅を広げている。</p> <p>■シルバークラブは圏域内に12クラブあり、会員が減少傾向にあるクラブが少なくないが、解散したクラブが比較的若い世代で再結成したり、会員が集まりやすいイベントなどを開催し、会員増強に積極的に取り組んでいる</p>
--	---

桜 圏域	吾妻・天久保・上野・上ノ室・梅園・大・上境・上広岡・吉瀬・倉掛・栗原 金田・妻木・栄・桜・さくらの森・大角豆・柴崎・下広岡・松栄・千現・竹園 天王台・中根・並木・花園・花室・春風台・東岡・古来・松塚・横町 流星台			
基礎データ	総人口（人）	54,923	民生委員児童委員*数（人）	58
	高齢者人口（人）	8,044	高齢化率（％）	14.65
	要支援認定者（人）	285	要支援認定率（％）	3.54
	要介護認定者（人）	1,002	要介護認定率（％）	12.45
	区会・自治会数	114	地区全世帯の区会加入率（％）	39
	シルバークラブ*数	9	シルバークラブ会員数（人）	368
社会資源*／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	<p>■高齢者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援〔13〕 ・訪問介護〔9〕 ・訪問看護ステーション〔5〕 ・通所介護〔13〕 ・短期入所生活介護〔3〕 ・福祉用具貸与事業所〔4〕 ・特定福祉用具販売事業所〔4〕 ・介護老人福祉施設〔1〕 ・地域密着型通所介護〔6〕 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔1〕 ・小規模多機能居宅介護〔1〕 ・認知症対応型共同生活介護〔2〕 <p>■障害者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉支援センター〔1〕 ・相談支援事業所〔1〕 ・居宅介護 重度訪問介護 同行援護（視覚障害のみ）行動援護〔5〕 ・短期入所〔1〕 ・自立訓練（機能・生活）〔3〕 ・就労支援事業所（移行）〔3〕／（継続A）〔4〕／（継続B）〔4〕／（定着）〔1〕 ・障害児通所支援事業所〔16〕 ・地域活動支援センター〔1〕 <p>■子ども関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点〔2〕 ・児童館〔8〕 ・幼稚園〔6〕 ・認定こども園〔2〕 ・保育園（公立）〔7〕／（私立）〔9〕／（認可外）〔2〕 ・児童クラブ〔22〕 ・病児病後児保育施設〔2〕 <p>■医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院〔3〕 ・診療所〔59〕 ・訪問診療〔10〕 ・訪問歯科〔7〕 ・薬局〔23〕 <p>■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄小学校区 2名 ・九重小学校区 1名 ・桜南小学校区 2名 ・栗原小学校区 2名 ・並木小学校区 3名 ・吾妻小学校区 1名 ・竹園西小学校区 2名 ・竹園東小学校区 2名（合計 15名） <p>■ふれあいサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン〔14〕 ・その他のサロン（青少年）〔1〕 			
	<p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 8校：栄小学校／九重小学校／桜南小学校／栗原小学校／並木小学校 吾妻小学校／竹園西小学校／竹園東小学校 ・中学校 5校：桜中学校／竹園東中学校／吾妻中学校／並木中学校／ 			

	<p style="text-align: center;">並木中等教育学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校2校：竹園高等学校／並木中等教育学校 ・大学3校：筑波大学／筑波学院大学／筑波技術大学
	<p>■公の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター [6] ・保健センター [1] ・老人福祉センター [1]
地域の特性	<p>■桜圏域は市内の東部に位置し、東は土浦市と接している。大学や研究機関が多く立地し、学生も多く居住している。高齢化率は中心部と周辺部とで差が大きく開いており、一番低いのは吾妻小学校区で6.6%、一番高いのは栄小学校区で26.1%となっている。</p> <p>■つくば駅周辺の中心部では、公務員住宅跡地に大規模マンションや戸建て住宅・商業施設が増え、都内へ通勤する若年層の人口が増え、区会がない地区も増えている。また、閉店した大規模商業施設の跡地に新たなスーパー等の店舗が開店し、賑わいも取り戻しつつある。</p> <p>■周辺部には、歴史的な建物が残っており、田畑も多い。移動スーパーが来ている地域も増え、交通手段のない高齢者等にとって買い物の手段の一助となっている。周辺部の一部では、土地開発が進んでおり、大型スーパー等ができ、若い世代の移住も増えてきている。</p>
主な取り組み	<p>■生活支援体制整備事業の取り組みは、地域支えあい会議を開催し、桜圏域で地域活動等をしている方や住民が会議員となり、今後の会議の進め方を決めた。また、小学校区ごとに地域見守りネットワーク会議を開催し、地域の状況について情報共有し、課題等について話し合いを行っている。桜川のある栄小学校区と栗原小学校区では防災をテーマに勉強会を企画している。</p> <p>■現在、8小学校区すべてにふれあい相談員が委嘱されている。民生委員や区長と連携して地域の方の見守をしており、ふれあいサロンやシルバークラブの活動に参加している方をさりげなく見守っている相談員もいる。相談員の情報共有の場として地域見守りネットワーク会議やふれあい相談員懇談会を開催している。</p> <p>■ふれあいサロンは15カ所ある。サロン会場は、交流センター、公民館、一軒家、店舗の一角を借りているサロンがある。つくば市内の方であれば誰でも参加できるサロンやオンラインを使って開催しているサロン、青少年を対象にしたサロンなど多岐にわたる。</p> <p>■桜地区シルバークラブは9クラブで活動している。大規模団地や新興住宅地の単位クラブが多数を占め、周辺部の単位クラブは少ないのが現状。活動としては、グラウンドゴルフが盛んで、毎週練習をしているクラブもあり、桜地区としてグラウンドゴルフ大会も行っている。新たな取り組みとして、カーレット講習会を開催し、競技ルールを学び実際にチーム戦を行った。</p>

※記載のデータ等は、R3年10月1日現在のものです。

筑波 圏域	北条・君島・泉・小泉・小田・北太田・小和田・山口・平沢・大形・下大島 筑波・沼田・国松・上大島・神郡・臼井・大貫・杉木・漆所・小沢・田中・水守 山木・作谷・安食・寺具・明石・上菅間・中菅間・池田・洞下・磯部			
基礎データ	総人口（人）	17,168	民生委員児童委員*数（人）	46
	高齢者人口（人）	6,413	高齢化率*（％）	37.35
	要支援認定者数 （人）	249	要支援認定率（％）	3.88
	要介護認定者*数 （人）	1,000	要介護認定率（％）	15.6
	区会・自治会数	61	地区全世帯の区会加入率（％）	69.0
	シルバークラブ*数	18	シルバークラブ会員数（人）	726
社会資源*／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔〕内は 施設数	<p>■高齢者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援〔11〕 ・訪問介護〔3〕 ・通所介護〔6〕 ・訪問看護〔2〕 ・通所リハビリテーション〔3〕 ・短期入所生活介護〔3〕 ・短期入所療養介護〔3〕 ・福祉用具貸与事業所〔1〕 ・特定福祉用具販売事業所〔1〕 ・介護老人福祉施設〔1〕 ・介護老人保健施設〔3〕 ・認知症対応型共同生活介護〔4〕 看護小規模多機能型居宅介護〔1〕 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔1〕 <p>■障害者関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所〔4〕 ・居宅介護・重度訪問介護・同行援護（視覚障害のみ） ・行動援護〔2〕 ・短期入所〔7〕 ・生活介護〔5〕 ・施設入所支援〔3〕 ・共同生活援助〔6〕 ・就労移行支援〔1〕 ・就労継続支援（B型）〔1〕 ・障害児通所支援（児童発達・放課後等デイ・保育所等訪問・居宅訪問型児童発達）〔1〕 ・障害児入所施設〔2〕 <p>■子ども関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て総合支援センター〔1〕 ・児童館〔1〕 ・児童クラブ〔1〕 ・幼稚園〔1〕 ・保育園（公立）〔4〕／（私立）〔1〕 <p>■医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院〔2〕 ・診療所〔10〕 ・訪問診療〔9〕 ・訪問歯科〔5〕 ・薬局〔6〕 <p>■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田水山小学校区3名 ・北条小学校区1名 ・山口小学校区2名 ・小田小学校区5名 ・筑波小学校区1名 ・作岡小区8名（合計20名） <p>■ふれあいサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロン〔14〕 <p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 秀峰筑波義務教育学校 1校 ・旧小学校8校：田水山小学校／筑波小学校／田井小学校／北条小学校／ 			

	<p>小田小学校／作岡小学校／菅間小学校／山口小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧中学校 2 校：筑波西中学校／筑波東中学校 ・高等学校 2 校：筑波高等学校／角川ドワンゴ学園 S 高等学校
	<p>■公の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民研修センター [1] ・筑波交流センター/市民ホールつくばね [1]・教育相談センター [1]

地域の特性	<p>■市内の最北部に位置し、西から下妻市、筑西市、桜川市、石岡市、土浦市に隣接している。地区北部に位置する筑波山を中心として筑波山神社やつくば道などの観光スポットが点在し、市全体としても貴重な観光資源となっている。地区内に複合商業施設などはなく、年齢層に関わらず市中心部や隣接する市の商業施設へ日常的に買い物に出かける住民は多い。</p> <p>■ここ数年、年間約 300 人ずつ人口が減少しており、高齢化率*も荊崎圏域に次ぐ高さとなっている。高齢者人口の約 5 割を後期高齢者が占め、1 号被保険者に対する要介護認定者*の割合が、市内で一番高い圏域となっている。</p> <p>■区会加入率は約 7 割と高く、消防団なども比較的存続している。地域によっては古くからの季節行事なども行われており、住民同士のつながりは比較的強い。一方、住民からは若い世代が市中心部へ出て行ってしまおうといった声がよく聞かれ、それに伴う高齢化は、地区としての大きな課題となっている。</p>
主な取り組み	<p>■生活支援体制整備事業では、第 2 層協議体「地域支えあい会議」を各旧小学校区の代表者による会議とするため、人口割で指定した数の代表者の選出をいただいた。この代表者を旧小学校区あるいは小地域における支えあい活動や助け合い活動の推進にあたっての相談役に位置づけ、その代表者との打合せを開催し進めている。旧小田小学校区は、支えあいの取り組みの方向性が固まり、組織体制の構築から始まっている。</p> <p>■地域見守りネットワーク事業では、旧小学校区ごとに地域見守りネットワーク会議を開催している。そのため、8 小学校区のうち 6 つの小学校区においてふれあい相談員が委嘱されている。「見守り登録者」は 20 名前後を推移しているが、ふれあい相談員が把握している「さりげない見守り対象者」は約 80 名と増加傾向にある。令和 2 年度より事業開始した生活支援体制整備事業により、見守りや生活支援に関して、区長や民生委員、ふれあい相談員と話し合いを設ける機会が増加した。それにより、旧小学校区によっては見守り対象者や見守り支援員の確認を目的として、「見守りマップ」という住宅地図を用いた情報共有を行っており、関係者で連携し見守り活動を行っているところもある。</p> <p>■ふれあいサロンは、平成 20 年代に入ってから設立が多く、地域の高齢化とともに徐々にその数が増加。地域の集会所（児童館）を会場に、月に 1 回または 2 回開催しているが、参加者のほとんどが女性といった状況である。活動内容としては、体操や小物作りや食事会、お出かけなど、その内容は多岐にわた</p>

っている。令和元年度末から続く新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言等の開催自粛要請がなされると、屋内で行う活動、特に食事会が難しい状況が続いている。

■シルバークラブは、平成24年には25クラブ存在していたが、現在は18クラブとなり、会員数とともに減少している。存続する単位クラブでは定期的なスポーツや体操、ボランティア活動など、それぞれ活発な活動を行っている。ほとんどのクラブが女性会員の数が男性会員の数を上回っており、地区全体としてはおおよそ6（女性）：4（男性）といった会員構成比となっているが、シルバークラブ会長の成り手は、8割が男性という状況である。ふれあいサロン同様に、新型コロナウイルスの影響により、開催自粛要請がなされると中止や延期といった対応をするクラブが多いが、屋外での活動が中心のシルバークラブはサロンよりも開催がしやすい傾向にある。

※記載のデータ等は、令和3年10月1日現在のものです。

荳崎 圏域	若栗・菅間・樋の沢・大井・高崎・天寶喜・牧園・城山・若葉・中山 高見原 1 丁目～5 丁目・明神・稲荷原・西大井・池向・下岩崎・細見・上岩崎 あしび野・富士見台・自由ヶ丘・梅ヶ丘・駒込・小山・荳崎・大舟戸・泊崎 小荳・房内・宝陽台・桜が丘・森の里・九万坪・六斗				
	基礎データ	総人口（人）	23,209	民生委員児童委員数（人）	42
		高齢者人口（人）	8,876	高齢化率（％）	38.24
		要支援認定者数（人）	326	要支援認定率（％）	3.67
		要介護認定者数（人）	946	要介護認定率（％）	10.65
		区会・自治会数	40	地区全世帯の区会加入率（％）	71
		シルバークラブ数	24	シルバークラブ会員数（人）	1,234
社会資源*／ 医療機関／ 教育施設／ 公の施設 ※〔 〕内は 施設数	■高齢者関連施設 ・地域包括支援センター〔1〕 ・居宅介護支援事業所〔6〕 ・訪問看護事業所〔1〕 ・通所介護〔4〕 ・通所リハビリテーション事業所〔1〕 ・短期入所生活介護〔3〕 ・短期入所療養介護〔1〕 ・特別養護老人ホーム〔2〕 ・介護老人保健施設〔1〕 ・認知症対応型共同生活介護〔2〕 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔1〕				
■障害者関連施設 ・相談支援事業所〔1〕 ・福祉支援センター〔1〕 ・就労移行支援〔1〕、就労継続支援（非雇用：B型）〔2〕 ・生活介護〔1〕 ・共同生活介護（グループホーム）〔4〕 ・障害児通所支援〔2〕 ・発達障害者支援センター〔1〕					
■子ども関連施設 ・児童センター〔1〕 ・児童クラブ〔5〕 ・地域子育て支援拠点〔1〕 ・保育所（公立）〔3〕／（私立）〔1〕 ・幼稚園（公立）〔2〕 ・認定こども園（私立）〔2〕 ・認可外保育〔1〕 ・一時預かり保育〔1〕 ・児童養護施設〔1〕 ・乳児院〔1〕					
■医療機関 ・病院〔3〕 ・診療所〔6〕 ・訪問診療〔3〕 ・訪問歯科〔2〕					
■地域見守りネットワーク（小学校区別のふれあい相談員数） ・荳崎第一小学校区 4名 ・荳崎第二小学校区 6名 ・荳崎第三小学校区 3名（合計 13名）					
■ふれあいサロン ・高齢者サロン〔15〕 ・障害者サロン〔1〕					
■学校 ・小学校 3 校：荳崎第一小学校／荳崎第二小学校／荳崎第三小学校 ・中学校 2 校：荳崎中学校／高崎中学校 ・高等学校 1 校：荳崎高等学校					

	<p>■公の施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター [1] ・地域交流センター [1]
<p>地域の特性</p>	<p>■つくば市の南部に位置し、東は牛久市、西はつくばみらい市、南は牛久沼を挟んで龍ヶ崎市と隣接している。昭和 45 年は人口が 6,461 人であったが昭和 40 年代の後半から民間による大規模宅地開発が行われ、平成 2 年には人口が 2 万 5,070 人となったが、その後は横ばい状況となり平成 12 年に減少へと転じた。</p> <p>■観光資源としては南部に牛久沼が広がり、遠方からの釣り客も多く、付近には宿泊施設がある。商業施設については地区内に中小規模の商店が多く存在した時期はあったが高齢化や人口の減少とともに相次いで閉店となった。また規模の大きいスーパーなどが少ないことも特徴であり、地区によっては移動販売車が定期的に訪れ、多くの方が利用している。全体として自家用車がない場合、買い物に困難となる地域が多い。</p> <p>■荃崎地区はつくば市内で最も高齢者数が多く、高齢化率が 50%を超過している地区がある。75 歳以上の後期高齢者の割合も年々多くなっているが、介護保険認定者の割合は他圏域と比べて低いことが特徴である。</p> <p>■交通機関については牛久と隣接していることもあり、居住地によって常磐線の利用者も多い。</p>
<p>主な取り組み</p>	<p>■生活支援体制整備事業に関しては、平成 29 年度から第 2 層協議体準備会議にて地域関係者に事業説明を行い、平成 30 年度に荃崎圏域第 2 層協議体が立ち上がった。キャッチコピーは「あなたの力 あなたの心 支え合う街 くきざき」である。会議の中で、どのような取り組みができるか検討を重ねた結果、荃崎圏域には、シルバークラブやふれあいサロンの他、地区ごとに様々な趣味活動が多く存在したり、住民同士の助け合い活動を行っている自治会もあることから、それらの活動をまとめた冊子を作成することを令和 3 年度の取り組みとして行っている。</p> <p>■地域見守りネットワーク事業では、3 小学校区に合わせて 13 名の相談員を委嘱している。地区でサロン活動を展開している相談員や、区長、民生委員と定期的に意見交換を行いながら活動している相談員など、それぞれ積極的な活動を行っている。</p> <p>■ふれあいサロンは地区内の 16 か所で活動が展開されており、地区全体を対象としたサロンや自治会単位に開催しているサロン、高齢者を対象としたサロンの他、障害をもつ方に特化したサロンなどがある。</p> <p>■シルバークラブは 24 クラブあり、単位クラブにおいては定期的に行事を開催し世代間の交流を図ったり、奉仕活動を率先して行う等、活発に活動している。</p>

※記載のデータ等は、R3 年 10 月 1 日現在のものです。



3 活動記録

大穂圏域028
豊里圏域031
谷田部西圏域035
谷田部東圏域039
桜圏域044
筑波圏域049
荃崎圏域051
生活支援コーディネーター支援記録 (R3年10月～R4年3月)055

大穂圏域生活支援コーディネーター 小倉 貴之

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	11月8日(月) ①10:00~11:30 ②13:30~15:00	大穂交流センター 一会議室	①25 ②22	・生活支援体制整備事業とは ・地域見守りネットワークの活動報告 ・コアメンバーの選定について(案) ・意見交換
第2回	3月25日(金) ①10:00~11:30 ②13:30~15:00	大穂交流センター 一会議室	①17 ②14	・今年度会議の振り返り ・コアメンバーの選定についてアンケート取得の結果報告 ・意見交換

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
要	7月14日(水) 13:30~15:00	猿壁農村集落センター	10	地域見守りネットワーク事業の取り組み状況 生活支援体制整備事業について意見交換
前野	7月15日(木) 13:30~15:00	ボランティアセンター会議室	11	地域見守りネットワーク事業の取り組み状況 生活支援体制整備事業について意見交換
吉沼	7月20日(火) 13:30~15:00	吉沼交流センター	23	地域見守りネットワーク事業の取り組み状況 生活支援体制整備事業について意見交換

大曾根	7月21日(水) ①10:00~11:30 ②13:30~15:00	大穂交流センター研修室	①13 ②6	地域見守りネットワーク事業の 取り組み状況 生活支援体制整備事業について 意見交換
-----	--	-------------	-----------	--

(3) 小地域の話し合い等

地区名	日時	場所	参加者数	内容
玉取	7月21日(水) 11:30~12:30	大穂交流センター	6	地域での見守り体制・見守り対象者について情報共有・情報交換
大曾根	3月16日(水) 10:00~12:00	大穂交流センター	6	大曾根みんなの食堂立ち上げについて打ち合わせ
	月 日 () : ~ :			
	月 日 () : ~ :			

(4) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
猿壁	4月14日(水) 14:30~16:00	猿壁集落センター	ふれあい相談員活動見学・活動内容聞き取り
新地下	4月21日(水) 10:00~12:00	新地下町公民館	ふれあいサロン訪問
吉沼	4月26日(月) 11:00~12:00	吉沼見守り対象者宅	個別支援対応
岩崎	6月3日(木) 13:30~15:00	岩崎公民館	ふれあいサロン訪問
吉沼	6月28日(月) 10:00~12:00 3月28日(月) 10:00~12:00	吉沼交流センター	ふれあいサロン訪問

吉沼	10月18日(月) 19:00~21:00	吉沼交流センター	吉沼元気協議会話し合い参加
花畑	10月24日(日) 17:00~19:00 11月7日(日) 9:00~17:00	花畑近隣公園	花畑フローマーケット 打ち合わせ 花畑フローマーケット 参加
岩崎	11月28日(日) 9:00~13:00	岩崎公民館	ふれあいサロン地域交流会参加
蓮沼	12月5日(日) 10:00~12:00	蓮沼公民館	ふれあいサロン訪問
大砂	2月10日(木) 13:30~15:00 3月27日(日) 11:00~12:00	大砂ニュータウン	シルバークラブ立ち上げに向けた話し合い

(5) 個別支援件数

5 件

(6) 地域ケア会議出席回数

5 回

豊里圏域生活支援コーディネーター 井形 秀人

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	7月21日(水) 13:30~14:45	老人福祉センターとよさと	26名	(1)生活支援体制整備事業について(第2層協議体の目的と役割) (2)生活支援コーディネーターの活動報告 ・サロンへの訪問、活動支援 ・各小学校区見守りネットワーク会議報告 (3)意見交換
第2回	10月26日(火) 10:00~11:45	老人福祉センターとよさと	20名	(1)生活支援コーディネーターの活動報告 ・各小学校区見守りネットワーク会議報告 (2)生活支援体制整備事業(通いの場「サロン」について) ・事例発表「新地下花の会」 野口 とし子様 (3)意見交換
第3回	3月	老人福祉センターとよさと	書面送付 65名	令和3年度の実績報告、4年度への活動についてのアンケート送付

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
沼崎小学校	6月22日(火)	老人福祉センタ	11名	(1)地域見守りネットワ

11名	10:00~11:30	一とよさと		一ク事業の取り組み状況について (2)意見交換(地域の居場所<通いの場>づくり)
今鹿島小学校 7名	6月22日(火) 13:30~15:00	老人福祉センター 一とよさと	7名	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について (2)意見交換(地域の居場所<通いの場>づくり)
上郷小学校 14名	7月8日(木) 10:00~11:30	老人福祉センター 一とよさと	14名	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について (2)意見交換(地域の居場所<通いの場所>づくり)
沼崎小学校 10名	10月6日(水) 10:00~11:30	老人福祉センター 一とよさと	10名	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について (2)意見交換(第1回地域支えあい会議での課題等について)
今鹿島小学校	10月6日(水) 13:30~15:00	老人福祉センター 一とよさと	7名	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について (2)意見交換(第1回地域支えあい会議での課題等について)
上郷小学校	10月7日(木) 10:00~11:30	老人福祉センター 一とよさと	14名	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について (2)意見交換(第1回地

				域支えあい会議での課題等について)
--	--	--	--	-------------------

※2月に開催予定であった第3回ネットワーク会議については、コロナ禍により中止。

(3) 小地域の会議

地区名	日時	場所	参加者数	内容
金村・雷神	12月8日(水) 16:00~17:30	金村集落センター	8名	金村・雷神小地域ネットワーク会議 一昨年度にも開催。各区会の区長、副区長、民生委員、相談員による情報交換会 地域課題の共有
今鹿島	1月12日(水) 14:00~15:30	老人福祉センターとよさと	3名	個別支援ケース 大豊地域包括支援センターとの打合せ 包括職員 相談員との個別ケース会議
圏域全体	2月8日(火) 13:00~14:30	老人福祉センターとよさと	5名	大穂・豊里圏域居宅支援事業所との情報交換会 ウェルシア居宅・いちほら居宅ケアマネ3名と大穂圏域・豊里圏域コーディネーター2名の情報交換会 地域課題、インフォーマル資源の共有

(4) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
豊里の森ふれあいサロン	4月~5月	自治会館 およびブルーベリー園	サロン訪問 取材等
金村	12月8日	集会所 対象者宅	個別支援2回 地域見守りネットワーク会議(4層)
百家	秋~数回		サロンの開設について

	3月12日		取材 集いの開催
--	-------	--	----------

(5) 個別支援件数

9件

(6) 地域ケア会議出席回数

2回 オンライン

谷田部西圏域生活支援コーディネーター 大竹佳代子

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	10月21日(水) 10:00~11:30 (谷田部小区・ 谷田部南・柳橋小 区)	市民ホール やたべ 会議室	26	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業とは 地域見守りネットワークの活動報告 活動事例報告 意見交換
	13:30~15:00 (島名小・真瀬小)		29	
第2回	3月28日(月) (書面報告)		86	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの活動報告 アンケート

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
真瀬小学校区	7月26日(月) 10:00 ~12:00	真瀬総合センター	12	<ul style="list-style-type: none"> 地域見守りネットワーク事業の取り組みについて(現状報告) 生活支援体制整備事業について(ふりかえり) 真瀬小学校区における活動の提案
島名小学校区	7月27日(火) 13:30~15:00	市民ホール やたべ	14	<ul style="list-style-type: none"> 地域見守りネットワーク事業の取り組みについて

				(現状報告) ・生活支援体制整備事業について(ふりかえり) ・島名小学校区における活動の提案
谷田部 小学校区	7月28(水) 13:30~15:00	市民ホール やたべ	13	・地域見守りネットワーク事業の取り組みについて (現状報告) ・生活支援体制整備事業について(ふりかえり) ・谷田部小学校区における活動の提案

(3) 小地域での話しあい

地区名	日時	場所	参加者数	内容
島名	6月18日(金) 10:00~11:20	個人事務所	3	・生活支援体制整備事業について ・地域ニーズアンケート調査について
谷田部	6月4日(金) 14:00~16:00	グリーンハイツ研修センター	5	・地域活動について ・さわやか福祉財団助成事業について
谷田部	6月24日(木) 10:00~11:30	グリーンハイツ研修センター	4	・生活支援体制整備について ・助け合い活動の情報交換と課題について ・区長&民生委員&相談員の情報交換(情報共有)

谷田部	7月12日(月) 10:00 ~11:30	市民ホール やたペロビ ー	3	・谷田部小区の支え合い活動について(居場所&見守り)
谷田部南	7月14日(水) 10:00 ~11:30	緑ヶ丘 自治会館	5	・支え合い活動(ゴミ出し支援)について
真瀬	10月15日(金) 14:00~	高須賀研修 センター	4	・移動スーパー場所での集いの広場について(提案)
真瀬	10月25日(月) 15:00~	高須賀 区長宅	5	・移動スーパー場所での集いの広場開催周知について
真瀬	11月1日(月) 10:00~	南支所	7	・高須賀移動スーパー場所での集いの広場について(学生の運営側としての参加について)
真瀬	11月22日(月) 13:30~	高須賀研修 センター	13	・高須賀集いの広場(第1回)のアンケート調査報告と今後の内容について ・次回内容について
谷田部	12月21日(月) 10:00~11:00	市民ホール やたべ	5	・谷田部小区の支え合い活動について(居場所&見守り)

谷田部	3月30日(水) 15:00~16:00	市民ホール やたべ	5	・谷田部小区の支え合い活動について(居場所&見守り)
-----	-------------------------	--------------	---	----------------------------

(4) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
島名	4月20日(火) 10:00~12:00	カフェ バーディ	サロン訪問・見学
谷田部	5月18日(火) 10:00~11:00	わわわやたべや	伊賀七庵見学
谷田部	7月17日(土) 10:00~13:00	わわわやたべや (伊賀七庵)	イベント実施 (カーレット講習会)
島名	10月3日(日) 10:00~	台面野井研修センター	サロン訪問・見学
谷田部	10月16日(土) 11月20日(土)	グリーンハイツ研修センター	カフェ見学
谷田部	10月29日(金) 11:30~12:00	チェーロスポーツ 保育園	活動拠点の見学
谷田部	11月27日(土) 14:00~17:00	みずほ団地自治会館	カフェ訪問・見学

(5) 個別支援件数

6件

(6) 地域ケア会議出席回数

2回

谷田部東圏域生活支援コーディネーター 荻生 奈苗

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	令和3年 10月19日(火) 午前10:00~11:30 (東小学校区、小野川小学校区、二の宮小学校区) 午後13:30~15:00 (手代木南小学校区、松代小学校区、葛城小学校区、春日学園義務教育学校区、学園の森義務教育学校区)	市民ホール やたべ	38名	(1)情報交換:「地域をつなぐ! “通いの場、サロン”」 ①谷田部東圏域の“通いの場、サロン”について ②地域で実際に行われている実践事例の報告、意見交換 ~サロン松美会(松代地区)の取り組み~ ③通いの場、サロン運営を支える仕組みや制度について (2)事業報告:生活支援コーディネーター活動報告
第2回	令和4年3月	書面での開催		(1)令和3年度生活支援コーディネーター活動報告 (2)谷田部東圏域生活支援体制整備事業アンケート

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
葛城小学校区	6月29日(火) 13:30~15:00	辻原研修センター	7	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組みについて ①現状についての報告 ②情報共有 (2)生活支援体制整備事業について ①「サロン・集まりの場」についての情

				報交換
春日学園 義務教育学校区	7月6日(火) 10:00～11:30	椿亭	6	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組みについて ① 現状についての報告 ② 情報共有 (2)生活支援体制整備事業について
松代小学校区 手代木南小学校区	7月9日(金) 13:30～15:00	松代交流センター	8	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組みについて ① 現状についての報告 ② 情報共有 (2)生活支援体制整備事業について 「谷田部東地域包括支援センターの取り組みについて」
小野川小学校区	11月12日(金) 13:30～15:00	市民ホールやたべ	10	(1)地域見守りネットワーク事業の取り組みについて ① 現状についての報告 (2)見守りの推進について ①前回の会議内容の確認 ②「小地域見守りチーム構想」について(提案) ③意見交換

(3) 小地域での話し合い等

地区名	日時	場所	参加者数	内容
春日・東平塚	4月23日(金)	椿亭	約5~ 10	「春日の森 NET 作戦会議」 ・空き店舗を活用した集いの場づくりについて(サロン春日の森) ・空き家の整備と地域の活動拠点づくりについて ・サロン春日の森の取り組みについて
	5月7日(金)			
	5月21日(金)			
	6月11日(金)			
	7月2日(金)			
	7月30日(金)			
	8月24日(火)			
	12月7日(火)			
2月25日(金)				
苅間	10月16日(土)	辻原研修センター	8	・「葛城地区 つなぐ会」第一回会議
研究学園	10月11日(月)	研究学園駅前公園内古民家	7	・第一回研究学園地区活動団体交流会開催に向けた打ち合わせ(準備会)
	11月26日(金)			
研究学園	12月3日(金)	老人福祉センターとよさと	5	・第一回交流会の振り返り ・次回の交流会について ・「研究学園さくらまつり」の開催について
	12月23日(木)			
高野台	3月2日(水)	高野台コミュニティセンター	5	・シルバークラブを中心としたゴミ出し支援立ち上げに向けた打ち合わせ
	12月2日(木)			
	2月17日(木)			
東	2月28日(月)	東児童館	6	・小地域版食事サービスについての打ち合わせ
	4月10日(土)			
東	12月11日(土)	東児童館	約10	・東小学校区きずなネットワーク運営協議会定例会への出席
	4月20日(火)			
	5月18日(火)			
	6月15日(火)			
	11月16日(火)			
	12月21日(火)			
1月18日(火)				
南中妻	6月21日(月)	南中妻セン	約10	・ふれあいセントラルの会

		トラルタウン自治会館		(ふれあいサロン)にて、生活支援体制整備事業・社協事業についての紹介
	7月12日(月) 7月21日(水) 10月14日(木)	松代交流センター	2	・支えあい会議でのサロンの取り組みの事例報告についての打ち合わせ
	4月26日(金)	松代交流センター	2	・地域活動関係者を対象とした、松代地区の状況についてのヒアリング
	3月12日(土)	松代交流センター	約10	・自治会役員会にて、生活支援体制整備事業・社協事業についての紹介
小野川	3月20日(日)	小野川児童公園集会所	8	・おのがわ睦会(シルバークラブ)定例会にて、地域の見守りに関する話し合い

(4) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
春日元気クラブ (春日)	4月14日(水) 4月21日(水) 13:30~15:30	代表宅 (春日4丁目)	サロンの訪問・見学
春日の森サロン (東平塚)	6月6日(日) 7月18日(日) 9月19日(日) 10月17日(日) 12月19日(日) 1月16日(日) 3月20日(日) 13:00~15:00	椿亭	サロンの訪問・運営支援
サロンかつらぎ (荻間)	4月15日(木) 7月22日(木)	辻原研修センター	サロンの訪問・見学 イベントの運営支援

	9月30日(木) 11月13日(土) 9:30~12:00		(11/13)
笑和いきいき会 (梶内)	6月9日(水) 10:00~12:00	梶内生活改善センター	サロンの訪問・見学
赤塚東山カフェ (赤塚)	7月5日(月) 10:00~11:00	赤塚東山自治会館	オープンカフェの訪問・見学
赤塚東山 ふれあいサロン (赤塚)	7月12日(月) 10:00~11:30	赤塚東山自治会館	サロンの訪問・見学
サロン松美会 (松代)	10月18日(月) 12月20日(月) 10:00~12:00	松代交流センター	サロンの訪問・見学

(5) 個別支援件数
3件

(6) 地域ケア会議出席回数
3回

桜圏域生活支援コーディネーター 小川 奈々世

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	10月12日(火) 10:00~11:30	研究交流センター 国際会議場	42名	<p>1 生活支援体制整備事業について(第2層協議体の目的と役割)</p> <p>(1)生活支援体制整備事業の概要説明</p> <p>(2)生活支援コーディネーターの役割について説明</p> <p>(3)地域見守りネットワーク会議の報告</p> <p>2 今後の地域支えあい会議について</p> <p>(1)8月に行ったアンケート集計結果の報告</p> <p>(2)コーディネーターとして会議員に考えてもらいたいことを説明</p> <p>(3)今後の会議の進め方についてアンケートで回答してもらう</p> <p>(4)次回の会議の予定を説明</p>
第2回	12月16日(木) (並木・桜南・竹園東・竹園西) 10:00~11:30	桜総合体育館 会議室	41名 (午前21名・ 午後20名)	<p>(1)地域支えあい会議の目的</p> <p>(2)生活支援コーディネーター活動報告</p>

	(栗原・栄・九重・吾妻) 13:30～15:00			(3) 第1回会議で行ったアンケート集計結果報告 (4) 意見交換
第3回	3月24日(木) 13:30～15:00		書面送付 102名	(1) 第2回会議で行った意見交換の報告 (2) 生活支援コーディネーターの活動報告 (3) 令和4年度の活動についてのアンケート送付

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
桜南	6月25日(金) 13:30～15:00	並木交流センター 会議室	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・ 生活支援体制整備事業について ・ 桜南小学校区の話し合いテーマについて
栗原	6月29日(火) 13:30～15:00	栗原交流センター ホール	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・ 生活支援体制整備事業について ・ 栗原小学校区の話し合いテーマについて
並木	7月1日(木) 10:00～11:30	並木交流センター ホール	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・ 生活支援体制整備事業について ・ 並木小学校区の話し合いテーマについて

九重	10月7日(木) 13:30~15:00	桜総合体育館 会議室	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について ・九重小学校区の話し合いテーマについて
吾妻	10月29日(金) 10:00~11:30	春日交流センター 大会議室	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について ・吾妻小学校区の話し合いテーマについて
竹園西	10月29日(金) 14:00~15:30	竹園交流センター 会議室	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について ・竹園西小学校区の話し合いテーマについて
竹園東	11月2日(火) 14:00~15:30	竹園交流センター 会議室	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について ・竹園東小学校区の話し合いテーマについて
栄・栗原	1月31日(月) 13:30~15:00	桜総合体育館会 議室		コロナウイルス感染拡大のため延期

(3) 小地域の話し合い等

地区名	日時	場所	参加者数	内容
-----	----	----	------	----

栄・栗原	12月17日(金) 13:30~15:00	桜交流センター	8	栗原小学校区と栄小学校区 合同地域見守りネットワー ク会議内で行う防災勉強会 の打ち合わせ
------	--------------------------	---------	---	--

(4) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
桜	4月15日(木) 10:15~11:15	ウエルシアつくば桜 店	ふれあいサロン桜に訪問
栄	4月24日(土) 15:00~16:00	塚本邸(つくば市大 576)	栄市街地活性化協議会協 力のイベントに参加
竹園	5月21日(金) 13:00~14:00	竹園交流センター	竹園ふれあいサロンに訪問
下広岡	6月9日(水) 10:30~11:00	広岡交流センター	桜ニュータウン高齢者等送 迎システム「さくら」新ル ート運行開始セレモニーに 参加
千現	6月16日(水) 10:00~11:30	アトリエ・ドゥ・ダ ルクローズ	ふれあいサロン・千現カフ ェに訪問
下広岡	6月28日(月) 10:00~11:00	つくば市役所	桜ニュータウン自主防災組 織の説明会に参加
栄	7月14日(水) 19:00~21:00	桜交流センター	栄市街地活性化協議会の会 議に参加
並木	8月19日(木) 13:00~14:00	レンタルスペース田 楽	見学及び打ち合わせ
上ノ室	10月9日(土) 11:30~13:00	相談員宅・館坪ふれ あいセンター	移動スーパーの支援活動の 見学及び打ち合わせ
上野	10月12日(火) 15:00~15:30	上野地区内	空き家の利用について打ち 合わせ及び見学
並木	10月23日(土)	並木交流センター	桜地区区会連合会の役員会

	10:00~11:00		に参加
吾妻	11月11日(木) 14:00~15:00	青山がらり	店舗の利用について打ち合わせ
下広岡	11月29日(月) 15:00~16:00	桜ニュータウン内	ハッピーハウスの見学
吾妻	12月3日(金) 14:00~15:00	吾妻交流センター	カフェロマンに訪問
吾妻	12月10日(金) 14:00~15:00	青山がらり	ふれあいサロン代表と青山がらり社長と打ち合わせ
春風台	12月19日(日) 13:00~14:00	春風台地区内	サロンの開催候補地の見学
栗原	1月19日(水) 13:30~14:30	桜老人福祉センター	サロン水車に訪問
春風台	2月22日(火) 10:00~11:00	BBQ グリル料理専門店 BAR-KIN	サロン開催候補地の見学及び打ち合わせ

(5) 個別支援件数

15 件

(6) 地域ケア会議出席回数

4 回

筑波圏域生活支援コーディネーター 猪瀬 翔南

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議（第2層協議体会議）

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	7月29日（木） 13：30～15：00	市民ホールつくば ね 大ホール	57	振り返りと第2層及び第3層の役割、意見交換等
第2回	3月16日（水） →中止			第2層協議体代表者（39名）へ報告書を郵送

(2) 小田地区いきいき会議（第3層協議体会議）

小田地区いきいき全体会議 メンバー34名

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	5月25日（木） 13：30～15：00	市民ホールつくば ね2階会議室	20	見守りマップへの取り組み、個人情報の取り扱い等
第2回	10月28日（木） 13：30～15：00	市民ホールつくば ね2階会議室	28	見守り活動状況、防災部会立上案、広報紙案、第3層名称案、つくば市実証実験協力等

小田地区いきいき代表者会議 メンバー8名+@（協議事項による）

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	10月7日（木） 13：30～15：00	小田小交流プラザ	11	見守り活動状況、防災部会立上案、広報紙案、第3層名称案、つくば市実証実験協力等
第2回	3月7日（水） 13：00～15：00	小田小交流プラザ	12	防災部会立上準備会、来年度の方向性等

(2) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
旧菅間	6月22日(火) 10:00~11:30	筑波交流センター2階学 習室	9	振り返りと第2層代 表者の決定
旧作岡	6月22日(火) 13:30~15:00	JAつくば市筑波西支店会 議室	18	振り返りと旧作岡の 取り組みの方向性
旧北条	7月15日(木) 13:30~15:00	市民ホールつくばね2階 会議室	18	振り返りと第2層代 表者の決定
旧山口	7月21日(水) 10:00~11:30	旧山口小学校事務室	8	振り返りと見守りマ ップ更新等

(3) 小地域の会議 (第2層協議体代表者打合せ)

地区名	日時	場所	参加者数	内容
旧筑波	12月8日(水) 13:30~15:00	働く婦人の家	5	振り返りとゴミ出し 困難事例、取り組み の方向性
旧田井	12月14日(火) 10:00~11:30	筑波交流センター学習室	3	振り返りとゴミ出し 困難事例、取り組み の方向性
旧作岡	12月16日(木) 13:30~15:00	JA筑波西支店会議室	6	旧作岡小学校区の課 題に対する話し合い
旧田水山	12月17日(金) 15:30~17:00	下田中児童館	4	振り返りとゴミ出し 困難事例、取り組み の方向性
旧北条	12月21日(火) 13:30~15:00	市民研修センター	8	振り返り、旧北条小 の取り組みの方向性

(4) 個別支援件数

10 件

(5) 地域ケア会議出席回数

5 回

荃崎圏域生活支援コーディネーター 益子 奈津子

1 活動報告

(1) 地域支えあい会議

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	7月1日(木) 13:30~15:00	荃崎交流センター 2階 大会議室	30名	(1) 2層協議体「地域支えあい会議」のあり方について ・第1層から第3層の構成 ・平成29年からの経過のまとめ ・令和3年度の目標(みんなでやっていきたいこと)
第2回	10月28日(木) 14:00~15:30	荃崎保健センター 2階会議室	29名	(1) 第2層協議体支えあい会議のあり方 ・これまでの経過とまとめ ・令和3年度第2層協議体として取り組む内容 (2) 「荃崎版社会資源集(仮称)」作成について ・データとして入れる社会資源の確認 ・データカード様式 ・情報収集方法 (3) コアメンバー配置について
第3回	12月14日(火) 13:30~15:00	荃崎保健センター 2階会議室	21名	(1) 前回の振り返り (2) 「荃崎版社会資源集(仮称)」作成について ・データカードの様式 ・データカード記入の依頼先

				<ul style="list-style-type: none"> ・作成スケジュール ・資源集の名称について <p>(3) 荃崎第2層協議体コアメンバー紹介</p>
--	--	--	--	--

(2) 第2層協議体コアメンバー打ち合わせ

日時	場所	参加者数	内容
10月26日(火) 10:30~11:00	荃崎農村高齢者交流 センター 相談室	1名	(1) 区長会長との打ち合わせ ・コアメンバーの選定について
10月26日(火) 16:00~17:30	荃崎農村高齢者交流 センター 相談室	3名	(1) 第2回支えあい会議の打合せ ・資源集作成のためのデータカード様式について ・情報収集方法等
11月11日(木) 15:00~16:30	荃崎農村高齢者交流 センター 相談室	3名	(1) 資源集作成の打合せ ・データカードの様式について
12月9日(木) 13:00~14:00	荃崎老人福祉センタ ー ボランティア室	2名	(1) 第3回支えあい会議の打合せ ・データカードの様式について ・作成スケジュール
3月7日(月) 17:00~18:30	荃崎農村高齢者交流 センター 作業室	7名	(1) 資源集作成の打合せ ・収集後のデータカードの確認
3月14日(月) 14:00~15:00	荃崎農村高齢者交流 センター内	1名	(1) 資源集作成の打合せ ・掲載方法について

(4) 地域見守りネットワーク会議

小学校区	日時	場所	参加者数	内容
荃崎 第1小	6月10日(木) 14:00~15:30	荃崎保健センター 2階会議室	23名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について
荃崎 第2小	6月17日(木) 10:00~11:30	荃崎保健センター 2階会議室	24名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について
荃崎 第3小	6月18日(金) 10:00~11:30	荃崎保健センター 2階会議室	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について ・生活支援体制整備事業について
梅ヶ丘	6月3日(木) 13:30~15:00	梅ヶ丘集会場	8名	<ul style="list-style-type: none"> (1) ゴミ出し支援の検討 ・アンケート調査票(内容)について ・アンケート調査票の配付・回収方法について
梅ヶ丘	10月26日(火) 10:00~11:30	梅ヶ丘集会場	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出し支援についてのアンケート集計結果について ・ゴミ出し支援方法の検討

(5) 小地域での話し合い等

地区名	日時	場所	参加者数	内容
あしび野	11月16日(火)	あしび野ふれあ	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りを視野に入れたふ

	1月27日(木) 3月30日(水)	い農園予定地	2名 11名	れあい農園の打合せ
森の里	2月8日(火)	森の里公会堂	6名	・安否確認方法の検討

(6) 地域への訪問

地区名	日時	場所	内容
森の里	4月27日(火)	森の里公会堂	サロンの訪問・見学
あしび野	11月24日(水)	あしび野自治会館	シルバークラブの訪問 ・見学
梅ヶ丘	12月25日(土)	梅ヶ丘集会場	シルバークラブ年末行事の 訪問・見学
桜が丘	1月19日(水)	桜が丘公民館	サロンの訪問・見学
牧園	1月22日(土)	牧園区長宅	地域見守りネットワーク事 業説明
サロンひまわり		荃崎農村高齢者 交流センター 作業室	サロンの訪問・見学

(5) 個別支援件数

6 件

(6) 地域ケア会議出席回数

4 回

令和3年度生活支援コーディネーター支援記録(令和3年10月～令和4年4月)

※Ayamu のシステムを利用して数値化

1 支援回数計 344

2 圏域別支援回数

大穂	豊里	谷田部西	谷田部東	桜	筑波	荃崎
51	54	48	45	50	51	45

3 業務の種類(Coが行った業務の種類)

資源把握	ニーズ把握	アセスメント	関係形成	連絡調整	資源開発	運営支援
51	54	48	45	50	51	45

4 主な関係(支援の関係先)

区長 区会関係者	民生委員	ふれあい 相談員	地域団体 住民団体	専門職	市職員	地域包括支 援センター
72	97	102	104	37	28	25
社協	住民	その他				
11	62	43				

5 資源の種類(Coが支援している資源の種類)

居場所	見守りネット ワーク	食事に関する 支援	掃除や洗濯	買い物	ゴミ出し	外出援助 (通院や買い物)
110	78	12	0	2	18	3
移動支援	見守り・ 声かけ	集いの場	話し相手	健康維持・ 運動	軽作業	災害時の 避難
0	0	48	9	7	2	4
ネットワーク	個別支援	その他				
33	32	92				

6 方法

電話	会議	打合せ	往訪	来訪	オンライン	その他
119	36	54	82	31	6	17

4 地域で生まれた取り組み

大曾根みんなの食堂(大穂圏域)057
百家集いの場(豊里圏域)058
高須賀集いの場(谷田部西圏域)059
さろん・ド・カフェ グリーンハイツ (谷田部西圏域)060
みずほカフェ(谷田部西圏域)061
春日の森 NET(谷田部東圏域)062
葛城地区つなぐ会(谷田部東圏域)063
研究学園地区活動団体交流会(谷田部東圏域)064
高野台ゴミ出し支援活動(谷田部東圏域)065
春風台サロン(桜圏域)066
小田地区生き生き会議(筑波圏域)067
荃崎版社会資源集の作成(荃崎圏域)070
梅ヶ丘ごみ出し支援活動(荃崎圏域)071
あしび野ふれあい農園(荃崎圏域)072

大穂 圏域

大曾根みんなの食堂

取り組みの背景

蓮沼地区でのふれあいサロンへの訪問時、サロン代表の方から、地域で新たに子ども食堂を始めたいと相談があった。

代表はつくば市食生活改善推進協議会会長を担う等、食生活改善推進協議会にて活躍している経験から、子どもの食育や地域の健康づくりに注力したいと考え、子ども食堂の立ち上げを進めていくこととなった。

内容・プロセス

「立ち上げのための打ち合わせ」

- ・令和4年4月からの開催を目指し、活動内容について話し合いを重ねていった。対象者を子どもに限定せず、地域の誰でも利用できる地域の食堂とするため、名称を「大曾根みんなの食堂」とし、開催日時、会場、金額、定員等の活動内容も決めた。調理ボランティアとして協力していただける方については、代表が声をかけていくことで集めていった。
- ・生活支援コーディネーターがチラシと会則、さわやか福祉財団助成金申請書の作成を協力することで、各書類を完成させていった。
- ・代表と調理ボランティア、生活支援コーディネーターが集まり、全体ミーティングを行い、役員や4月から9月までのメニューを決め、会則等の周知や今後の方針も共有した。



「お試し開催として、青い羽根学習会大穂教室での食事交流会の実施」

- ・4月からの本格的な開催に向けて、まずはお試し開催として、青い羽根学習会大穂教室協力のもと、3月に食事交流会を開催することとした。

実際に食事会を開催することで、調理の流れや調理器具の確認を行った。食事交流会に参加した子どもたちの笑顔を見ることで、改めて大曾根みんなの食堂開催への意欲が高まった。

結果、効果等

子どもの食育のみならず、地域住民の交流が行える食堂として、定期的に地域住民が集える場としていく。地域に新たな住民が増えてきているが、区会への加入率は低く、最近ではつながりをつくるのが困難になってしまっているため、この食堂をきっかけに地域に新たなつながりができていけるよう、地域住民の誰でも気軽に利用できる食堂を目指す。

豊里 圏域

百家 集いの場

取り組みの背景

地域で集会所や寺院の掃除をボランティアで月に2回実施してきたグループの再活性化が目的。集いの場を開催することにより、コロナ化で途絶えていたグループ活動(掃除の後の茶話会や卓球等の活動)をサロンとして位置づけることによって、集まる意義と福祉的な地域活動の動機づけとしていく。

内容・プロセス

カスミの移動販売に合わせ、普段の買い物ご利用者と前出のボランティアグループに声掛け。グループ内のコンセンサスを得て実施となった。地域のシルバークラブ会長や地域支えあいサポーターを通じ区会、民生委員にも話を通すことにより円滑に開催できた。



結果、効果等

当日は、市役所の協力によって用意された血圧測定や脳年齢チェックより、やはり参加者同士の会話が中心であることが実感できた。

新年度、集いの場として数回開催していただくことも考えられるが、既にグルーピングができていますので、活動日を「サロン」と設定し、申請、登録と繋げていく。必要な講師の派遣等の要請に関しては協力していく。

谷田部西 圏域

移動スーパー場所での集いの広場 「高須賀集いの広場」

取り組みの背景

高齢者が増加し、地域の商店が閉店、移動スーパーの利用者も増加。移動販売場所前から高齢者が集まり立ち話しをしている。

「研修センターを空けて交流の機会があってもいいかも・・・」と民生委員とふれあい相談員に地域包括支援課と生活支援コーディネーターから提案した。その後3区長・シルバークラブ会長に賛同をいただき開催することになった

内容・プロセス

活動に参加してくれる方について民生委員と相談員からの声掛けを行い、担い手探しを行った。サロンをどのように運営していくか？の作戦会議の実施。

地域包括支援課に筑波大学生からの運営側に関わりたい。との連絡があり、関わるようになった。サロンの内容や進め方など月1回関係者間での話し合いを行った。そこで、フードロスに興味がある学生から提案があり「畑でそのままになっている野菜や地域で余っている食品など・・・」を有効活用できないのか？に対してJAつくば市谷田部が支援してくれることになった。主なメンバーとしては、区長・民生委員・ふれあい相談員・シルバークラブ会長・JAつくば市谷田部・筑波大学生などいろいろな立場の方が参加している。



結果、効果等

- ・今まで開催していた集まりの場がコロナの影響で中止になり、住民がまたつながりができる場ができた。
- ・サロンは、若い世代の活動も加わり世代を超えて交流するになっている。高齢者は、筑波大の学生が参加してくれることをとても楽しみにしており、高齢者は自分たちも学生の役に立ちたい思いが出ている。
- ・今後は、お話交流の時間に、地域の課題を聞きながら課題を解決する仕組みを作ることを検討している。



谷田部西 圏域

さろん・ド・カフェ グリーンハイツ (谷田部・グリーンハイツ団地)

取り組みの背景

団地入居開始当初は、子育て世帯が中心だったが、最近は高齢化が進行している。現在、ふれあいサロンや住民主体の助け合い活動やシルバークラブかつどうやサークル活動も活発に実施しているが、住民が「ふらっと」と立ち寄れるおしゃべりできる場所があるといいね。の提案に、高齢者を支援する住民を対象に取り組みが始まった。

内容・プロセス

団地内で高齢者支援をしている住民を対象に「活動に賛同してくれる仲間」集めを行った。活動のキーマンは、サロン等の立ち上げ者でもあり社協の「ふれあい相談員」さん。どのような内容にするか？財源は？など意見交換を重ねた。SCは、助成金等の情報提供を行い、地域の活動を支援している。

みんなが主体的に参加できるように、「催しものは少なく、自由におしゃべりできる時間を確保すること」として活動をすすめている。



結果、効果等

- ・定期的にカフェやサロンを実施することで誰でも気軽に参加できる場所として地域住民に周知ができた。
- ・カフェがオープンしてから、今まで参加していなかった高齢者が参加するようになり、見守り活動に繋がっている

谷田部西 圏域

みずほカフェ(谷田部・みずほ団地)

取り組みの背景

団地内では、「ひとり暮らし高齢者」「高齢者世帯」が増加してきた。その一方、若い世代の新規入居者が増加し、団地内にもぎやかになってきている。第2層協議体会議での、他地区活動発表を参考に2名の民生委員が立ち上げた。SCは、他地区の活動状況などの情報提供を行い活動の支援を継続している。

内容・プロセス

- ・活動に賛同してくれる仲間を募集し、事業の内容等の案内については、区会回覧で周知した。当日の内容については、前の会で、参加者の皆さんと話し合いの中で決定していくことになった。内容は、おしゃべりとちょっとした催し&季節のイベント
- ・ふれあいサロンやカフェを実施したことで住民同士の交流の場が増えてきた。



結果、効果等

- ・定期的にカフェやサロンを実施することで誰でも気軽に参加できる場所として地域住民に周知ができた。
- ・多世代の交流の機会を持ちことができたことで、若い世代が高齢者に声掛けるなど繋がりが広がっている。
- ・多世代が参加できる拠点が生まれたことで新しい取り組みが生まれたり、さらに活動が発掘され、広がりを見せることに期待している

谷田部東 圏域

春日の森 NET(春日・東平塚地区) ～地域の空き家を活用した集いの場づくり～

取り組みの背景

・この地区では、サロン等の住民の小さな集まりはあるものの、それを行う場所(会館や集会所)がない状況であった。

・春日学園義務教育学校区地域見守りネットワーク会議において、春日地区担当民生委員より、「地域の中で空き店舗を所有している住民から、『この場所を地域のために活用してほしい』との話を聞いている」との話題提供があった。



内容・プロセス

「春日の森 NET 作戦会議」の実施

まずは活動に賛同してくれる仲間集めを行い、取り組み名を「春日の森 NET」と名付け、まず空き店舗をどのように活用していけるか意見交換を行う場づくりを行った。令和2年12月より、月1～2回のペースで会議を行った。参加者は民生委員、サロン関係者、地域活動関係者、地区内に居住する議員など、様々なメンバーが集まっている。



集いの場の開催～「サロン春日の森」の開始

まずは「みんなが気軽に集まれるサロンを作ろう」ということになり、令和3年6月より、「サロン春日の森」として、月1回のサロンが開始された。参加者は地域の高齢者が中心であったが、ちょっとしたイベントを合わせて行うことにより、子どもや子育て中の親世代の参加も見られるようになっている。



◆空き家の整備プロジェクトの開始

この空き店舗に隣接する古民家の方も、持ち主の方から活用してほしいとの話があったため、地域の方の活動拠点として自由に使ってもらえるよう、家屋内の片づけや裏庭の草刈りなど、地域住民みんなで整備を進めている。



結果、効果等

- ・定期的にサロンを実施することで、地域住民なら誰でも気軽に来られる場所としての周知と理解が進んでいる。また活動が続ける中で、地域の中に住む大学生や外国人、子育て世代との関わりもできてきており、世代を超えたつながりが生まれている。
- ・また、地域の中に拠点ができることで新しい活動が生まれたり、今ある活動が広がることも、今後期待される効果である。

谷田部東 圏域

葛城地区 つなぐ会 ～地域をよくする「話し合い」の場づくり～

取り組みの背景

・葛城小学校区は、高齢化が進むと同時に、研究学園地区形成以降、若い世代が多く移り住み、地域の様子が大きく変わってきている。かつては元気だった高齢者が年を取って外に出づらくなっている状況（地域の高齢化）や、地域のお祭りがコロナ禍の影響もあり縮小傾向になるなど、地域のつながりのあり方にも変化が出てきている状況にあった。

内容・プロセス

「サロンかつらぎ」の立ち上げ

地域活動関係者（現・葛城小学校区 地域支えあいサポーター）と地区担当民生委員より、地域で外に出づらくなってきた高齢者が、身近な場所で集まれる場をつくりたいとの相談があった。SC は、サロン立ち上げに向けて、助成金等の情報提供を行った。R2 年度は社協地域の絆づくり支援事業「ミニふれあいサロン」助成金を活用してサロンを実施、R3 年度はつくば市ふれあいサロンに登録し、サロン活動を継続している。



「葛城地区 つなぐ会」の設立

「地域の住民が世代を超えて皆が支えあい、助け合い、ともに安心して葛城地区に暮らし続けること」を目指して、地域支えあいサポーター、民生委員を中心に「葛城地区 つなぐ会」が設立された。コロナ禍で人が集まるのが難しい状況だが、第 1 回目の話し合いの場の開催(10 月)を行い、11 月に地域イベント「つなぐまつり」の開催、先述のサロンへの協力を通して、地域での活動を進めている。



結果、効果等

- ・サロンは、若い世代も高齢者も一緒になり、世代を超えて地域が交流する場になっている。また、年を取って外出が難しい高齢者を支える、ひとつの生活支援の仕組みとして機能している。
- ・また、地域について話し合える場が立ち上がったことにより、様々な人が集い、地域の課題を検討したり、課題を解決するための仕組みをつくったりすることが今後可能になると考えられる。「第三層」の協議体のような役割を果たしていくのではないかと。

谷田部東 圏域

研究学園地区 活動団体交流会の開催

取り組みの背景

- ・新しいまちとして研究学園地区が形成されてから約 15 年が経過。人口は増加の一途を辿っているが、住民同士のつながり、地域のつながりはまだできていない状況にある。
- ・そんな中、研究学園地区では10を超える活動団体が地域の中で活発に活動しているが、活動団体間のつながりがまだない状況があった。

内容・プロセス

「研究学園地区活動団体交流会」の開催

地域で活動している団体がつながることで自分たちの活動が広がったり、そこに参加する住民が増えることで、地域活動を通して住民が地域とのつながりをつくっていけないのではないかと考え、同じ思いをもつ関係者と協議を重ね、準備を行い、「研究学園地区活動団体交流会」を開催した。



話し合いのテーマは「活動の＋／－面」「研究学園地区でやってみたいこと!」。意見交換の中で各団体の共通する課題として「活動場所」「活動資金」「後継者」「広報」などの課題があがった。この会を継続し、課題の解決に向けて検討を続けていく。来年度はじめに、第2回目の交流会を開催予定。

結果、効果等

- ・これまで同じ地域で活動していても、なかなか交流がなかった団体同士がつながりをつくるきっかけとなる場をつくることができた。「必要だとは思っていたが、なかなかきっかけが掴めなかったので、今回できて良かった」「中立的な立場にある社協に中心になってすすめてもらえてよかった」との声もあった。今後は交流の場から、自分たちや地域の活動について継続的に意見のやりとりができる話し合いの場に繋げていく。
- ・今回の交流会をきっかけにつながりのできた団体が連携し、地域イベントが開催された。研究学園地区設立当時から活動している「NPO 法人研究学園・葛城」が大切に植樹を続けてきた桜を象徴するイベントとして、「研究学園さくらまつり」が4月2日に開催され、地域の人たちが集う場づくりにもつながった。

谷田部東 圏域

高野台ゴミ出し支援活動 ～シルバークラブと考える生活支援活動～

取り組みの背景

- ・小野川小学校区地域見守りネットワーク会議において、地区担当の民生委員より、「地域の方で、『高齢者を対象にゴミ出しのお手伝いをしたい』と話してくれている人がいる」との相談を頂いた。改めてその方にお話を伺うと、「ささえあい・つくば」(社協通信)を見て、このような生活支援活動がとても大事だと感じ、取り組みたいと思っていたとのこと。
- ・その方と、地域で活発に活動している「高野台シルバーレインボークラブ」と、民生委員とともに、ゴミ出しが難しい高齢者の方を対象に、週2回の燃やせるゴミ出しのお手伝いを始めることになった。

内容・プロセス

立ち上げに向けた打ち合わせの実施

新年度から活動を開始できるよう、話し合いを重ね、準備を進めている。どのような決まりの中で活動を行うのかを決め、利用者募集のチラシを作成。まずは燃やせるゴミ出しの支援から始め、要望があれば、他の支援活動も検討していく。

4月から区会に対して利用者募集の呼びかけを開始し、活動のPRを行っている。

「ゴミ出し支援」を利用しませんか？
～「ささえあい・つくば」の助け合い活動 利用者募集～

コロナ対策の中、健康で日々生活を営むことは大変ではありません。高齢者もゴミ出しが難しいと感じる方が増えています。ゴミ出しの助け合い活動を実施するようになります。

対象 高齢者民生委員で、燃やせるゴミ出し(火・食糧)が困難な高齢者を対象に、ご自宅まで伺い、ご自宅まで燃やせるゴミ出しの支援活動を実施。高野台シルバーレインボークラブ会員が行います。

料金 1回につき 50円

申込先 ① 地区民生委員 ●●●●●●
連絡先 029-●●●●●●
② 高野台シルバーレインボークラブ
事務局 ●●●●●● 連絡先 029-●●●●●●(留守電)
※ 電話で、お名前とご住所をお伝えください。
(留守電の場合は伝言に入れて下さい)

※ 申込先
○ 高野台民生委員
○ 高野台地区民生委員 事務局
○ 高野台シルバーレインボークラブ



結果、効果等

- ・多くの地区でニーズとして挙がっている「ゴミ出し支援」について、地域の力で解決する仕組みの創出につながった。
- ・また、谷田部東圏域で生活支援活動にシルバークラブが取り組む事例は、高野台が初めてとなる。今後高野台での活動を積極的に発信し、他地域のシルバークラブへの波及も目指していきたい。

桜 圏域

春風台サロン

取り組みの背景

春風台は新しく区画整理してできた地区で、若い世代も多いが、移住してきた高齢者もいる。住民が気軽に集まれるサロンがないため、高齢者の閉じこもりが懸念される。春風台の民生委員より、地域見守りネットワーク会議の中でサロンを始めてみたいと話があった。しかし、交流センターや集会所がないため、活動できる場所がないことが課題としてあった。

内容・プロセス

サロンを行う場所を探すことから始めた。春風台にある「BBQ グリル専門店 BAR—KIN」はレンタルスペースとしても運営しているため、定期的な活動を行う場として借りることが可能か相談し、使わせていただくことになった。

まずは、5月上旬に第1回目を予定している。その後は毎月1回、春風台に住んでいる高齢者等10名が参加の予定。ふれあいサロンの登録についても検討していく。

チラシを作製し、区長に協力いただくなど、地区全体に春風台サロンを周知し、参加者を募っていく。

また、高齢者だけでなく、近隣の若い世代との交流も図っていきたいと考えているため、引き続き連携して進めていく。

結果、効果等

4月から本格的に準備が始まるため、結果はまだでていないが、春風台の住民にとって楽しく気軽に参加できる居場所になるように支援をしていく。



筑波 圏域

小田地区いきいき会議

取り組みの背景

- ・台風 19 号(2019 年)において、一人暮らし高齢者が避難困難という課題があがった。
- ・小田小交流プラザの開設によるまちづくり活性化の流れがある中で、「いつになっても安心して生活し続けることができる地域」を目指し、生活支援体制整備事業を通じて見守りや防災活動について、民生委員と話をする機会が増えていった。

プロセス

(1) 協働事務局の立ち上げ

上記課題を進めるため、地域住民に協働事務局になっていただき、目的や内容、方向性を定めるための打合せを重ねていった(計8回)。

(2) 小田地区いきいき全体会議(R3.5.25/R3.10.28)

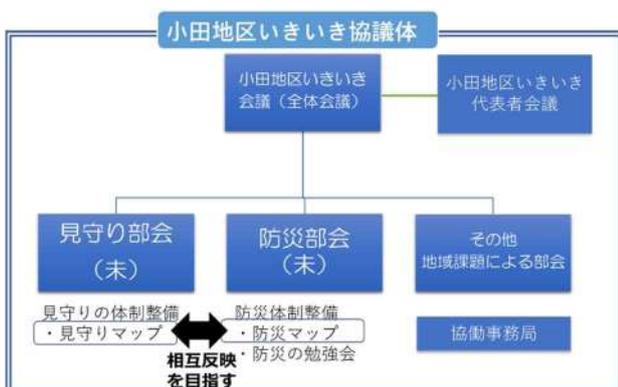
区長、民生委員児童委員、ふれあい相談員、地域団体代表、専門職、地域関係者、計 34 名をメンバーとした小田地区いきいき会議(全体会議)を立ち上げた。旧小田小学校区の支えあいの取り組みについての話し合いや方向性を決める会議である(2回実施)。

(3) 小田地区いきいき代表者会議(R3.8.5 中止/R3.10.7/R4.3.17)

各区会代表者 1 名を選任いただき、計 8 名からなる「小田地区いきいき代表者会議」も同時に立ち上げた。支えあいの取り組み状況の進捗把握や方向性の検討、区会ごと取り組みの意見集約を行う(3回実施のうち1回は中止)。

成果

(1) 組織体の立ち上げ



(2)見守りマップの作成

ご近所情報を基に、区会ごとの地図に見守り対象者のマッピングを行った。このマップを、関係者が情報共有することによって、普段の見守りへの活用や地域住民の見守りへの理解促進につなげていく。また今後、災害時や緊急時における地域住民でできる助け合いの在り方を深めていくことを目標としている。



- 赤：一人暮らし高齢者世帯
- 桃：日中独居高齢者世帯
- 橙：高齢者のみの世帯
- 黄：その他気になる世帯

(3)個人情報取り扱いの取り決め

見守りや防災の話し合いを進めていくにあたり、個人情報が多く出ることもあるため、個人情報を外部に漏らさないようにする「取り決め事項」を定めた。会議や打ち合わせ時には必ず冒頭で確認し、メンバーみんなで個人情報を守っている。

(4)第3層協議体の名称の決定

第3層協議体の名称を地域の人々が親しみやすいものにするため、名称案を募集し、アンケートを実施した。その結果「小田地区いきいき会議」に決定した。

(5)住民への活動の周知のための広報紙

「小田地区いきいき会議」の存在やその活動を住民に認知いただくため、第3層協議体の広報紙「小田地区いきいき通信」を発行し、区会全戸配布を行った。今後は、支えあい活動への住民の協力要請等も検討している。



(6) 防災部会の立ち上げ準備会(R4.3.17)

小田地区でいつまでも安心して生活し続けることができるよう、地域の防災分野の取り組みも支えあいの一つととらえ、「小田地区いきいき会議」の中で取り組んでいく方向性となり、第3回目の小田地区いきいき代表者会議で目的やメンバー、方向性について話し合いを行った。

(7) つくば市実証実験の協力

小田地区いきいき会議にて下記つくば市の実証実験に協力を行った。

- ・スマート介護予防プラットフォームの構築の実証実験
- ・カスミ移動販売車の利用に関する実証実験(地域包括支援課)
- ・AIオンデマンド乗合タクシーサービス実証実験病院送迎乗合タクシー(科学技術振興課スマートシティ戦略室)



今後の方向性

令和3年度は新型コロナウイルス感染症まん延の影響により、中止や延期となる会議が多々あった。今後、見守りについては、全体会議の中で見守りマップの更新や見守りを地域で実践に移していくための情報共有を重ねていく。また、防災部会は立ち上げ準備会まで実施しており、令和4年度、第1回目の防災部会により、メンバーで防災に関する勉強会から始めていく。

荃崎 圏域

荃崎版社会資源集(仮称)の作成

取り組みの背景

- ・荃崎には地域活動が多く活発であり、以前の2層協議体の会議で圏域内の地域活動を社会資源マップとしてまとめた事もあることから、改めて荃崎版の社会資源集として冊子にまとめていく取り組みを行うことになった。
- ・冊子にして活動を地域の方に情報提供することや圏域内で不足している社会資源を把握し、そこを補っていく活動に繋げることを目的とする。

内容・プロセス

- ・支えあい会議で、荃崎の社会資源となる地域活動(シルバークラブ、ふれあいサロン、体操クラブ、地域の支え合い活動等)を会議員で確認し、それらの活動団体に活動の内容を記載してもらったデータカードの様式を会議員で検討し作成した。
- ・区長・自治会長、また、各活動団体の代表宛てに、データカードの様式を送り記入を依頼。手書きの他、パソコンでもご記入頂けるように、希望の際はメールで様式を送付した。
- ・収集したデータカードを編集し冊子にした。

結果、効果等

- ・コロナ禍で3月の会議が開催できなかったため、今後作成した冊子を会議員と確認する予定。
- ・冊子は自治会や民生委員、ふれあい相談員等の地域関係者に配布する。また、HPに掲載し誰でも閲覧可能になるよう調整を行う。

荻崎 圏域

梅ヶ丘ごみ出し支援活動

取り組みの背景

- ・地域見守りネットワーク事業の会議の中で、梅ヶ丘団地のゴミ集積所は坂の上にあるため、坂下に住んでいる高齢者の中には、ゴミ集積所までゴミを出しに行くことが難しい方がいるという情報があつた。
- ・高齢者が多い地区のため、ゴミ出しが困難な方への助け合い活動への検討を始めることとなった。

内容・プロセス

- ・ゴミ出しの支援を希望している方がどの位いるのか把握するため、「ゴミ出し支援のアンケート」を地区内の全戸配布で実施。
- ・アンケートの結果、ゴミ出しの支援を希望する方が10名、今は希望しないが今後利用したいという方が13名いるという事が分かった。この結果を会議で共有し、地区内でゴミ出しの支援体制を作ることになった。
- ・その後、実際にゴミ出し支援を依頼したい方とボランティアを募集し、申し込みが上ってきている。

結果、効果等

- ・荻崎圏域内で地域の助け合い活動を展開している自治会に、仕組み等の紹介をしてもらう予定。
- ・コロナウイルス感染拡大により会議が延期となってしまっているが、立ち上げのために、引き続き支援をしていく。

梅ヶ丘ごみ出し支援 ボランティア募集 —あなたのか「ちょっと」お貸しください—	
<small>※梅ヶ丘地区の皆さまにご協力いただき、ごみ出し支援に関するアンケートにより、梅ヶ丘地区の皆さまからご応募いただいたボランティアが10名。また、今後利用したいという方が13名いるという事が分かった。この結果を会議で共有し、地区内でゴミ出しの支援体制を作ることになった。この結果を会議で共有し、地区内でゴミ出しの支援体制を作ることになった。</small>	
内容	梅ヶ丘地区にお住まいのごみ出しが困難な高齢者や障害をお持ちの方を対象に、ご自宅まで伺い、ゴミを集積所まで届けていただくボランティアです。
申込	下記の欄に、必要事項をご記入頂き、回答の封筒に入れて下さい。当日ご届出願します。
締切	令和3年11月25日(木) ※その後も随時募集
お名前:	性別:
ご住所:	年齢:
連絡先:	
支援希望日:	月 火 水 木 金
備考:	
<small>お問い合わせ先: 梅ヶ丘自治会・梅ヶ丘地区民生委員 梅ヶ丘地区ふれあい係員 梅ヶ丘地区ふれあいセンター(梅ヶ丘地区民生委員) 梅ヶ丘地区ふれあい係員</small>	

～梅ヶ丘ごみ出し支援～ 希望者申し込みについて	
<small>先日、梅ヶ丘地区にて行った、ごみ出し支援に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。 今般梅ヶ丘地区区内での住居間での助け合い活動として、ごみ出し支援を始める運びになりました。梅ヶ丘の皆さまにご協力いただき、ごみ出し支援体制を作ることになりました。梅ヶ丘地区民生委員・梅ヶ丘地区ふれあい係員よりご連絡させていただきます。ご協力いただける方は、ぜひご参加ください。</small>	
対象	梅ヶ丘地区にお住まいのごみ出しが困難な高齢者等
料金	1回につき50円
申込	下記の欄に、必要事項をご記入頂き、回答の封筒に入れて下さい。集積開始は決まり次第、改めてご連絡致します。
締切	令和3年11月25日(木) ※その後も随時募集
お名前:	性別:
ご住所:	年齢:
連絡先:	
家族構成:	
備考:	
<small>お問い合わせ先: 梅ヶ丘自治会・梅ヶ丘地区民生委員 梅ヶ丘地区ふれあい係員 梅ヶ丘地区ふれあいセンター(梅ヶ丘地区民生委員) 梅ヶ丘地区ふれあい係員</small>	

荻崎 圏域

あしび野ふれあい農園

取り組みの背景

- ・地域で見守り活動を担当しているふれあい相談員より、農園を通した見守り活動を始めたいと相談があった。
- ・農園を憩いの場として交流を行ったり、農園で採れた野菜を閉じこもりがちな高齢者宅に届けることで、見守り活動につなげたいとのこと。

内容・プロセス

- ・自治会長やふれあいサロン代表にも連携や協力を依頼。
- ・地区内の方がウォーキングコースとし、また多目的広場の前でもあるため割と人が通り、住民が集まりやすい所を活動場所とした。
- ・3月30日に準備会を行った。自治会や協力して頂ける住民が集まり、何の野菜を育てるかという事や今後の畑の土作り、種まき時期等の確認を行った。

結果、効果等

- ・子ども会の親や子ども達がいちごの苗を植えてくれる等、多世代交流にも繋がっている。
- ・野菜作り経験者多く、アドバイスを頂いたり、要らなくなった農具や肥料等を提供してくれた。また、ベンチや農具のしまう棚を作ってくれる方もいた。
- ・これから種まきや苗を植えたりしていくため、収穫は夏頃になる。まだ始まったばかりの取り組みのため、農園を通した憩いの場、見守りが充実するよう支援していきたい。





5 会議記録

大穂圏域074
豊里圏域078
谷田部西圏域080
谷田部東圏域083
桜圏域088
筑波圏域096
荃崎圏域106

—大穂圏域 会議記録—

◆支えあい会議

第1回大穂圏域地域支えあい会議

内容

1 報告事項

- (1) 前回の地域支えあい会議の振り返り
- (2) 令和3年度大穂圏域地域見守りネットワーク会議について報告
- (3) 生活支援体制整備事業について

2 協議事項

- (1) 地域包括支援センターとの連携について(案)
- (2) 大穂圏域協議体の会議運営のためのコアメンバーについて(案)

3 グループワーク・意見交換、アンケートのお願い

課題、会議で出た意見等

- ・会議のテーマを決めて話し合いを行った方がいい
- ・会議参加者の中で、区長や民生委員が出席していない地区もあるため、なるべく参加してもらえるようにしてほしい

検討内容、取り組み等

- ・コアメンバーの選出について意見を出してもらい、賛成が4割、反対が1割、どちらでもないが5割の回答であった。あった方が具体的な仕事ができやすいといった賛成意見がある一方、小学校区でも多数の区があり、他地区のことまでわかるものはないので、選出は困難といった意見があった。

特に多い意見は、コアメンバーについてまだ理解できていない、話し合いがもっと必要といったものであった。

今後の方向性

- ・コアメンバーについては、まだ案の状態であるため、今後各小学校区での会議等で、コアメンバーの是非について話し合いを設けていく。
- ・会議後にアンケートを取り、参加者の関心のあるテーマを把握することで、今後の会議の方針としていく。
- ・会議が午前・午後と2回に分かれて開催されており、それぞれ出席する小学校区が異なる。全小学校区が集まったの会議が行えていないため、今後会議の形態についてもどのような形がよいのか、引き続き検討していく。

第2回大穂圏域地域支えあい会議

内容

1 報告事項

- (1) 今年度会議の振り返り
 - ・地域見守りネットワーク会議
 - ・地域支えあい会議
 - ・ふれあい相談員懇談会

(2)コアメンバーに関するアンケート結果報告

(3)新たな地域資源の紹介

2 協議事項

各地域で行っている見守りやサロン、シルバークラブ活動について

3 意見交換、アンケートのお願い

課題、会議で出た意見等

- ・地域見守りについて、ふれあい相談員や事業について地域に周知されていないと感じる。
- ・区長や民生委員の参加がなく、出席してほしい。
- ・他地域での活動内容を聞くことで、今後の活動の参考になった

検討内容、取り組み等

- ・地域で行っている活動についてふれあい相談員、ふれあいサロン代表、単位シルバークラブ会長から話を聞き、参考になったとの意見も多数見受けられたため、今後も情報共有の場としていきたい。

今後の方向性

- ・今後の地域支えあい会議のテーマとして関心があるものとして、見守り・声掛け、健康づくり、サロン・集いの場、防災、ゴミ捨てが多かった。今後はこれらの内容を中心に話し合い進めていきたい。

◆地域見守りネットワーク会議

会議名・地区：要小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・生活支援体制整備事業について
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・会議参加者から要地区の課題と思われることについて聞き取り、情報共有

課題、会議で出た意見等

- ・まずは地域課題を把握することが必要である
- ・見守り支援など個人に対する支援はもっと狭い範囲での会議が必要
- ・団地には免許を返納した方も多くおり、買い物困難者が増加している
- ・区会未加入の方が増加しており、そのような方たちと交流がない。

今後の方向性

- ・これまでなんとかこなってきた地域であり、区会内での互助関係ができていた地域でもある。生活支援体制整備事業の必要性について理解してもらいながら、地域課題も把握していく

会議名・地区：前野小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・生活支援体制整備事業について
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・昨年度会議内容振り返り、情報共有
- ・ふれあい相談員から地域で行われている見守りについて情報共有

課題、会議で出た意見等

- ・コロナ禍により集まりができず、話し合いができない
- ・区会内の移動スーパーが来ていないところがあり、来てほしい
- ・区会未加入の方のゴミ捨て場がないという意見もある一方、ゴミ捨てのみの年会費をもらうことでゴミ捨てを可能としている区会もあった

今後の方向性

- ・高齢者の居場所づくりや見守り支援、ゴミ捨て支援の課題について意見が多く出されていた。今後はこれらの内容について、他地域で取り組まれている事例の紹介等を行いながら、重点的に話し合いを重ねていく。

会議名・地区：吉沼小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・生活支援体制整備事業について
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・昨年度会議内容振り返り、情報共有
- ・ふれあい相談員から地域で行われている見守りについて情報共有

課題、会議で出た意見等

- ・地域独自の防災組織を立ち上げたが、コロナ禍により集まりができている。災害時にはタオルを目印に避難支援が必要な高齢者かどうかを判断する等取り組みがなされている。
- ・課題把握の方法、アンケートを取る場合にどのようなやり方が適切か
- ・ふれあい相談員について地域への周知が不足していると感じる

今後の方向性

- ・防災組織の取り組みが始まっており、今後も会議等により情報共有を行いながら取り組みの把握を行っていく。
- ・アンケート取得について、他地区での参考になるようなアンケート取得方法の情報を得て、共有していくことで、課題把握につなげていく。

会議名・地区：大曾根小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・生活支援体制整備事業について

- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・昨年度会議内容振り返り、情報共有

課題、会議で出た意見等

- ・見守り登録の推進について、なかなか自分自身で見守ってほしいと言える方は少ない。近しい人なら案内しやすいが、今まで関わりのなかった方には難しい
- ・見守りを拒否されても、さりげなく見守りをしている等、やり方は様々だと思う
- ・区長、民生委員、ふれあい相談員、それぞれの役割を整理していかないと動きにくい
- ・高齢者のみならず、児童に対する見守り支援の必要である。居場所から始まる見守りを増やしていければと思う
- ・会議後、玉取地区の参加者を集め、区会内の見守り対象者や気になる方について情報共有の話し合いを行った。話し合いの中で、民生委員やふれあい相談員の役割や活動内容の認識を共有した。

今後の方向性

- ・地域の見守りについて、地域見守りネットワーク事業での見守り登録の推進や児童に対する見守り、区会未加入の方への関わり等、様々な課題があった。区長、民生委員、ふれあい相談員のみでなく、シルバークラブやふれあいサロン、地域独自の組織も見守りを行っていることから、複数で見守りを行っていきけるような仕組みづくりをしていく。

—豊里圏域 会議記録—

◆支えあい会議

豊里圏域地域支えあい会議(第1回～3回)

課題、会議で出た意見等

(上郷)

- ・空き家問題について、地域だけの問題ではない。1層の会議で課題にして、勉強会などあれば参加したい。
- ・医療機関の消滅について将来が不安である。

(沼崎)

- ・ゴミ出しや買い物支援は家族の問題と考えるが、今後は、社会全体で取り組むべき課題である。

(今鹿島)

- ・本来の家族関係が崩れている。⇒包括に相談。め
- ・かつて多く存在したシルバークラブを復活させたい。

検討内容、取り組み等

(上郷)

- ・自宅開放でサロンを開設している(大山)
- ・気軽に集まれる場所が欲しい(手子生)
- ・男性中心で祭事等を担当。居場所は少ない。(田倉)

(沼崎)

- ・お寺、集会場の清掃活動⇒サロンに繋げたい(百家)
- ・集まる場所がない。民生委員さんと探す(東光台)
- ・後期高齢者が増加。サロンのほかにグラウンドゴルフを中心とした高齢者グループあり(酒丸・豊里の杜)

(今鹿島)

- ・卓球を中心とした活動を区会として考案中(新田)
- ・草刈等の作業で地域はまとまっている。従前のようにサンマを焼いたり、草餅を作るなど事業を再開していく(椿本)

今後の方向性

- ・取り組みを確認しながらプラスできるものを会議と共に考えていく。
- ・サロンやシルバークラブの復活等立ち上がりそうな社会資源に傾注し支援していく。

◆地域見守りネットワーク会議

地区：上郷小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・空き家の顕在化。地域としてどうしていいか？
- ・運転免許返納による買い物難民の増加⇒交通手段、商店の減少等・コロナ禍ではあったが、塀越し、窓越しに訪問し安否等を確認。

検討内容、取り組み等

- ・シルバークラブのグラウンドゴルフで情報収集している。
- ・第1回目で課題となった空き家⇒住宅政策課の訪問につながった。
- ・上郷市街地活性化協議会と福祉的課題について共有。誰もが気軽に集まれる場所を創出していきたい。

地区：沼崎小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・カスミの移動販売でさりげない見守りをしている。
- ・かつて存在したサロンが消滅し地域交流が希薄化している。
- ・そば打ち等を機会にシルバークラブを復活させたい。・清掃活動を通じ茶話会を実施しているグループをサロン化へ

検討内容、取り組み等

- ・清掃活動を通じ茶話会を実施しているグループをサロン化へ
- ・ゴミ出しは親類縁者の多い地区は協力してやっている。
- ・緊急通報システムの導入を支援した。
- ・集会所がなく、集まる場所を探している。

地区：今鹿島小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・地域のお祭りが地域のコミュニケーションツールであったが、コロナ禍や少子高齢化で実施できていない。
- ・シルバークラブでラジオ体操を始めた。(子育て世代との交流目的)

検討内容、取り組み等

- ・敷地内別居の問題。独居でもなく、訪問も難しい部分もある。
- ・ゴミ屋敷、緊急搬送されたがその後がわからない。

今後の方向性

上記の課題、見守り活動に特化したを地域で考えられるような会議の創出を地域の皆さんと実施していく。

—谷田部西圏域 会議記録—

◆支えあい会議

第1回谷田部西圏域地域支えあい会議

内容

- 1 振り返り: 事業の概要
- 2 生活支援コーディネーター活動報告
 - ・地域見守りネットワーク会議報告
 - ・小地域活動の報告
- 3 今後の方向性
 - ・今年度の第2層協議体の進め方
 - ・その他



課題、会議で出た意見等

- ・サロンを立ち上げたい地域があるが、場所がない(活動場所の問題)
- ・サロンやカフェの活動が増えているので、立ち上げ方法を報告してほしい(情報共有)
- ・活動に関して区長にも参加してほしい
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の直接の声を聞くことが重要(ニーズ調査)
- ・いろいろな立場の人が集まり、取り組んでいる事例も多面的に発表されたこの会議を継続していくことがいい。我々住民が主体となって取り組むことが最も重要なこと(アンケートより)
- ・移動スーパーを利用する高齢者が増加している高齢者の買い物の問題や足の問題についてこの会議で協議していくことを提案。(買い物・移動手段の問題)

検討内容、取り組み等

上記の課題について、会議の中で検討する時間はなかったため、1層に動きを伝えつつ、次回以降に引き継いでいきたい。

今後の方向性

- ・今回、コーディネーターが関わった活動について報告し、その後活動している方からの報告をしていただき、参加者から「とても参考になった」との意見が多かった。その結果を受け、テーマを決めて活動者の発表や交流会する時間を取りたい。
- ・たくさんの課題が出てきたが、今回は話し合いをする時間がなかったので課題解決に向けての会議を設定したい。

- ・会議後にアンケートを実施し、会議の感想と参加者の関心のあるテーマについての把握を行った。次回のテーマはこのアンケートの結果をもとに考えていく。
- ・会議の方向性についても、参加者とよく話しを引き続き検討していく。

◆地域見守りネットワーク会議

会議名・地区：真瀬小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・真瀬見守る会全地区対象に、取り組みを進めてきたが今は各区会ごとの活動になっている
- ・地域に何が必要なのかを探ることが難しい。
- ・見守りを推進しているが、相談員だけの活動は広がらない。区長や班長にも声をかけていくことが必要ではないか。
- ・小地域で見守り活動の一環として「食事サービス」がしたい。

検討内容、取り組み等

- ・地域ごとの課題の整理と、取り組み内容の検討
- ・区会の集まりの場に参加し、地域ニーズを把握

今後の方向性

- ・コロナ禍の状況を見ながら地域住民の話しあいの場に参加し情報共有をする。
- ・地域に合わせた生活支援サービスや見守りの形の提案をしていく。

会議名・地区：島名小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・どの地域でどのような活動をしているかを知りたい
- ・見守り活動もご近所の関係性ができているため、改めて見守りの仕組みは必要ない。(ふれあい相談員の設置)
- ・サロンが必要だと思いが、運営してくれる人がいない。(担い手の育成)
- ・生活支援サービス構築に向けた話しあいが必要
- ・移動スーパー場所での見守り活動や集いの場が必要

検討内容、取り組み等

- ・地域ごとの課題の整理と、取り組み内容の検討
- ・区会の集まりの場に参加し、地域ニーズを把握
- ・移動スーパー場所の集いの場の立ち上げ

今後の方向性

- ・コロナ禍の状況を見ながら地域住民の話しあいの場に参加し情報共有をする。

・地域に合わせた生活支援サービス(移動スーパーでの居場所)の立ち上げ

会議名・地区：谷田部小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

- ・他地区での活動の様子を(立ち上げプロセス)共有したい
- ・地域見守り事業の推進(事業の周知)
- ・ふれあい相談員の設置(区長に相談)
- ・谷田部小区(商店街付近)の高齢者のシルバークラブやサロンの集まり場所がないので、広域でのサロンが必要
- ・わわわやたべや(伊賀七庵)の活用



(わわわやたべやを会場としたカーレット大会)

検討内容、取り組み等

- ・地域ごとの課題の整理と、取り組み内容の検討
- ・区会の集まりの場に参加し、地域ニーズを把握(相談員設置)
- ・サロン(広域)の提案・担い手育成

今後の方向性

- ・コロナ禍の状況を見ながら地域住民の話しあいの場に参加し情報共有をする。
- ・地域に合わせたサロン立ち上げや見守りの形の提案をしていく。
- ・地域にあった見守りの活動の提案

—谷田部東圏域 会議記録—

◆支えあい会議

第1回谷田部東圏域地域支えあい会議

内容

- 1 振り返り:事業の概要
- 2 テーマ別情報交換会
「地域をつなぐ! サロン・通いの場」
 - ①谷田部東圏域の“通いの場、サロン”について
 - ②地域で実際に行われている実践事例の報告、意見交換
事例提供:サロン松美会(松代地区)
 - ③通いの場、サロン運営を支える仕組みや制度について
- 3 生活支援コーディネーター活動報告

課題、会議で出た意見等

- ・サロンを推進したくても、参加者が高齢化しサロンまでの移動手段がなく来れない高齢者が出てきている。(足の問題)
- ・また高齢化により、参加者の減少が課題になっている。
- ・男性参加者が少ない。
- ・サロンの運営メンバーを引き継いでくれる人がいない(後継者の問題)
- ・地域によっては集まる場所がない。(場所の問題)
- ・コロナでサロンを休止している間の参加者の体力の低下の問題。



検討内容、取り組み等

上記の課題について、会議の中で検討する時間はなかったため、1層に動きを伝えつつ、次回以降に引き継いでいきたい。

今後の方向性

- ・サロンというテーマひとつでもいくつかの課題が挙がってきたので、これを具体的に解決できる手段を考える場を再度設定したい。
- ・会議後にアンケートを実施し、会議の感想と参加者の関心のあるテーマについての把握を行った。次回のテーマはこのアンケートの結果をもとに考えていく。
- ・会議の形態についてもどのような形がよいのか、引き続き検討していく。
参加者が「参加したい」「参加して良かった」と思ってもらえるような会議にしていきたい。

※一部の日程が変更になる場合があります。参加者には必ずメールまたはお電話でお知らせいたします。

令和3年度第1回 谷田部東圏域 支えあい会議

～みんなの笑顔が広がるまち 歴史と共に輝く未来～

情報交換テーマ
「地域をつなぐ! サロン・通いの場」

地域のつながりづくりにより子どもも高齢者も暮らしやすい「サロン・通いの場」
実際に地域で取り進めている事例も発表しながら、皆さんに疑問を解消してほしいと期待します!

日時:令和3年10月19日(火)
午前の部 10:00～11:30 (松代地区、小幡地区、小幡地区、小幡地区)
午後の部 13:30～15:00 (谷田部東圏域、谷田部東圏域、谷田部東圏域)

場所:市民ホールやたべ 2階大会議室]

内容:(1)情報交換「地域をつなぐ! 「通いの場、サロン」」
(1)谷田部東圏域の「通いの場、サロン」について
2)地域で実際に進められている実践事例の報告、意見交換
事例提供:松美会、谷田部東圏域生活支援コーディネーター活動報告

参加申し込み・問い合わせ先

※参加費ご希望される方は、お申し込み時にご連絡ください。
中心部社会福祉協議会 谷田部東圏域 生活支援コーディネーター 松美会
電話:027-376-4552 Mail:tkn@tsukuba-cwcc.jp

◆地域見守りネットワーク会議

会議名・地区：葛城小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・各地域の現状について情報共有
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況と方向性について
- ・「サロン・集いの場」についての情報共有

課題、会議で出た意見等

【地域の状況について】

- ・昔からあるコミュニティなので、ネットワークはあるが、たまに新しい世帯の転入があり、それが高齢者世帯だと既存のネットワークの中では取りこぼされてしまう高齢者が出てきている。(苅間、辻・原地区)
- ・集まりたくても集まる場所がない。(学園南地区)

【地域見守りネットワーク事業の取り組みと方向性について】

- ・家族と同居している世帯が多くそれぞれにコミュニティがあるので、あえて相談員を設置する必要は現時点ではないと感じている。(西大橋)

【「サロン・集いの場」について】

- ・地区内にサロンができ、少しずつ定着しているが、ここから人数を増やすのが大変だと考えている。
- ・コロナで休みの期間ができてしまったことで、来れなくなってしまった参加者もいる。自宅で転倒し骨折する人が多くなってきている。

今後の方向性

- ・同じ葛城小学校区内でも、既存の地域と新しくできた地域がある為、それぞれの地域性に合わせた見守りの仕組みづくりを進めていく。
- ・小学校区内の各地区に「サロン・集いの場」が存在しているので、「集いの場」をきっかけとした地域づくりを進めていく。

会議名・地区：春日学園義務教育学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・各地域の現状について情報共有
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況と方向性について
- ・「サロン・集いの場」についての情報共有

課題、会議で出た意見等

【地域の状況について】

- ・昔からある集落は地域のつながりがあり、誰がどこに住んでいて、誰が見守っているというのもある程度は把握ができる。ふれあいサロンなどの新しい取り組みは難しいので不動講など地域の集まりの時に住民の様子を把握するようにしている。
- ・新しい地区は若い世帯が多く、高齢独居世帯は少ない。関わろうとしても拒否されるケースもあり、関わり方が難しい。区会に入っても抜けてしまう人が増えている。

【地域見守りネットワーク事業の取り組み状況と方向性について】

- ・ふれあい相談員を設置したくてもなり手がいない。まずは区長や民生委員になってもらう方法もあるのでは。
- ・地域の集まりの中でお互いに見守り合う関係をつくり、そこからやってくれそうな方に相談員を任せていく体制を取るのが良いのでは。

【「サロン・集いの場」についての情報共有】

- ・研究学園地区では10を超える活動団体が研究学園を拠点に地域活動を行っている。個々に行われてきた活動が少しずつつながってきていると感じている。研究学園地区では、活動する場所がないのが一番の問題。
- ・春日4丁目、東平塚地区では、6月から空き店舗を使って、サロンが開始された。今後も月1回のペースで継続予定。もし皆さんが担当している地域でも可能であれば、周知・参加の呼びかけをしてほしい。

今後の方向性

- ・春日学園義務教育学校区ではふれあい相談員が未設置の状態であるが、「相談員を設置し、相談員を中心に見守りを進める」という今までの形より、「地域全体に見守りの意識が浸透してから、役割を設置する」という形がこの地域に合う見守りの形なのではないかと感じた。地域ごとにどのように見守りの意識を浸透させていくかを考えて取り組んでいく。
- ・地域の中で行われているサロンや集まりの場の取り組みが広がって行くよう支援していく。研究学園地区では、活動団体の交流会を民生委員と話をして実施に向けて動いていく。(→研究学園活動団体交流会の取り組み)

会議名・地区：松代小学校区・手代木南小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・各地域の現状について情報共有
- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況と方向性について
- ・谷田部東地域包括支援センターの取り組みについて

課題、会議で出た意見等

【地域の状況について】

- ・地域によっては、シルバークラブやサロンもあり、地域の中で見守る雰囲気ができている地域もある。新しく転入してきた人が多い地域では、他の人には頼らず、自分で頑張ろうとする高齢者も多い。現在は元気でも、高齢になって体力がなくなったり、独居になった時が課題。
- ・松代地区は、子どもに呼び寄せられて県外から移り住んできた高齢者が多い。

【地域見守りネットワーク事業の取り組み状況と方向性について】

- ・地域の中で見守る雰囲気できており、普段の生活の中で心配な方を見守ってくれている人はいる。そういう方に相談員になってもらった方が良いのか？ただ役割をつけることで負担になってしまわないかが心配。
- ・個人情報を取り扱う役割を地域の人が担うのは大変ではないか。地域を構成する人自身が見守りをどう考えるかを議論する時期に来ている。
- ・昔からある集落では親戚同士のつながりもあり関係性が深いため、あえて見守りのために深く立ち入る必要もないと思っている

今後の方向性

- ・同じ松代という地域でも、丁が違うだけで住民の状況や地域性が大きく違っている。また現在の見守りの仕組み(＝登録制)を取り入れた方が見守りが進む地域もあれば、そうでない地域もある。地域性を考慮したうえで、見守りの推進をしていく必要がある。

会議名・地区：小野川小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・各地域の現状について情報共有
- ・見守りの推進について…「小地域見守りチーム構想」の提案

課題、会議で出た意見等

【地域の状況について】

- ・新しい住民が増えてきている地域がある。古くからある地域の中で、そうした新しい住民が孤立しているケースがある。
- ・ゴミ捨てボランティアをしたいと話をしてくれている住民がいる(高野台)

【見守りの推進について】

- ・見守りが地域の中に浸透していない地域もある。家族と同居している世帯が多い地域では見守りの必要性を感じていないことも多い。ふれあい相談員やこの事業について知ってもらうきっかけが必要。
- ・区会への周知に力を入れている。散歩している人たちの情報、防犯や隣近所同士のつながりから得られる情報などを元に、見守り活動を行っている。
- ・地域の中でグラウンドゴルフチームや、カフェ、サロンをやっており、そこに関わる人たちの中で見守りチームに近い形が取れていると思う。
- ・さりげない見守りをしてくれる人を増やす人が大切ではないかと感じている。「さりげない見守り隊員証」みたいなものを発行してはどうか？

今後の方向性

- ・各地域の状況が異なるため、その地域に合わせた見守りの形を推進することが必要だと考える。地域ごとに合わせた推進プランを考え、実行していく。
- ・「小地域見守りチーム構想」や区会への事業説明は区会の取り組み状況や、コロナの状況も見ながら、働きかけを行っていく。

—桜圏域 会議記録—

◆支えあい会議

第1回桜圏域地域支えあい会議

内容

- 1 生活支援体制整備事業について(第2層協議体の目的と役割)
 - (1)生活支援体制整備事業の概要説明
 - (2)生活支援コーディネーターの役割について説明
 - (3)地域見守りネットワーク会議の報告
- 2 今後の地域支えあい会議について
 - (1)8月に行ったアンケート集計結果の報告
 - (2)コーディネーターとして会議員に考えてもらいたいことを説明
 - (3)今後の会議の進め方についてアンケートで回答してもらう
 - (4)次回の会議の予定を説明

課題、会議で出た意見等

桜圏域内で会議員が参加しやすく、大人数参加できる会場がない。今回は、人数が一番多く入ることができる研究交流センターの国際会議場を使わせていただいた。グループワークを行うことは難しい会場であったため、アンケート調査を行うことにした。

検討内容、取り組み等

アンケートの回答を見ると、話し合いがしやすい会議は小学校区や小地域等の小さい会議で行うことが好ましいとの回答が多かった。

8月に郵送したアンケートの回答では、地域支えあい会議に参加できると回答していただいた方も多く、第2層の会議員を絞ることは現段階では難しい。

今後の方向性

次回の地域支えあい会議でアンケート集計結果をもとに意見交換をして今後の会議の進め方を決めていく。



第2回桜圏域地域支えあい会議(午前・午後の2部制で開催)

内容

- 1 地域支えあい会議の目的
- 2 生活支援コーディネーター活動報告
- 3 第1回会議で行ったアンケート集計結果の報告
- 4 今後の地域支えあい会議の進め方について意見交換
- 5 次回の地域支えあい会議の予定

課題、会議で出た意見等

今回は、午前・午後4小学校ずつに分けて開催した。

第1回会議のアンケート集計結果をもとに意見交換を行った。結果としては、午前の部と午後の部とで大きな相違はなく、地域支えあい会議は情報共有の場とし、第3層の会議を重点的に開催していくことになった。

検討内容、取り組み等

アンケートの回答の中で、大きく分けて5つの意見があがっていた。

- ①高齢者だけでなく児童や障害者についても考えていく
- ②地域の状況を再度把握する
- ③交流センターの活用について考える
- ④実際に助けあい活動等をしている所の事例を聞く
- ⑤現在ある社会資源等についてリスト化する

この5つの意見について、今後は第3層で話し合っていく。

今後の方向性

地域支えあい会議(第2層)と小地域の話し合い(第3層)の進め方を決めることができたので、令和4年度は具体的な地域の課題等について話し合える場を設けていく。



午前の部



午後の部

◆地域見守りネットワーク会議

会議名・地区：桜南小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ①「区会に未加入の高齢者の発掘や見守り支援の方法」

- ・アパートマンションに住んでいる方はほとんど区会に加入していない。
- ・桜ニュータウンはほぼ100%区会に加入している。自主防災組織や助け合い活動なども行っているため、団地内の高齢化率等の状況も把握している。

■話し合いテーマ②「高齢者の居場所づくりについて」

桜南小学校区は桜圏域で唯一、ふれあいサロンとシルバークラブがすべての地区にある小学校区となっている。高齢者の居場所になりそうな場所が他にもあるか聞いてみたところ、空き家や空き店舗はなく、新しい居場所を作れそうな場所はないのではという意見であった。

検討内容、取り組み等

- ・区会の加入率を調べてみる。
- ・今後は現在あるふれあいサロンやシルバークラブへの参加を促進していく方法を検討する。

今後の方向性

地域によって状況は違うが、桜ニュータウンの取り組みは参考にしていきたい。今後も情報共有していく。



会議名・地区：栗原小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ①「高齢者の居場所づくりと見守り支援体制について」

- ・ふれあいサロンが2カ所、シルバークラブはない小学校区。
- ・台坪コミュニティセンターでは体操や児童の学習支援を行っている、下坪の公民館は児童館になっていて利用しにくい。
- ・桜1丁目～3丁目の辺りは、閉じこもりがちの高齢者が多く、特に今はコロナ禍なので、直接会って話すことも難しい状況。
- ・栗原の周辺は同居している高齢者が多く、独居の方はほとんどいない。

■話し合いテーマ②「災害に備えて」

- ・災害時における避難困難者の支援について、誰が支援するかなど把握している会議員がほとんどであった。
- ・避難所は桜老人福祉センターと桜中になっているが、避難所に行く手段がない人や、車で行くと渋滞している可能性もあるため、避難せず家にいるのがいいと考えている住民も多いとの意見があった。

検討内容、取り組み等

大学生も多い地域なので、若い人と高齢者の関りが持てることが本当の支援になっていくのではないかとの意見があった。

今後の方向性

引き続き情報共有をしていく。学生との関りについて今後議題として話し合っていく。



会議名・地区：並木小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ「高齢者の見守りや居場所づくりについて」

- ・並木小学校区にはふれあいサロンが3団体、シルバークラブも3団体の登録があり、社協が支援している高齢者の居場所としては6か所挙げられる。
- ・コロナ禍で学校訪問がしにくくなっている、要保護児童が増えている、グレーゾーンの子どもは把握できない等の話があった。

検討内容、取り組み等

高齢者も子どもも、家族と同居していても家族以外の支援が必要な人がいることを理解し、子ども食堂やサロンなど、辛い時や困った時に避難できる場所があるといいのではとの意見があった。

今後の方向性

高齢者だけでなく、地域には支援の必要な子どもがいることもふまえながら、今後も情報共有していく。



会議名・地区：九重小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ「高齢者の居場所づくりと見守り支援体制について」

- ・ふれあいサロンが1カ所、シルバークラブも1カ所ある小学校区。
- ・カスミの移動販売には、認知症の方も来ている。何を買えばいいかわからない、支払いが難しい人もいる。移動スーパーが始まった頃からボランティアで支援している。

- ・移動スーパーの今後の継続性はどうか。また、今後の展望はどうなっているのかを知りたい。
- ・高齢者の見守りは、新しく引っ越してきた人など、信頼関係のない人をお願いするのは難しい。
- ・高齢者だけでなく、子どもたちにも目を向けないといけないと思う。どこに住んでいるかも分からなくなったし、マスクをしているから顔も分からない。コミュニケーションが取れない子どもも増えたように感じる。

検討内容、取り組み等

九重小学校区は、新しく引っ越してきた方も増えてきており、昔から住んでいる方と引っ越してきた方との連携がうまく取れない部分があるという課題が出てきている。

今後の方向性

子どもの支援についても考えていかないといけないという意見もあったため、次回は、引っ越してきた若い世代との連携や子どもたちの支援についても意見をもらい、話し合っていくこととする。



会議名・地区：吾妻小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

話し合いテーマ「高齢者の見守りや居場所づくりについて」

- ・ふれあいサロンが4か所、シルバークラブはない小学校区。
- ・吾妻3丁目はマンションが増え、住民同士の挨拶もほとんどなく、地域の状況把握が難しい。また、相談されることもほとんどないのが現状。
- ・区会に入っていない人が多い。マンション住まいの人はゴミ出し問題もないので、区会加入のメリットを感じないのでは。

検討内容、取り組み等

「青山がらり」というキュートにある飲食店の社長から、ランチの時間の後の比較的お客様が少ない時間を使って、サロン等の集りに利用していただきたいとの相談があった。どんな利用方法が考えられるか？

- ・利用しやすい場所だと思う。
- ・飲食店なので、タダで借りることは難しいと思うが、ワンコインくらいで利用できるとありがたい。

今後の方向性

マンションに住んでいる方との関わり方について話し合い、青山がらりの打ち合わせ結果の報告をする。



会議名・地区：竹園西小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ「高齢者の見守りや居場所づくりについて」

- ・ふれあいサロン1カ所、シルバークラブ1カ所の小学校区。
- ・アパートに住んでいる方の把握が難しい。
- ・千現2丁目では住民にアンケート調査をした。困っていないという意見が多かった。
- ・千現1丁目は新築も増えてきているが、空き家も増えてきている。戸建ての区会加入率はほぼ100%。アパートも含めると約800世帯あるが、加入しているのは200世帯。
- ・竹園1丁目はマンションも増え、60代70代の人もある。区会はない。
- ・子どもは増えてきているが、地域に集会所がない。
- ・千現1丁目の区会で助け合いのチームをつくりたいと思っている。できれば、既にやっているところの事例を聞きたい。

検討内容、取り組み等

助け合い活動について、ふれあい相談員がすでに個人的に支援を行っている。ニーズはあるので、千現1丁目内助け合い活動の仕組みを作っていくことが可能か、区長や民生委員等と話し合っていく必要がある。

今後の方向性

地域で助け合い活動をしているところの事例発表を行う。竹園西小学校区と竹園東小学校区合同で開催予定。

その後、竹園東小学校区内の助け合い活動について検討していく。



会議名・地区：竹園東小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ「高齢者の見守りや居場所づくりについて」

- ・ふれあいサロン1カ所、シルバークラブはない小学校区。
- ・コロナウイルスの緊急事態宣言中もふれあいサロンは外で開催するなど、工夫しながら行っていた。ラジオ体操も中止にせず行っていたので、見守りはできていた。
- ・花園は新しい人が増え、65歳以上の方は少ない。区長も毎年変わり、集会所もない。

検討内容、取り組み等

- ・竹園交流センター周辺住民で気になる方がいるとの報告があった。ふれあい相談員としてさりげなく見守っているとのこと。
- ・竹園交流センターの利用方法について検討していきたい。

今後の方向性

地域で助け合い活動を行っているところの事例を聞き、竹園西小学校区で助け合い活動ができるかを検討していく。



会議名・地区：栄小学校区地域見守りネットワーク会議

課題、会議で出た意見等

■話し合いテーマ①「高齢者の居場所づくりと見守り支援体制について」

- ・ふれあいサロン1カ所、シルバークラブ1カ所の小学校区。
- ・サロンD G&B(ふれあいサロン)はコロナウイルスのため開催できなかった。しかし、サロンの代表者が広報紙を作り、月1回配付してくれていた。
- ・緊急事態宣言中は、一人暮らし高齢者の方には電話で状況を確認していた。今は詐欺の心配もあり、電話に出てくれない人も増えてきている。
- ・公民館清掃も区会の集まりもなく、コミュニティが崩れているように感じる。
- ・中根には150世帯以上住んでいるが、そのうち3分の1は新しく来た方。
- ・中根ふれあい公園に移動スーパーが来ているが、買い物を楽しんでいる様子が見られる。若い人も多い。
- ・移動スーパーが来てくれて、便利になったと感じるが、買い物支援が必要な人もいると思う。

・妻が個人的に近所の方の買い物支援をしている。移動スーパーが来ていても、そこに行ける人も限られてしまう。

■話し合いテーマ②「災害に備えて」

- ・上境は指定避難所が遠く、近くの集会所に避難することになっている。
- ・栄小学校区で年2回水害についての話し合いがされているが、もっと詳細な情報がほしいと感じている。
- ・古来もハザードマップで色がついてきた。浸水とまではいかないが、日頃から備えておかないといけないと思い、独居高齢者や障害者の家を回った。非常時に支援があるかを確認し、自分の電話番号も教えた。

検討内容、取り組み等

栄の商店街について提案(民生委員より)

高齢化が進み、買物難民も増えてきている。また、商店街を残していきたいとの想いもあり、商店の店主を集めて持っている商品をリスト化し、買い物に困っている人へ配付してはどうかと考えた。

商店の方に相談したところ、自分たちの代で閉店してしまう可能性が高い、後継者がいないので難しいという話だったので、それ以上進めることができていない。

今後の方向性

栗原小学校区と合同で水害についての勉強会を行う。桜川を管轄している霞ヶ浦の河川事務所に協力をお願いをしている。

栄の商店街の活用についても、栄市街地活性化協議会にも協力をお願いし、再度話をしていく予定。



—筑波圏域 会議記録—

◆支えあい会議

第一回筑波圏域地域支えあい会議

1 第1回筑波圏域地域支えあい会議(R3.7.29)参加者:57名

(1)検討内容、取り組み等

①振り返り:事業の概要

②第2層及び第3層協議体の在り方について

グループごとに(旧小学校区)で、第2層及び第3層の在り方とメンバーの役割について話し合った。また、第3層(旧小学校区)の取り組みと方向性についても検討を行った。

(2)課題、会議で出た意見等

◆旧北条小学校区

ニーズの把握がまず必要ではないか。北条ふれあい館や iriaiTEMPO 等、北条には集まれる場所があるが、その他にも空き家を利用するなど、身近な場所に集える場所があるかと思った。

◆旧山口小学校区

以前、区会ごとに5年後 10 年後の高齢化率予測の数値を出していただき、その数値には驚いた。また見守りマップづくりを進めており、実態を共有した。高齢化率や見守りマップは、やるべきことが見えてくる。

◆旧小田小学校区

第3層協議体の立上、8月に第2回目の会議を行う予定である。内容としては、一つは見守り活動、昔存在した互助体制を、現在のやり方で進めていきたい。個人情報の問題もあるが、第3層はいい意味での、助け合い・支えあいである。それを地域内で認識することが重要であり、広めることも課題の一つ。

もう一つは地域防災、区会ごとの組織づくり、区会全体で、旧小学校区での協力しあえる体制づくりをこれから行っていく予定である。住民一人一人意識も高めていく必要があることが課題である。

◆旧田井小学校区

まず、コロナの影響により、地域内で歩いている人が少なく、高齢者は引きこもりがちになっている。住民などがこの会議の必要性を感じるまで、見守っていくことも必要である。

◆旧筑波小学校区

資料に住民の方の意識を変えていくという言葉があったが、ある程度期間をかけてやっていく必要がある。防災の話がでたが、筑波地域も土砂災害警戒区域ということで、地域防災を行っている。防災計画の中でお年寄りや介護を受けている方の避難などがある中で、旧筑波小での会議を開いて、買い物や交通の問題等も含めて話し合っていきたい。

◆旧田水山小学校区

地域住民の意識が変わらないといけない。この地域をどういう地域にすべきかをしっかり考えていくことが大切。身近な問題としては、防災、組織化する必要があるが、機能する組織を作っていけないといけない。個人情報の問題もあり、家の中の

問題に入っていくことが難しい状況がある。そういったときにイベント(サロンや居場所)を通して、普段からの関係づくりが必要である。

◆旧作岡小学校区

第3層にどのように取り組むか、5つ課題を考えた。1つ目、「行事に参加が困難な方(ごみ当番、草刈り等)へどう対応するか」。2つ目として、「安食の通学路の狭さの問題」。3つ目として、「通院手段(交通の問題)に困っている方への解決策」。4つ目として、「一人暮らし高齢者宅等、ゴミ屋敷とならないようにするための対応策」。5つ目として、「買い物難民」について、カスミの移動スーパーは来ているが、それでも困っている方がいる。地域にあった解決策を話し合っていきたい。

◆旧菅間小学校区

一人暮らしの高齢者はいるが、家族や親族が関わっているので、民生委員やふれあい相談員の関わりは難しい。中菅間でふれあい相談員の設置を試みたが難しかった。高齢者宅を一人のふれあい相談員が訪問するのは怖いといった不安が伺えた。ふれあい相談員がどのようなことをやるのか地域住民が理解していないと、説得できないと思った。

(3) 今後の方向性

次回の第2層協議体会議より、各小学校区の代表者(計39名)による会議としていく。内容は、テーマを一つ決め、事例発表や情報共有を図っていく。またこの会議において出た意見や方向性は各旧小学校区の会議(第3層)で共有し、住民主体の活動として取り組んでいける部分を話し合いで深めていく。

◆地域見守りネットワーク会議

地区:旧北条小学校区

1 旧北条小学校区地域見守りネットワーク会議(R3.7.15)

(1) 検討内容、取り組み等

- ①振り返り:生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み
- ②検討事項:第2層協議体の代表者の決定

第2層協議体の代表者8名と第2層協議体の代表者をサポートするサブメンバー3名を話し合いにて決定した。

(2) 課題、会議で出た意見等

- ・千葉県柏市の事例で、ボランティア活動の事例紹介の冊子を10年かけて作ったと伺った。ボランティアを集めて、作ったらどうか。
- ・支線型バスについては、手を挙げて乗れるようにしたら乗車率があがると思う。
- ・高齢者のゴミの問題(集積所まで持っていくことができない)については、道路におけるようになればよい。

(3) 今後の方向性

旧北条小学校区の第2層協議体の代表者については、これまで、打合せを重ね、北条街づくり振興会を推薦しようと試みたが、叶わなかった経緯がある。しかしながら、代表者を8名決定することができ、また、代表者をサポートするサブメンバーを3名決めることができた。今後旧北条小学校区(第3層)の会議において、取り組み内容等を決めるための打合せを11名で行っていく。また、北条街づくり振興会については、第3層で協力体制がとれるように時間をかけ、働きかけを行っていく。

2 旧北条小学校区第2層協議体代表者会議(R3.12.21)

(1) 検討内容、取り組み等

① 振り返り: 生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

② 検討事項: 旧北条小学校区の取り組みの方向性

(2) 課題、会議で出た意見等

・実際にどうしていくべきかを考えた方がよい。行政が主体となって取り組んでほしい。

→生活支援体制整備事業は、住民を主体とした支えあいや助け合い活動を促進していくための事業である。住民同士で可能な支えあいを話し合いにより深めていく(社協)。

・地域の高齢者が集まれる場所をマッピングするのはどうか。

・マップをゆくゆくは見守りや防災活動に役立てることもできるのではないか。

・泉は集いの場があり、集会所で行っている。顔の見える関係づくりもできている。

・高齢者台帳の情報を社協が行政からもらって、それをマッピングした方が早い。

→台帳は高度な個人情報を含むため、社協への提供はない。台帳をマップ化したとしても、皆さんに情報を共有することができない。だから、ご近所情報という形で、住民主体の活動として、皆さんが知っている情報をもとに地域の安心のための見守りマップを作成している小学校区もある(社協)。

・北条商店街にいくつか拠点を作って、そこでサロンをやったらいいのではないか。空き家対策室に空き家の拠点を教えてもらえないのか。

・ゴミ出しについては、助け合いをすでにやっているところもある。

・隣の集落のゴミ捨て場に捨てさせてもらえるように話し合いで解決する、それが住民同士でできる助け合いである。

(3) 今後の方向性

見守りマップづくりをしてみようという形でまとまった。次回、マップづくりを地域見守りネットワーク会議で行う。また、空き家対策室に地域の空き家の把握状況や、その場所を教えてもらえるのか確認していく。

会議名・地区：旧作岡小学校区

1 旧作岡小学校区地域見守りネットワーク会議(R3.6.22)

(1) 検討内容、取り組み等

①振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

②検討事項：旧作岡小学校区の取り組みの方向性

始めに新任のふれあい相談員もいるため、自己紹介から行った。また、社会資源の資料や「生活の困りごとに関するアンケート(案)」に基づき、5つの地域(テーブル)ごとに集まり話し合いを行った。

(2) 課題、会議で出た意見等

・何かの際に話をしたり、あいさつをするなど、現在孤立者はいない。介護保険の利用者もいるが、ケアマネジャーが関わっている。生活支援のアンケートはやってみたい。

・アンケートに名前を記述することに抵抗のある人がいる。もし個々人を特定するのであればアンケートを取る人が覚えておけばよい。アルファベットや記号を用いてなど。

・急で困っているという方は基本いない。アンケートについては無記名の方がよい。同居以外の家族がどこにいるのか(近くか遠くか)がわかるような質問項目があった方がよい。

・アンケートは回覧で回すとか、社協や市役所が取った方が効率がよいのではないか。自分の区会は区長と月に1回集まって高齢化や一人暮らし増加の課題について話を行っている。

・一人暮らしが多いものの、元気な方がほとんどである。今月ある家庭で困りごとがあり、区長と関係者で動き、施設等に入所できるよう働きかけを行った。今後も区会としてそういう家庭が気軽に相談できるような体制を整えていきたい。

・アンケートを行うのであれば、封筒とかも必要である。

・アンケートよりも困った場合は区長や民生委員、ふれあい相談員に相談など、連絡先を記載して回覧を回した方がよい。

・アンケートは自分たちでやるべきだ。自分たちが将来困ることにも関わる。

(3) 今後の方向性

旧作岡小学校については、一人暮らし高齢者や高齢者世帯等のマッピング(見守りマップ)がすでに進んでおり、そのマッピングした方を対象として行うアンケートの実施について主に協議していただいた。「行政や社協が行うべき」といった意見や「そういうことではない」といった意見もあり、意見が分かれている。会議終盤に社協より、第2層協議体の代表者が6名決定しており、その6名と代表区長を含めた計7名で、旧作岡小学校区の方向性について打合せを重ねていく。

2 旧作岡小学校区第2層協議体代表者打合せ(R3.12.16)

(1) 検討内容、取り組み等

- ① 振り返り:生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み
- ② 検討事項:旧作岡小学校区の取り組みの方向性

7月29日に開催した第2層協議体会議にて、旧作岡小学校区における課題を5つあげていただいた。それに基づき、取り組みの方向性を検討した。

(2) 課題、会議で出た意見等

旧作岡小学校区の課題の1つ目「行事に参加が困難な方(ごみ当番、草刈り等)へどう対応するか」について、主に話し合いを行った。

① 草刈り

◆現状把握

- ・寺具では、区会規約に「高齢者は免除」と明文化している。出不足金制度あり(2千円～3千円)
- ・安食も同様に「80歳代は免除」と明文化、出不足金はない。

◆対策

- ・区費により、草刈りを業者をお願いする。区費が上昇する懸念がある。
- (現在の区費、寺具1万～1万2千、安食1万、明石1万、東作谷1万5千、西作谷1万円)※参考

② ゴミについて

◆現状把握

- ・安食はゴミ当番を高齢者免除にしている、「北山」地域では、ゴミ集積所の鍵を全世帯持っている。
- ・寺具はまだ免除などはない。
- ・東作谷では役員(区長・副区長)3人でゴミ集積所の鍵を管理しており、ゴミ捨ての日に開けている。捨てる日ではないゴミがあると電話し対応する。
- ・西作谷では、班ごとに清掃当番を回している。掃除の際は班全員で行う。班は女性で構成されており、女性部として、公民館とゴミ集積所の清掃を行っている。女性には、年に1度負担金を区から支払っている。
- ・明石は班ごとに区からでる環境整備費により作業を行っている。課題はゴミ集積所が田の中にあり、鍵もないため、他の地域の人がゴミを捨ててしまう。

◆対策

- ・近くの家同士で助ける。近くには親戚がいる人も多いので助け合いが大切。
- ・軽トラで集落を回ってあげる。

③ その他話し合いで出てきた課題

・空き家問題

・区会に入っていないのにゴミ捨て可なのか(ゴミ捨ては市民であれば拒否不可なのか)

(3) 今後の方向性

草刈りの課題ごとミ捨ての課題について、参加している代表者の区会の現状把握を行うことができた。次回の打合せまでに、他の区会の状況を把握し、まとめることで次回の打合せに活用していく。また、今回は5つ目の課題「買い物難民」の問題について話し合ってみることになっている。

会議名・地区：旧山口小学校区

1 旧山口小学校区地域見守りネットワーク会議(R3.7.21)

(1) 検討内容、取り組み等

①振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

②検討事項：見守りマップの更新、旧山口小学校区の取り組みの方向性

見守りについては、これまで山口小学校区で1枚の見守りマップを作成していたが、区会ごとに分け(平沢・山口)作り直し、マッピングを改めて行った。マッピングは下記のルールに基づいて行っている。

・一人暮らしの方を桃色のマーカーでマッピング(高齢者、若年層問わず)

・日中独居高齢者を黄色のマーカーでマッピング

(2) 課題、会議で出た意見等

・新たな若い世帯が平沢には入ってきており、人口は少し増えている部分もあるが、高齢者は増えていくので対応が必要である。

・一人暮らしの方がこれだけたくさん山口にいたことがわかった。見守りの必要性を感じる。

(3) 今後の方向性

すでにあるふれあいサロンやシルバークラブを活用し、見守りを強化していくという意見が前回の会議で出ているため、サロンやシルバークラブの代表と一緒に打合せを重ね、地域の支えあいについて検討していく。

会議名・地区：旧菅間小学校区

1 旧菅間小学校区地域見守りネットワーク会議(R3.6.22)

(1) 検討内容、取り組み等

①振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

②検討事項：第2層協議体の代表者の決定

(2) 課題、会議で出た意見等

- ・旧菅間小学校区の代表区長は8区会で回している。任期は2年だが、代表区長が2年終わると次に代表副区長2年となるため、代表区長になると4年関わることになる。
- ・今後、第2層協議体の代表者がスムーズに交代できるように、代表区長と代表副区長が代表者となる旨を明文化する。
- ・第2層協議体の代表者4名のうち2名は民生委員から出していただく。同様に明文化する。
- ・旧菅間小学校区の第2層協議体の代表者の任期は、区長会の代表区長の任期と合わせる。今年からなったとしたら、任期は令和5年3月までとする。民生委員も同様にする。
- ・民生委員は、代表区長や代表副区長の区会が重複しないよう調整いただく。

(3) 今後の方向性

第2層協議体の代表者について、旧菅間小学校区では規約ではないが決め事を明文化し、次回会議時に内容を確認していただく。

2 旧菅間小学校区地域見守りネットワーク会議(R3.10.26)

(1) 検討内容、取り組み等

- ① 振り返り: 生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み
- ② 検討事項: 旧菅間小学校区代表者規約案

(2) 課題、会議で出た意見等

- ・旧菅間小学校区の代表区長と代表副区長はこれまで、規約など取り決めごとがなかった。昨年度、中菅間区長の調整により、交代制とし取り決めを行った。代表区長1年の後、代表副区長1年を行う体制である。第2層の代表者も今回の規約案に基づき交代制を行っていく。
- ・小中学生のバス通学の課題で、上菅間であるとバスに乗れて、中菅間乗れないといったことがある。おそらく距離の問題ではあるが、そのような課題も生活支援体制整備事業で解決できないのか。
- ・バス問題は、過去2年前に市へ要望書を出した経緯がある。その後も改善された様子がないので、通学距離で判断されているのではないか。
- ・事業の趣旨は理解できるが、難しいと感じる。見守りもこの間中菅間でできそうな方をお願いしてみようと試みたが難しかった。男性の一人暮らし宅を女性のふれあい相談員が訪問することが怖いといった意見があった。また、区会も4つの常会に分かれており、常会が異なると顔を合わせる機会もほとんどない。

(3) 今後の方向性

旧菅間小学校の第2層協議体の代表者を規約に基づき決めることができた。地域見守りを中心として、地域のニーズ把握からスタートし、課題の洗い出しを行い、支えあいの取り組みを進めていく。

会議名・地区：旧筑波小学校区

1 旧筑波小学校区第2層協議体代表者打合せ(R3.12..8)

(1) 検討内容、取り組み等

①振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

②検討事項：ゴミ出し困難事例の共有

旧筑波小学校区の取り組みの方向性

(2) 課題、会議で出た意見等

- ・国の世話にはなりたくないという人もいる。
- ・(生活支援体制整備事業に対して)ボランティア精神のみで、軽い気持ちではできない田舎の難しさがある。ボランティアサービス提供側に負担にならない取り組みが大切。例えば、有償ボランティアなど、お金を掛けることで、利用者側もお互い精神的に楽である。
- ・地域包括支援センターが介護保険の利用を進めており、社協は住民の助け合い活動を進めている点に矛盾を感じる。
- ・ボランティアをやったりすると御礼がモノで帰ってくる。無償のボランティアに対して「ありがとう」だけでは済まない地域性がある。

(ゴミ出し困難事例を説明)

- ・ゴミ捨て業者も1回だけ決まった場所ではないが、持って行ってくれたことある。

(3) 今後の方向性

代表者を集めての少人数の打合せであったこともあり、たくさんの意見を聞くことができた。有償ボランティアで生活支援のしくみを実践していくには、軸となる地域の応援者(キーパーソン)が必要である。意見にあったように、地域特有の難しさもあるため、今後時間をかけて、定期的に地域見守りネットワーク会議や第2層協議体代表者会議で、支えあいや助け合いについて共有していく。

会議名・地区：旧田井小学校区

1 旧田井小学校区第2層協議体代表者打合せ(R3.12.14)

(1) 検討内容、取り組み等

①振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み

②検討事項：ゴミ出し困難事例の共有

旧田井小学校区の取り組みの方向性

(2) 課題、会議で出た意見等

- ・見守りを推進するには、区長や副区長、常会長あるいは班長を集めて、平日であると働いている人もいますので、平日夕方か土日に行政が主となって話を進めていくことが必要である。
- ・(ゴミ出し支援困難事例より)区会がゴミ出し困難な方を把握して、住民にそれを周知理解してもらうことが必要である。
- ・区長も仕事している人が多いので、説明も工夫が必要である。
- ・要介護5の方が町内にいるが、その方のゴミ捨てをやっている方がいる。情報を得ていくところから始めることも重要である。
- ・一回支援が始まるとあれもこれもという心配もある。いつまで支援を続けなければいけないのかという不安もある。
- ・民生委員も人によって、担当区域の広さが異なる。人口で割り振られているかもしれないが物理的な問題もある。民生委員がすべてを把握するのは難しい。

(3) 今後の方向性

小学校区を単位とした事業説明では、区の代表者へ理解は進められたとしても、住民に対する理解を進めることが難しい状況がある。地域住民に対して地域の支えあいや助け合いの理解を促すような取り組みが必要である。次回の打合せでは、見守りに協力していただける区会があるか確認し、住民の皆さんに理解が深まる推進方法を検討する。

会議名・地区：旧田水山小学校区

1 旧田水山小学校区第2層協議体代表者打合せ(R3.12.17)

(1) 検討内容、取り組み等

- ① 振り返り：生活支援体制整備事業とこれまでの取り組み
- ② 検討事項：ゴミ出し困難事例の共有

旧田水山小学校区の取り組みの方向性

(2) 課題、会議で出た意見等

(ゴミ出し困難事例の説明により)

- ・他の常会であるが捨ててあげている事例を聞いたことがある。
- ・自分の家の隣に見守り対象者で、足が不自由でシルバーカーを押している方がいる。ゴミ出しを手伝おうと声かけするが、「自分の運動になるから大丈夫」という。生活支援と言っても、サービスを受ける側は遠慮して受けようとしにくい。財源の問題などもあるが、ポイント制を導入し、システムで助け合いができるような体制があるといい。
- ・助けてあげる側と受ける側の結びつきが大切である。その情がボランティアには大切なのである。

- ・区費は払っているが、区会行事等に参加しない人がいる。
- ・コミュニケーションがとれる地域をつくることを考えるべきである。
- ・区会行事やイベントに若い人をどのように取り入れて行くかも課題である。
- ・既存の区会行事などを活用していくことが重要。特に勤めている人たちのつながりが重要である。
- ・水守には農作物を作っている事業所があるが、そこにたくさんの高齢者が働きに行っている。そういう職場でもサロン活動を普及させたらいいのではないか。

(3) 今後の方向性

現在はコロナウイルス感染症により開催できていないが、既存の区会行事やイベントなど、既にあるものを活用し、地域のつながりづくりを行っていくという話があがった。顔が見える関係づくりが、支えあいや助け合いにつながるということを理解していただいている。次回は既存の区会行事等に注目し話し合いを進めてみる。

— 荃崎圏域 会議記録 —

◆ 支えあい会議

第1回荃崎圏域地域支えあい会議

内容

1. 第2層協議体「地域支えあい会議」のあり方について

- ① 第1層から第3層の構成
- ② 平成29年からの経過のまとめ
- ③ 令和3年度の目標(みんなで作っていききたいこと)
- ④ 本日のまとめと今後の確認

課題、会議で出た意見等

- ・これまで課題が抽出してあるので、具体化していく必要があるのではないか。
- ・以前に会議で社会資源マップについて議論したことがある。もう一度議論した方が良い。
- ・社会資源集の作成をすることで、不足している社会資源が分かり、そこを補う活動に繋がる。
- ・社会資源集は、介護保険以外のインフォーマルなサービスの情報を発信できるような、荃崎らしいものを作成した方が良い。

検討内容、取り組み等

以前、2層の会議で会議員に作成してもらった地域資源マップがあり、これは、居場所としてのシルバークラブやサロン、あるいは、防犯パトロール等の見守り、集まれる場所や趣味クラブ等を、小学校区ごとにマッピングした地図となっている。平成29年からの2層会議の経過をまとめた中で、「地区別の福祉活動便利帳を作成する」という意見が出ていた。前述の「地域資源マップ」を基に、さらに発展させて「小学校区ごとに地域資源をとめ、データ化し、冊子にしていく」ことを今年度の目標とすることになった。

今後の方向性

今後は、社会資源をまとめていくための、どのように情報収集を行っていくか検討していく。

第2回荃崎圏域地域支えあい会議

内容

1. 前回の振り返り

- ① 第2層協議体支えあい会議のあり方
- ② 前回出た意見のまとめ

2. 荃崎圏域版「社会資源集(仮称)」作成について

- ① データとして入れる社会資源
- ② データカードの様式
- ③ 情報収集等

検討内容、取り組み等

・コーディネーターが把握している社会資源の他、各地域にある社会資源の確認を行った。

・社会資源集の元となるデータカードの様式の検討を行った。

・作成作業の確認

課題、会議で出た意見等

・データカードの様式は、様々な活動団体がもっと活動内容を自由に記載できるような様式が良い。

今後の方向性

様式を修正後、会議員に郵送する。確認して頂いて、修正箇所がある際はご連絡頂くことにした。



第3回 荃崎圏域地域支えあい会議

内容

1. 前回の振り返り

2. 荃崎圏域版「社会資源集(仮称)」作成について

①データカードの様式、記入ガイド、記入例の確認

②データカードの依頼先

③作成スケジュール

検討内容、取り組み等

・郵送して確認して頂いたデータカードの様式については、特に修正等の意見はなかった。

・データカードの依頼先の確認。各地域での活動については、区長・自治会長宛てに依頼。シルバークラブ、ふれあいサロン、地域見守りネットワーク事業、ボランティア団体については、社協より依頼をかける。交流センターでの活動団体には、市を通して依頼する。

・データカードの提出先は、社協とした。提出方法は、持参、郵送の他、メールで提出してもらう。

課題、会議で出た意見

・(会議員より)初めての試みなので、完璧を目指すのではなく、まずはやってみましょう。

今後の方向性

12月にデータカードの依頼を発送する。1月中に提出して頂き、その後編集作業を行うこととなった。

◆地域見守りネットワーク会議

会議名・地区：荃崎第1小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・生活支援体制整備事業の取り組みについての確認

課題、会議で出た意見等

- ・1層、2層、3層の位置づけやメンバー、役割の説明をした。今後、1層、2層、3層の情報共有を深めていく必要がある。
- ・1層の会議時に、高齢者のゴミ出し問題がクローズアップされているが、区会ごとに実施できればよいのではないか。

今後の方向性

今後は区会・自治会ごとにも会議を行い、課題について確認を行いながら、見守りの仕組み作りをすすめていく。

会議名・地区：荃崎第2小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・生活支援体制整備事業の取り組みについての確認

課題、会議で出た意見等

- ・実際に活動する単位としては、区会単位がまとまりやすい。
- 2層は地域課題を共有し、意見やアドバイスをもらう場である、実際に活動するのは区会単位であることを説明。
- ・旧村地区では、見守りの話をすると余計なお世話と捉えられてしまい、団地のようなまとまりは難しい。
 - ・コロナ禍で、見守り活動は間接的な活動が多くなってきている。ワクチン接種が進み、直接会って話すことができれば、それが1番の見守りになる。

今後の方向性

今後は地域性を考慮して、団地の地域と旧村地域と分けて会議を行い、情報共有を行いながら、地域にとって必要な資源を見出していく。

会議名・地区：荃崎第3小学校区地域見守りネットワーク会議

検討内容、取り組み等

- ・地域見守りネットワーク事業の取り組み状況について
- ・生活支援体制整備事業の取り組みについての確認

課題、会議で出た意見等

・ふれあい相談員の立場としては、民生委員と違い正確な情報があるわけではなく、自分で情報を探さなくてはならないので、情報源に限られる。見守りは、「ふれあい相談員」「民生委員」「区会」等で多数の目で見守るのが理想。

・森の里では、定期的に民生委員と情報交換会をしており、自警団では、さりげない見守り活動をしている。周りから見て、支援が必要な方でも本人が受け入れない例もあり、なかなか難しい面もあるとのこと。交流を好まない方々の連絡先の把握も必要となってくる。

・本当に困っている人は何も言わない人が多い。困った人から支援していけば問題解決の近道になる。

今後の方向性

地域の中で、ふれあい相談員、民生委員、区会・自治会、また、ふれあいサロンやシルバークラブ等の活動団体等、地域全体で見守りの連携が図られることが、結果的に高齢者の安心安全に繋がる。今後はそういったネットワークの構築を支援していきたい。

◆小地域での会議

地区：森の里（ふれあい相談員件自治会長と民生委員（5名）との情報交換会）

検討内容、取り組み等

- ・森の里民生委員「災害時における行動マニュアル」の確認
- ・要援護者マップの確認
- ・食事サービス終了に伴い、今後の安否確認方法の検討

課題、会議で出た意見等

- ・森の里民生委員が、災害発生時に森の里の民生委員が行う行動マニュアルを作成した。民生委員がとるべき行動や自治会との連携が記載してある。
- ・森の里では、地域の相談が自治会に入った際、担当エリア民生委員に情報を伝え訪問してもらうといった連携体制を作っている。また、独居高齢者や高齢世帯等の要援護者マップを作成し、各担当エリア民生委員が持っており、対象者を気に掛けるようにしている。今回、民生委員が高齢者台帳訪問で新たに把握した情報をもとに、マップを更新していく。
- ・民生委員より、食事サービスが終了するので、安否確認が難しくなると相談があった件。森の里の高齢化率は50%を超えており、高齢者が1,400名以上もいるため、森の里版の食事サービスを立ち上げてはどうかと提案。→現段階では森の里では担っていく人がいない。しかし、見守りは継続していく必要がある。手ぶらでは訪問しづらく、お弁当の代替品（水、カップラーメン、レンチンご飯等）があると助かる。
- ・荃崎全体を対象にした炊き出しがあると良い。

今後の方向性

食事サービス終了に伴い、民生委員が安否確認を行う方法が減ってしまったという声が聞かれるため、今後も民生委員が継続して高齢者の訪問活動を支援できる方法を民生委員と検討していくことが、民生委員とコーディネーターの連携を保つことに繋がる。地域見守りネットワーク事業との連携の他にも、民生委員が訪問しやすいツール(方法)を検討していきたい。



6 振り返りと今後の方向性

大穂圏域

今年度の振り返り

今年度はコロナウイルス感染症の影響があったため、予定通りに協議体や会の開催ができなかったが、その中でも小地域の取り組みが進むよう、住民との話し合いを進めることができた。

来年度の方向性

- ・関心のあるテーマとして見守り・声掛け、健康づくり、サロン・集いの場、防災、ゴミ捨てが多かったため、この内容について重点的に課題解決や社会資源創出を目指していくため話し合いを重ねていく。
- ・コアメンバーの選出についても、現時点では案の状態だが、会議の中で話し合いを重ねていくことで、役割や詳細、必要性の是非を検討していく。

豊里圏域

今年度の振り返り

- ・コロナ禍は理由にはならない部分もあるが、主催する支えあい会議やネットワーク会議、また地域の会議、おまつりなどの動きが制約されたことは、積極的な活動に繋がらなかった要因の一つでもある。
- ・そのような中で、自分たちで自分たちの地域を考え、地道に活動を続けてきた方々の取り組みが、上記のような活動に繋がってきたことは一定の成果であり、事業趣旨の浸透の現れでもあるように感じている。

来年度の方向性

- ・良い意味で親類縁者の多い、つながりの強い地域であるため、既に助け合い、見守り会う姿勢、組織が地域に存在する(存在すると考えている)。
- ・どのような手法、方策が良いかは地域の方々との協議が必至であるが、地域の課題を共有し、解決する力を醸成するような会議等を更に深化させていく。
- ・また地域に出向き、課題を拾い上げ、地域の方々と共有するような地道な活動を続けいく。

谷田部西圏域

今年度の振り返り

コロナの影響により地域に出る機会が減少してしまったが、可能な限り小さな範囲で話し合いを進めてきたことで、地域住民との関係性を築くことができた。また、会議等で出た意見等を更に深めるために積極的に住民と話し合いを重ねた。取り組み支援ができていない地域については、地域住民の声をきき、地域にあった取り組みを提案していきたい。今年度の経験から、まずは「集いの場」を立ち上げ、その後「見守り活動」そして「生活支援」につなげていきたい。

来年度の方向性

- ・生活支援コーディネーターの役割がまだ、住民に浸透していないことを感じる。地域住民にコーディネーターの存在をわかるように活動をしていくことが重要であることから、地域住民と積極的にかかわりを持っていきたい。
- ・地域見守りネットワーク事業の「見守り活動」についても、生活支援の1つでもあるため、地域にあった形での見守りができるようにSCとしても提案していきたい。
- ・生活支援活動においても、若い世代にも参加できる内容等を組み入れ、地域全体で活動を進めていきたい。

谷田部東圏域

今年度の振り返り

- ・今年度はサロンへの出席や、集まりの場の立ち上げに関わらせていただくことができた。事業の中で進めたい4つの取り組みのうち、「集いの場」は比較的取り組みやすいのではないかと感じたため、取り組みがまだない地域においては、まず「集いの場」づくりの提案をしていきたい。
- ・地域の方と話をする中で、住民にとって身近に感じられる「地域」の範囲は、学校区等ではなく、区会程度の範囲であることがわかった。この範囲を「小地域」と捉え、働きかけをしていく必要があるのではないかと感じている。
- ・今年度、研究学園地区の取り組みのような、地域活動に取り組んでいる個人や団体等の連携の場づくりに関わることができた。連携を機にさらに活動が広がっていく可能性を感じたため、今後もそのような場づくりを続けていきたい。

来年度の方向性

- ・来年度は、事業の中で進めたい4つの取り組みのうち、「見守り」の推進に重点的に取り組みたい。様々な特性を持つ地域が混在している谷田部東圏域においては、小地域ごとに、その地域に合った見守りの形を考え、それを住民とともに推進していくことが必要だと考えている。社協で行っている「地域見守りネットワーク事業」も開始から10年が経過し、課題も見えてきている。地域の特性を見極めながら、その地域に合った見守りの形を進めていきたい。
- ・来年度は、地域の活動団体との連携だけではなく、専門職間との連携体制も協会していく。
- ・今年度も新型コロナウイルスの影響で、地域に出ることが難しい時期もあったが、可能な限り地域に出て、地域住民との関係性を築けるよう努めた。その結果、地域についてお互いに相談をしたり、話をしたりできる関係性が増えてきたように思う。地域住民が「生活支援コーディネーター」という存在を身近に感じ、活用してもらえよう、来年度も地域に積極的に出ていきたい。

桜圏域

今年度の振り返り

桜圏域第2層協議体が設置されてから、具体的な話し合いが行われていない状況であった。また、第2層協議体の会議員数が少なかったため、事業の理解を得るためには、もっと多くの住民に参加していただく必要があると感じ、地域見守りネットワーク事業に参加している会議員全員と、参加したいと言っていた住民、地域活動関係者に声をかけ、会議員数を増やした。その結果、地域支えあい会議の参加者数も増え、令和4年度からの会議の進め方を決めることができた。

今年度は、「より多くの住民に事業を知ってもらい、コーディネーターがいることを知ってもらい」という1年になったのではないかと思う。

来年度の方向性

地域支えあい会議は、活動報告と情報共有を行う場とし、小学校区や区会など、小地域での話し合いを重点的に進めていく。話し合いの中から、支えあいの地域づくりに繋がる活動が創出できるように支援していく。

また、令和3年度コロナウイルス感染拡大のため延期となっている「栗原小学校区・栄小学校区合同 桜川の氾濫に関する防災勉強会」と「竹園西小学校区・竹園東小学校区合同 地域で行われている助けあい活動の報告会」を実施する。開催後、地域でどのような活動をしていけるかを話し合い、次に繋げていきたい。

筑波圏域

今年度の振り返り

- ・今年度も新型コロナウイルスの影響により、予定どおりに協議体や会の開催が困難であった。その中でも支えあいの取り組みが進むよう、各旧小学校区の第2層協議体の代表者との打合せや旧小田小学校区のメンバーと、支えあい活動を進めるための話し合いを設けることができた。
- ・支えあい活動を進めるには地域住民への理解とそこで活動を行っていただけるキーパーソンの存在が不可欠である。
- ・筑波圏域は高齢化が進んでいるものの、区会組織率も高く、昔から存在していた地域のつながりを保つための行事や集まりがある。そういったもの活用や連携に目を向けていく必要性がある。

来年度の方向性

- ・地域住民への理解を進めるために、区会や地域団体に事業周知と支えあい活動や助け合い活動の大切さを伝えていくことが必要である。
- ・新型コロナウイルスの影響もあるが、現存している区会行事や地域行事、また過去にあった行事等に目を向け、その行事との連携や支援により、地域に合致した支えあい活動を生み出せるよう働きかけを行っていく。

荃崎圏域

今年度の振り返り

- ・担当を引き継いで半年、それぞれの地区を知る事、地域関係者と関係を築くことを意識して行った。また、前任者が支援してきた活動の継続に努めた。コロナ禍で会議が開催できないこともあったが、少人数での打ち合わせや電話での確認等、水面下で活動を推し進めた。
- ・平成29年から荃崎圏域第2層協議体が始まり、地域の課題や助け合い活動について話し合いを重ねてきたが、社会資源集の作成を行うことにより、2層協議体のまとまりが見えてきたように思う。

来年度の方向性

- ・今年度は、ニーズ調査を行い課題把握に努め、上がったニーズに対して地域で話し合いを行い、どのような活動ができるか検討していく。また、すでに立ち上がっている他地区

の生活支援活動等の情報交換を行いながら助け合い活動の仕組み作りを支援していきたい。

- ・地域の状況を把握するため、コロナ禍で中止となっていたふれあいサロン等が再開したら積極的に訪問を行う。
- ・地域の状況や活動の情報収集に努め、他地区で参考になりそうなことは情報提供を行う等、地域間の情報共有が図られるようコーディネーターとして努めていく。

令和3年度 事業全体の振り返りと今後の方向性

昨年度から生活支援体制整備事業を核とする「地域支援事業」を受託し、日常生活圏域（7圏域）に生活支援コーディネーターを配置し2年目となりました。

今年度はコロナ禍の影響により、地域ささえあい会議（第2層協議体会議）や地域活動が中止となり、厳しい状況でした。しかし社協は、住民に一番近い存在としての強みを活かして地域のキーマンとの連絡調整を止めることなく、住民の皆様の自発的な協力により、実践へつなげることができました。

各圏域コーディネーターは、第1層協議体会議、第2層協議体（地域支えあい会議）に参加し、会議を進行し運営したことで、生活支援コーディネーターとしての役割や事業の目指す目標を再認識することができました。しかし、生活支援コーディネーターが地域住民と一緒に立ち上げた社会資源は、「いくつ生み出すことができたか？」など、どうしても「数」で評価してしまう傾向があります。

住民を社会資源として考えてしまうのではなく、「参加しているみんなが主役で、参加しているみんなが笑顔になれるコミュニティが本当にできあがっているのか？」を問う必要性があると感じました。

そのことを踏まえて、今年度は、各圏域で生まれた社会資源を一覧にまとめて活動報告書を作成しました。活動報告書の作成を通して、生活支援コーディネーターとして「どのように動いたか？」を立ち止まり、プロセスを振り返り、評価することは、コーディネーターの関わり方を検証し、次につなげることのできる唯一の方法と考えました。

また、「生活支援体制整備事業」に一人でも多くの住民に関わっていただくために、情報紙「ささえあい・つくば」を発行したり、事業案内リーフレットを作成し、情報発信をしました。リーフレットを見た住民からの相談を地域活動団体や専門機関につなぎ、解決したケースも数多くあります。また、一般市民が第2層協議体に継続的に参加し、地域活動者と情報交換していることから、大きな効果があったと考えました。

今後の課題として、第2層協議体（地域支えあい会議）の協議内容について、各圏域の立ち上げ時期が異なるため、課題の違いが明らかになっています。地域支えあい会議（第2層協議体会議）での住民からの意見の中には、好意的な意見だけではなく、否定的な意見もありますが、その都度コーディネーターとして意見を分析し、改善の必要がある意見については、対策を講じ応えていく姿勢が必要だと認識しました。生活支援コーディネーターとして、「協議体運営の課題がどこにあるのか？」を的確に捉え、地域の核となる住民に相談し、地域支えあい会議（第2層協議体）に提案し、課題解決に向かうように調整することが必要であると考えます。

生活支援体制整備事業が目指す地域の姿として、「住民自身が主体的に地域のことを考え、住民同士が丁寧に話し合っただけで地域の方向性を描き、取り組むことをすすめること」、

それが「住民主体」です。事業ありきではなく、住民の声を聞くことでニーズ把握ができ、行うべき取り組みや実施内容が見えてきます。住民の声を丁寧に聞き、地域住民の主体性を引き出し、住民自身による地域づくりを側面的に支えることが生活支援コーディネーターとしての大きな役割であると考えます。各圏域の取り組みが継続することを意識して、活動の方向性や決定過程などの思いをコーディネーターがチームとなり、チーム一丸となって取り組みを進めてまいります。

これまで、つくば市社協が事業や活動を通して培ってきた地域とのつながりを活かし、今後も目の前の地域の課題や予想される将来像を見据えて、今できることを地域住民と共有し一歩ずつ進めてまいります。

社会福祉法人つくば市社会福祉協議会
地域福祉推進室
地域支援事業 事業統括係長

大竹 佳代子
(谷田部西圏域担当)

7 資料編

生活支援体制整備事業リーフレット(R3 年度版).....	120
大曽根みんなの食堂 チラシ(大穂圏域).....	121
百家サロン チラシ(豊里圏域).....	123
高須賀集いの広場 チラシ(谷田部西圏域).....	124
春日の森 NET 取り組み概要資料(谷田部東圏域).....	125
葛城地区つなぐ会 設立及び意見交換会のお知らせ ※住民作成(谷田部東圏域).....	127
研究学園活動団体交流会 チラシ(谷田部東圏域).....	128
小田地区いきいき通信(筑波圏域).....	129
梅ヶ丘ゴミ出し支援ボランティア・ 希望者募集チラシ(荃崎圏域).....	131

◆◆生活支援コーディネーターの役割◆◆

見つける・発掘する

- 人や取り組み、知恵や工夫など地域に存在する様々な宝物を見つけ出します。
- 地域に住む皆さんがどんな困りごとを抱えているかなど「地域の声」を発掘します。

つなげる

- 人や情報、サービスや資源などを適切につなぎ、地域の困りごとの解決を目指します。
- 「協議体」等の場を活用し、地域住民や専門職をつなぎ、一緒に「支えあいの地域づくり」を推進するきっかけをつくります。

つくる

- 「地域にこんなことがあったらいいな」を住民の皆さんと一緒に考え、実現するお手伝いをします。

発信する

- 地域で行われている活動の様子や、活動に関わっている人の想いを様々な形で発信します。

生活支援コーディネーターにみなさんの声を聞かせてください！

- 地域の中の困ったことや不安なこと
- 地域の様々な活動や支援などの情報
- 地域でやりたいこと、こんな活動があるといいなと思っていること

など

地域の皆さんと一緒に
支えあいの地域づくりを推進します



私たちが生活支援コーディネーターです！



大穂圏域 小倉真之 谷田部西圏域 大竹佳代子 桜圏域 小川奈々世 荊崎圏域 益子奈津子

豊里圏域 井形秀人 谷田部東圏域 荻生奈苗 筑波圏域 猪瀬翔南

お問い合わせ先

社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

圏域	連絡先
・大穂 ・筑波	【本部】 つくば市筑穂 1-10-4 TEL 029-879-5500 FAX 029-879-5501
・豊里 ・桜	【中央支所/老人福祉センターとよと】 つくば市遠東 639 TEL 029-847-0231 FAX 029-847-0233
・谷田部西 ・谷田部東 ・荊崎	【南支所】(荊崎老人福祉センター隣) つくば市下岩崎 2068 TEL 029-876-4552 FAX 029-876-2842
ホームページ	http://www.tsukuba-sw.or.jp/
メール	tiki@tsukuba-sw.or.jp

令和3年度版

みんなで取り組む

「支えあい」の地域づくり

～生活支援体制整備事業～



圏域別活動テーマ



このテーマは、各圏域で開催されている第2層協議体の中で、参加者が地域の特色に合わせて決めたものです。



社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

事業の背景

①高齢者人口の増加

「若者のまち」つくばでも、2040年には約3人に1人が高齢者となる予測です。



②支え手の減少

高齢者人口は増えていきますが、支え手である若年人口は増えず、若い世代の負担は増加する傾向にあります。



③サービスの利用が困難に

このままいくと、介護が必要な高齢者は増加するのに、サービスの担い手が不足傾向に。介護保険料負担の増加も懸念されます。

このような状況で、高齢者の生活の基盤である「地域」の機能が注目されています。その中で生まれたのが、「生活支援体制整備事業」です。

(データ出典)つくば市高齢者福祉計画(8期) 国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計人口」

Q:「生活支援体制整備事業」って何？

A:年をとっても誰もが安心して地域で暮らし続けられるよう「支えあいの地域づくり」を行うものです。

具体的には、こんな活動が地域に広がることを目指します。

通いの場

地域の皆さんが気軽に集まり、体操や趣味活動、お茶飲み会などで楽しむ居場所をつくります。



話しあいの場(協議体)

助け合いや支えあいの仕組みづくりについて、地域住民や関係機関等と一緒に話し合う場をつくります。



見守り・声かけ

地域でさりげない見守り・声かけ活動が広がることにより、信頼関係が生まれ、困りごとに気づくことができます。



生活支援活動

ごみ出し、電球交換、庭木の水やりなど…ちょっとした困りごとをご近所同士で解決できる仕組みをつくります。



実際に地域でこんな支えあい活動が生まれています！

地域がつながる！サロン・集いの場

地域の人なら誰でも気軽に立ち寄れてお茶を飲んだり、お話したり、時には体を動かしてみたり。楽しみながら住民同士がつながるきっかけとなる「集いの場」が、各地域にたくさん生まれています！



地域の未来を考える「話しあいの場」

地域の支えあいを進める上で、住民同士が顔を合わせ、意見や情報を交換できる「話しあいの場」がとても重要です。小田小地域では、地域住民が集い、地域の支えあいを考える協議体が発足しました。



空き家を活用して地域の憩いの場に

地域にある空き店舗や空き家を活用して、住民がいつでも集える場所をつくる取り組みが進んでいます。春日・東平塚地区では、地域の空き店舗でサロンを開設し、近隣の空き家もみんなで整備して、地域の活動拠点にしています。



これらの活動を

生活支援コーディネーター

が支えます！



生活支援コーディネーターって何者？
次のページで詳しく説明します



みんなで楽しくおいしく食育!

大曽根みんなの食堂

★誰でも利用できる地域の食堂です★



4月から 新たにOPEN♪



開催日時

毎月第3土曜日

12:00~14:00

会場

大穂交流センター調理室

(住所: つくば市筑穂1-10-4)

お食事代

こども100円 (高校生まで)

おとな300円

定員

30名まで

※事前予約制ですので、下記連絡先へお電話ください。

大曽根みんなの食堂

代表: 鷹巣 節子

TEL:



令和4年大曽根みんなの食堂メニュー表 (4月～9月)



開催日	メニュー			
4月16日	とうもろこし ご飯	豆腐ハン バーグ	コンソメ仕 立ての溶き たまご	フルーツ かん
5月21日	たけのこご飯	春巻き	フルーツ 杏仁	
6月18日	ご飯	とりの から揚げ	じゃがいも のガレット	マシュマロ 入りヨーグ ルト
7月16日	冷やし中華	白玉だんご		
8月20日	野菜カレー	生野菜 サラダ		
9月17日	三色ご飯	魚の ムニエル	スープ	

※メニューは予定ですので、変更となる場合があります

※アレルギー対応食ではありませんので、事前に確認をおねがいします

みなさんの参加をお待ちしています♪



★10月以降のメニュー表は9月に配布予定です

参加しませんか 百家 集いの場...

日時 3/12(土) 午後1時に集合してください

カスミの移動販売に合わせて
カスミ移動販売開始 14時10分~

写真はイメージです



場所 百家集落センター

内容 保健師による
血圧測定 脳年齢測定 健康相談 等
サロンの開設にむけた準備



写真はイメージです

つくば市福祉部地域包括支援課
大穂豊里地域包括支援センター
社会福祉法人つくば市社会福祉協議会

社協豊里圏域担当 井形 ☎029-847-0231

お気軽にお立ち寄り下さい！

お薬のこと、 もっと知りませんか？

薬剤師の方からお話を聞き、
お薬への理解を深めるイベントです
また、筑波大学の学生とおしゃべりをする
交流会も行います

開催日 令和3年12月9日(木)10時30分～12時
場所 高須賀研修センター

10時30分～11時10分

薬の専門家から話を聞く会「お薬のこと」

講師：日本調剤つくば西大通り 東薬局薬剤師

薬剤師さんのお話の後は、健康診断と血圧測定もできます

主催：つくば市役所 地域包括支援課
つくば市社会福祉協議会 谷田部西圏域
協力：筑波大学 理工学群 社会工学類
都市計画演習 2班

春日の森NET 集いの場

☆☆取り組みの概要☆☆

1

取り組みのきっかけ

- 「春日学園義務教育学校区
地域見守りネットワーク会議」にて...

地域の中にとっても
いい場所があって、
ここで地域の集いの場が
できればいいなと思って
いるんだよね♪



民生委員さん 2

こんな場所！

- ・椿亭書道教室（東平塚）



畑もあります!!

3

活動のアイデア



いつでも・だれでも
来れるカフェ!

常に開放されていて、そこに行けば
誰かに会える。ちょっとお茶を飲みながら
お話ししたり、ぼーっとしたり...
そんな気軽に、自由な場所。

健康体操教室

高齢者の健康づくりのために、みんなで
定期的に健康体操を行える場所。
たまには若い人も混ざって、みんなで楽
しく健康づくり!



4

活動のアイデア

放課後サロン

子どもたちが学校帰りに
寄れる居場所

下校後の子どもたちが、保護者が帰ってこ
るまでの時間を過ごせるような「居場所」。
学生さんたちに協力してもらい、宿題を見
てもらおうなど「寺子屋」的な機能も!

パソコン・スマホ教室 など暮らしに役立つ講座

高齢者向けのパソコン・スマホ教室や、
特殊詐欺防止など、暮らしに役立つ知識に
ついてみんなで学ぶ場。



5

活動のアイデア



高齢者の暮らしを支える
生活支援グループづくり

高齢になると、ゴミ出しや草刈りなど、暮
らしの中でちょっとしたサポートが必要に
なってきます。サポーターとして活動して
くれる方を募り、高齢者の暮らしを支える
「お助け隊」のようなグループをつくりま
す。

等等!!
「作戦会議」を行い、仲間を増やしなが
ら活動のアイデアを出し合っています♪

「作戦会議」って? 詳しくは次のページ!

6

春日の森NET★作戦会議

- ・活動の立ち上げに向けて、活動に関わってくれる
仲間を増やしなが、話し合いを行っています。



「会議」というよりは、気軽な雰囲気の中で
話し合いしています♪

7

春日の森NET作戦会議

- ・「何がしたい?」「何ができるかな?」活動についての
アイデア出しや、それをどう実現していけるかについ
ての意見交換などを行っています。
- ・現在のメンバー...
地域の民生委員さん、議員さん、サロン運営者の方、
社協職員 などなど...

一緒に話し合いをしてくれる
仲間大募集中!
どなたでも参加OKです♪

8

第一回 サロン春日の森



日時：
6月6日（日）13時～
場所：椿亭
内容：
おしゃべり&気功

気功の先生は、地域にお住いの方をお願いしました*

9

第1回（6月6日）の様子



みなでおしゃべり。
「これから何がしたい？」
「どんなことだったらみんな来てくれるかな...？」
みなで自由に意見交換。

気功でリラックス！
地域の方を先生に、みんなで気持ちよく体を動かしました。



10

第2回（7月18日）



第3回（9月19日）春日の森NET設立総会も兼ねて実施



第4回（10月17日）大西さんによるマジックショー★



第5回（11月21日）筑波大生によるマジックの披露+玉ねぎ植え



12

古民家再生プロジェクト！

椿亭の道路向かいにある素敵な古民家！
持ち主の方のご厚意で、地域の活動場所として
整備を始めることになりました！



13



畳を上げて、風通し中。。
みんなが集まる場をイメージしながら、片付けを進めています。

裏庭もみんなで竹を切ったり、草を刈ったりしてみんなが使える広場として整備をしています。

整備は地域の方も一緒にお手伝いしてくれています！



14

助成金の活用

【申請済み】

- ・つくば市社会福祉協議会
「絆づくり支援事業（ミニふれあいサロン）」
- ・茨城県社会福祉協議会
「はんどちゃんネットワーク運動サロン活動応援助成金」

」

15

今後の予定

- ・サロンでお宝交換会
- ・映画観賞会
- ・暮らしや生活に関する講話
- ・子ども団体や学生との連携
- ・畑での野菜栽培&みんなで収穫

etc...

16

～葛城地区「つなぐ会」設立及び意見交換会～

のお知らせ

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年楽しみにしている地域の行事が開催できず地域住民が集える機会がなく交流もできない状況におかれています。

そこでこの度、世代を超えて皆が支えあい、助け合い、共に安心して葛城地区に暮らし続けることができるよう「つなぐ会」を設立し、つくば市社会福祉協議会の協力のもと活動を開始致しました。何卒趣旨をご理解いただきまして、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

◎「つなぐ会」活動内容・趣旨◎

- ① 「サロンかつらぎ」共同企画・・・開催場所に集うことで介護予防になり交流を深める
- ② 地域の中に孤立しがちな人をつくらない。誰もひとりにしない
- ③ 年に数回会議を実施し地域の問題点や困りごとなどを話し合い解決策を考える
- ④ 地域イベントを開催し参加をすることでつながりを増す
- ⑤ 地域防災、防犯について考えまですることから行動する
- ⑥ 地域の既存団体と連携、協力して地域発展に努める
- ⑦ 地域ボランティアとして葛城小学校を支援し地域と学校の交流に努める

つきましては下記の要領で「つなぐ会議」を企画いたしました。地域の皆さまとより住みよい葛城地区をつくるために意見交換をしたいと思えます。地域の問題点や困りごと、今後の課題、新しい取り組みなど気軽に話し合しましょう。

皆さまのご参加をお待ちしております！

●葛城地区「つなぐ会議」

1日時：令和3年10月16日（土）10時～

2場所：苅間辻原研修センター

*会場準備の都合上ご参加いただける方は事前に

ご連絡をいただけますと幸いです。

なお、当日の急なご参加も大歓迎です。

連絡先 葛城地区「つなぐ会」代表 杉田ひろみ TEL
メールアドレス

*公益財団法人 さわやか福祉財団「地域助け合い基金」助成事業

*協賛：株式会社 ベストランド *協力：つくば市社会福祉協議会



●新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください

つなげよう！ひろげよう！

研究学園地区 活動団体交流会

研究学園地区ができて約15年。若い世代からシニア世代までたくさんの方が住む、賑わいあふれる街になりました。今回はそんな研究学園という地域の中で活動している団体が、お互いの活動を知り、つながるきっかけの場として交流会を企画しました。ぜひお気軽にご参加ください！



日時：12月6日（月）13：30～15：00

場所：つくば市役所2階 203会議室

対象：研究学園地区周辺の地域活動関係者

（1団体あたり2～3名）

内容：それぞれの団体の活動について情報共有、意見交換

☆発起人～研究学園地区活動団体交流会準備会～☆

島田 由美子（グリーンネックレス・タウンの会）／吉田 絵里子・小森谷 さやか（「きつつきプレイパーク」つくばdeプレイパークひろめ隊）／武沢 幾子（だれでもウォーキング）／椎名清代（グリーンネックレス カルチャーの会、ひろばワーキンググループ）／小澤 美智子（サロンゆうゆう）／佐久間 健（親子英会話、お茶っこカフェ）／荻生 奈苗（つくば市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター）

小田地区 いきいき通信

第1号 11月15日発行

この通信は、生活支援体制整備事業（介護保険法：裏面参照）に基づき、旧小田小学校区内（旧大形小学校区を含む）の支えあい活動や助け合い活動（福祉活動等）の創出に向け、話し合いや活動状況について住民の皆様にお知らせするための広報紙となります。ご意見やご質問等ございましたらお気軽に下記までご連絡ください。

旧小田小学校区第3層協議体

『小田地区いきいき会議』が 立ち上がりました！

この会議は、小田小交流プラザを拠点として、旧小田小学校区（以下、小田地区と呼ぶ）範囲における支えあい活動や助け合い活動の創出に向けた話し合いの場です。

小田地区
の未来を
支える取組
です！

小田地区のみんなが、何歳になっても楽しめる場があるといいなあ。

高齢者のゴミ出しを支える仕組みがあるといいね・・・

1 令和3年3月2日（立上準備会）の話し合い 団体構成が決定！

- メンバーは小田地区地域住民・地域団体等です。皆様のご協力もお待ちしております！
- 協働事務局は社協と小田小交流プラザサポーター（お問い合わせ先参照）
- 第2層協議体の代表者も決定！

構成メンバー

区長・民生委員児童委員・ふれあい相談員（社協）・地域包括支援センター、地域関係者（小田内科クリニック、小田駐在所、ふれあいサロン代表、シルバークラブ代表、NPO法人TSUKKURA、小田地域まちづくり振興会、小田小交流プラザサポーター等）

2 令和3年5月25日（第1回会議）の話し合い 今後の取組が決定！

- まずは「見守りマップ」の作成に着手しました。
- 地域の見守りの推進について確認しました。
- 個人情報の取り扱いについても確認しました。

こんな雰囲気
話し合っています

今後も小田地区の福祉活動の発展に向け、話し合いを行っていき、住民の皆さんに活動状況が伝わるようこの広報紙で情報発信していきたいと思えます。また、**地域づくりに関わってくれる方や応援してくれる方がいらっしや**いましたらぜひお気軽にお問い合わせください。

／ よろしくお願ひします！



お問い合わせ先

協働事務局

- ◆つくば市社会福祉協議会 筑波圏域生活支援コーディネーター 猪瀬（いのせ）
〒300-3257つくば市筑穂1-10-4 TEL 029-879-5500
- ◆小田小交流プラザサポーター 白石（しらいし）・橋（たちばな）

「生活支援体制整備事業」とは？

年をとっても誰もが安心して地域で暮らし続けられるよう「支えあいの地域づくり」を行うものです。

具体的には、以下のような住民主体の活動が地域に広がることを目指します。

通いの場

地域の皆さんが気軽に集まり、体操や趣味活動、お茶飲み会などで楽しむ居場所をつくります。



話しあいの場（協議体）

助け合いや支え合いの仕組みづくりについて、地域住民や関係機関等と一緒に話し合う場をつくります。



見守り・声かけ

地域でさりげない見守り・声かけ活動が広がることにより、信頼関係が生まれ、困りごとに気づくことができます。



生活支援活動

ごみ出し、電球交換、庭木の水やりなど、ちょっとした困りごとをご近所同士で解決できる仕組みをつくります。



上記の活動の創出に向け、この事業では3つの層（協議体）に分けた話し合いの場が設置されています。

	<h3>第1層協議体</h3>	<ul style="list-style-type: none"> つくば市全体の地域づくりの方針を決定する話し合いの場 地域では対応できない課題解決に向けた話し合いの場
	<h3>第2層協議体</h3> <p>（7圏域）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旧筑波町を範囲とする話し合いの場 各小学校区の課題解決に向けた話し合いの場
	<h3>第3層協議体</h3> <p>（小学校区・小地域ごと）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旧小学校区を範囲とする話し合いの場 地域に必要な支えあい活動や助け合い活動を創出するための話し合いの場

梅ヶ丘ゴミ出し支援 ボランティア募集

—あなたの力「ちょっと」お貸してください—

以前、梅ヶ丘地区の皆さまにご協力頂いたゴミ出し支援に関するアンケートによりますと、ゴミ出しが難しく、支援があったらお願いしたいという高齢者が 10 名、また、今後利用したいと思っているという方が 13 名いらっしゃる事が分かり、梅ヶ丘地区内で住民同士の助け合い活動と、ゴミ出し支援を始める運びになりました。

この度ゴミ出し支援にご協力頂けるボランティアを募集致します。住み慣れた地域で生活を続けるため、「ちょっと助けてほしいな」の声に力を貸して頂けませんか？

内容 梅ヶ丘地区にお住まいのゴミ出しが困難な高齢者や障害をお持ちの方を対象に、ご自宅まで伺い、ゴミを集積所まで捨てに行く支援をして頂くボランティアです。

申込 下記の欄に、必要事項をご記入頂き、回覧の封筒に入れて下さい。後日ご連絡致します。

締切 令和3年 11 月 25 日(木) ※その後も随時募集

お名前：	性別：
ご住所：	年齢：
連絡先：	
支援可能日： 月 火 水 木 金	
備考：	

お問合せ先：梅ヶ丘自治会・梅ヶ丘地区民生委員・梅ヶ丘地区ふれあい相談員・
地域支えあいサポーター・梅寿会(梅ヶ丘地区シルバークラブ)

～梅ヶ丘ゴミ出し支援～ 希望者申し込みについて

先日、梅ヶ丘地区にて行った、ゴミ出し支援に関するアンケートにご協力頂きましてありがとうございました。

今回梅ヶ丘地区内での住民同士の助け合い活動として、ゴミ出し支援を始める運びになりました。梅ヶ丘の関係者でゴミ出し支援の検討を行ってききましたが、コロナ禍でなかなか会議が開催できず、お知らせするのが遅くなりまして大変申し訳ありません。

このチラシにおいて、ゴミ出し支援を希望される方の募集を行います。

対象 梅ヶ丘地区にお住まいのゴミ出しが困難な高齢者等

料金 1回につき 50 円

申込 下記の欄に、必要事項をご記入頂き、回覧の封筒に入れて下さい。集積開始は決まり次第、改めてご連絡致します。

締切 令和3年 11 月 25 日(木) ※その後も随時募集

お名前:	性別:
ご住所:	年齢:
連絡先:	
家族構成:	
備考:	

お問合せ先:梅ヶ丘自治会・梅ヶ丘地区民生委員・梅ヶ丘地区ふれあい相談員・
地域支えあいサポーター・梅寿会(梅ヶ丘地区シルバークラブ)